取扱説明書

デジタルムービーカメラ 品番 DMX-HD700

Xacti HD HIGH DEFINITION

準　備

SIMPLE

NORMAL

オプション設定

他の機器との接続

DVD-ROMを使う

付　録

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

この商品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
別冊の**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。また、後々のために「保証書」とともに大切に保管してください。
テレビに接続したりXactiライブラリを使用するには、別売の「AV接続キット（品番：VCP-HD700KIT）」が必要です。

● 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の(　)内の記号が色記号です。

本書の読みかた

本書は、本製品の使いかたを以下のように分類して説明しています。

カメラを使う前にしなければならないことや、ぜひ知っておいていただきたいことを説明しています。

簡単な操作できれいに撮れて、楽しく再生できる SIMPLE モードの操作を説明します。

Xacti の機能をフルに引き出して撮影 / 再生する NORMAL モードの操作を説明します。

モニターの表示や操作音、さらにカメラの動作に関する設定のしかたを説明しています。

パソコンやプリンターへの接続のしかたを説明しています。

付属の DVD-ROM(Xacti Software DVD)の使いかたを説明しています。

カメラを使っていて困った状態になった時や仕様の詳細、アフターサービスについてお知りになりたい時に、お読みください。

この説明書では、次の記号でお知らせします。

もう少し詳しい説明や、操作上の注意事項

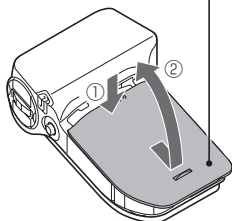
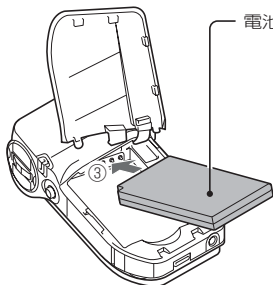
特に注意していただきたい事項

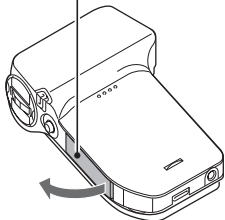
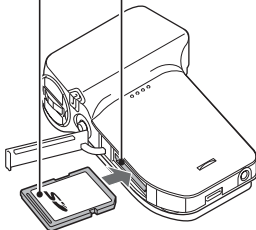
[P　] 参照ページ

i 操作中に疑問に感じたり故障かな?と思った時は、「よくある質問 [P194]」と「困った状態になった時 [P200]」をご参照ください。

撮る・見る そして保存する

電池とカードをセットする

1 電池を入れる

2 SD メモリーカードを入れる

- カメラにSDメモリーカードは付属しておりません。市販品をお買い求めください。
- 本書では、SDメモリーカードを「カード」と表記します。

大切な撮影をする前には試し撮りをしてください

● 万一、カメラまたはカードなどの不具合で、撮影や録音ができなかった場合の記録内容やその他の補償につきましてはご容赦ください。

撮影する

1 REC/PLAYスイッチを[REC]に合わせる

REC/PLAYスイッチ

[REC]に合わせる

2 [ON/OFF] ボタンを 1 秒以上押して電源を入れる

● 日付時刻設定画面が出た場合は、[MENU]ボタンを2回押して消してください。

設定方法→P.37

[動画]ボタン

[📷]ボタン

モニター

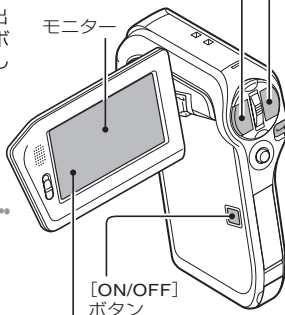
[ON/OFF]
ボタン

3 撮影する

動画で撮る：

● [動画]ボタンを押すと撮影を開始します。
● もう一度[動画]ボタンを押すと撮影を終了します。

写真を撮る：

● [📷]ボタンを押すと撮影します。
● 1枚の静止画を撮影します。

再生する

1 REC/PLAYスイッチを[PLAY]に合わせる

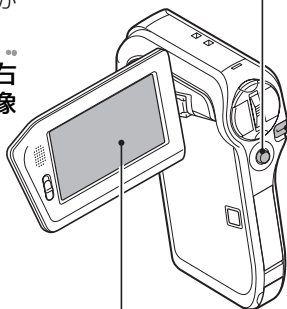
- 再生画面に切り替わり、先ほど撮影した画像がモニターに出ます。

2 [SET]ボタンを左右に押し、目的の画像を出す

<動画クリップを再生する>

- 動画クリップには、画面の左右に動画クリップマークが出ます。
- [SET]ボタンを押すと、再生を開始します。

<撮影状態に戻るには>

- REC/PLAYスイッチを[REC]に合わせてください。

<例:動画クリップ撮影後>

使い終わったら・・

[ON/OFF]ボタンを約1秒以上押して電源を切ってください。

撮る・見る そして保存する(つづき)

撮影した動画クリップをDVDに書き込む(Windows XPの場合)

付属の DVD-ROM(Xacti Software DVD：ザクティー・ソフトウェア・ディーブイディー)を使って、カメラで撮影した動画クリップを DVD に書き込んで、オリジナル DVD を作成する方法を紹介します。

ソフトをインストールする

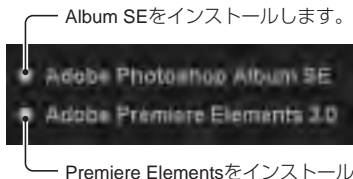
Xacti Software DVD から、データをパソコンに取り込むアプリケーションソフトウェア Adobe Photoshop Album Mini(以降「Album SE(アルバム・エスイー)」と表記)と DVD を作成する Adobe Premiere Elements 3.0(以降「Premiere Elements(プレミア・エレメンツと表記)をパソコンにインストールします。

1 付属の DVD-ROM(Xacti Software DVD)をパソコンの DVD ドライブにセットする

● インストール画面が出ます。

2 インストールするアプリケーションソフトウェアをクリックする

Album SEをインストールします。

Premiere Elementsをインストールします。

● クリックした後は、画面表示に従ってインストールしてください。
● Premiere Elementsをインストールする際に入力するシリアル番号は、DVD-ROMが入っている袋に、以下のように記載しています。
SERIAL NUMBER：XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX
↑この数字を入力
● インストールが終わると製品登録の画面が出ますが、クローズボックスをクリックして閉じてください。

3 インストール画面の [終了] をクリックする

- インストール画面が閉じます。
- パソコンのDVDドライブからDVD-ROMを取り出してください。

＜Kodak オンラインサービスについて＞

- インストール画面が閉じると、Kodakオンラインサービスを紹介するホームページに接続するダイアログが出ます。[あとでおすすめ情報を見る]オプションボタンをONにして、[OK]ボタンをクリックしてください。

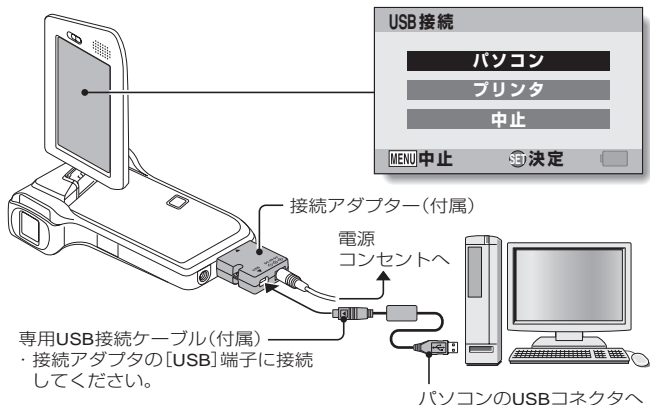
カメラからパソコンにデータをコピーする

カメラをパソコンに接続し、データをパソコンにコピーしてください。

1 パソコンの電源を入れ、付属の専用 USB 接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

- カメラの[USB/AV]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。

2 カメラの電源を入れる [P34]

- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

3 [パソコン] を選び、SET ボタンを押す

- パソコンの接続モードを選ぶ画面が出ます。
- [カードリーダー]を選び、SETボタンを押す
- パソコンにデータを読み込む画面が、パソコンのモニターに出ます。

4 [取り込み] ボタンをクリックする

- カメラ内のデータを以下のフォルダにコピーします。My Pictures￥Adobe￥デジタルカメラデータ￥日付フォルダ
- コピーが終わるとカメラ内のデータの削除を確認するダイアログが出ます。

5 カメラ内のデータを消去する場合は [はい]、消去しない場合は [いいえ] ボタンをクリックする

- Album SEのカタログ画面が出ます。
- 画面には、コピーしたデータが出ます。目的のデータがコピーできたか、確認してください。コピーできていない場合は、[取り込み]メニューから[カメラ、携帯電話またはカードリーダーから]を選び、目的のデータをコピーしてください。

6 クローズボタンをクリックする

- Album SEが終了します。

動画クリップを DVD に書き込む

1 デスクトップの Premiere Elements のアイコンをダブルクリックし、Premiere Elements を起動する

● Premiere Elementsの初期画面が出ます。

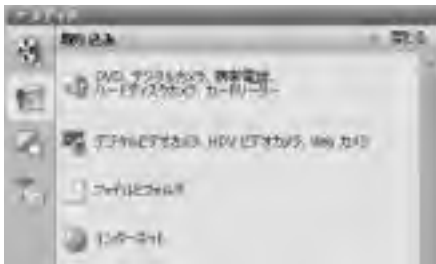
2 [新規プロジェクト] アイコンをクリックする

● [新規プロジェクト]ダイアログが出ます。

3 「名前：」欄にプロジェクト名を入力する

● プロジェクト名は、分かりやすい名称なら何でも構いません。

4 [OK] ボタンをクリックする

- DVDに書き込むデータを編集する画面が出ます。

5 「取り込み：」欄の [ファイルとフォルダ] をクリックする

- DVDに書き込むデータを選ぶ画面が出ます。
- ファイルがあるフォルダ(My Pictures¥Adobe¥デジタルカメラデータ¥日付フォルダ)を指定してください。

6 DVD に書き込む動画クリップデータを指定する

- DVDに書き込むデータをクリックして選んでください。
- 複数のデータを個別に指定する場合は、[Ctrl]ボタンを押しながらデータをクリックしてください。先頭のデータを選び、[Shift]ボタンを押しながら最後のデータをクリックすると、先頭から最後までのデータを選ぶことができます。

7 [開く] ボタンをクリックする

- DVDに書き込むデータを選ぶ画面が閉じて、DVDに書き込むデータを編集する画面に戻ります。
- 操作6で選んだデータが、「利用可能なメディア：」欄に出ます。

8 DVD に書き込むデータをダブルクリックする

9 操作 8 でダブルクリックしたデータを「シーン / タイムライン」欄の「ここにドラッグしてムービーに追加」へドラッグ & ドロップする

- DVDに書き込むデータが「シーン/タイムライン」欄の「シーン」に出ます。
- 複数のデータを書き込む場合は、操作8と9を繰り返してください。

10 [DVD を作成] タブをクリックする

- 「DVDメニュー」が出ます。

11 [DVD へ書き込み] ボタンをクリックする

- [DVDへ書き込み]ダイアログが出ます。
- 「DVD設定」の「書き込み先：」は、「ディスク」を指定してください。

12 [書き込み] ボタンをクリックする

- DVDへの書き込みを開始します。

13 書き込みが完了したら、[閉じる] ボタンを押す

14 クローズボタンをクリックする

- プロジェクトの保存を確認するダイアログが出ます。
- 今回、設定した情報を次回以降に利用する場合はプロジェクトを保存してください。利用しない場合は、プロジェクトを保存する必要はありません。

15 [はい] または [いいえ] ボタンをクリックする

- Premiere Elementsが終了します。

いかがでしたか？このように、このカメラは撮影した画像がすぐに見ることができるばかりではなく、パソコンに取り込んだりオリジナルの DVD を作成することができる便利な付属品を備えております。以降の説明をお読みになり、このカメラを十分に使った楽しいデジタルムービーライフをお楽しみください。

もくじ

■準備

■SIMPLE

撮影

再生

■NORMAL

撮影

もくじ(つづき)

再生

■オプション設定

■他の機器との接続

パソコンに接続する

もくじ(つづき)

■付録

使いかた早見もくじ

このカメラには、便利な機能があります。「思いどおりの写真を撮りたい」「いろいろな方法で画像を見たい」という時には、このもくじを参考にして目的の操作を探してください。

撮影/録音

基本的な使いかた

とりあえず撮影/録音する

最適な画質で撮影する

便利な機能

撮影年月日を記録する

アップで撮る

近くの被写体を撮る

さらに使うには

より正確にピントを合わせる

狭い範囲にピントを合わせる

撮影時のノイズを軽減する

動画クリップのちらつきを抑える

カメラのカラー/コントラスト特性を設定する

動きの速い被写体を撮影する
►シーンセレクト機能を使う（スポーツモード）[P91]

手ぶれを抑える
►動画手ぶれを補正する[P97]
►静止画撮影時の手ぶれを補正する[P123]

暗い場所で撮影する
►露出を補正して撮影する[P111]
►フラッシュを使って撮影する[P71・94]
►シーンセレクト機能を使う（夜景ポートレートモード・花火モード・ランプモード）[P91]

カメラの感度を上げる
►ＩＳＯ感度を設定する[P103]
►高感度撮影をする[P110]

人物を撮影する
►シーンセレクト機能を使う（ポートレートモード・夜景ポートレートモード）[P91]
►フィルター機能を使う（コスメフィルター）[P93]

顔をはっきりと撮影する
►顔検出を設定する[P109]

かんたんな操作で撮影/再生する
►SIMPLE/NORMALモードを選択する[P41]
►フルオートモードに設定する[P61]

使いかた早見もくじ(つづき)

撮影/録音(つづき)

基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには
風景を撮影する ►シーンセレクト機能を使う（風景モード）[P91]		
自分も撮影して欲しい ►セルフタイマーを使う[P95]		
	明るく/暗く撮影する ►露出を補正して撮影する[P111] ►高感度撮影をする[P110]	**一部分の明るさだけを測って撮影する** ►測光方式を設定する[P102] **カメラの感度を調整する** ►ＩＳＯ感度を設定する[P103] **より細かく露出を設定する** ►露出を設定する（マニュアル露出制御）[P106]
	色を変えて撮影する ►フィルター機能を使う（モノクロフィルター・セピアフィルター）[P93]	**白を自然に撮影する** ►ホワイトバランスを設定する[P105]

再生

基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには
とりあえず再生をする ►動画クリップ再生をする[P75] ►静止画再生をする[P75]	**スピーカーの音量を調整する** ►再生音量を設定する[P79] **画像/音声ファイルを探す** ►9画面マルチ再生[P82] ►再生するフォルダを選択する[P83] **画像の一部を大きく表示する** ►拡大（ズーム）表示をする[P84]	**表示の角度を変える** ►静止画を回転表示する[P121]
►音声を再生する[P90]	**スピーカーの音量を調整する** ►再生音量を設定する[P79]	

連続再生をする
►スライドショー再生する[P78・112]

モニターの表示を明るく/暗くする
►モニターの明るさを設定する[P147]

TV方式を設定する
►ＴＶ出力を設定する[P148]

テレビで再生したい
►[P18・19]

Xactiライブラリを使いたい
►[P18・21]

ファイルの管理/加工

基本的な使いかた　便利な機能　さらに使うには

画像/音声ファイルを探す

►9画面マルチ再生[P82]
►再生するフォルダを選択する[P83]

いらないファイルを消す

►ファイルを消去する[P80]

大切な画像を保護する

►ファイルにプロテクトを設定する[P114]

カードをフォーマット(初期化)する

►カードをフォーマット（初期化）する[P157]

動画クリップの一部を削除したり、つなぎ合わせたりする

►動画クリップを編集する[P126]

印刷枚数やインデックスプリント、日付印刷の設定をする

►プリントを予約する[P115]

撮影/録音した時の情報を見る

►ファイル情報を表示する[P134]

パソコンでの利用

基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには

カメラをカードリーダーとして使う
►カードリーダーとして使う[P166]

カメラのファイルをパソコンにコピーする
►カメラをパソコンに接続する[vi]

Windows Vistaで使う
►接続モードを設定する[P164]

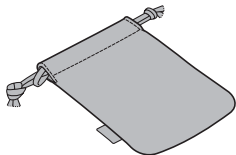
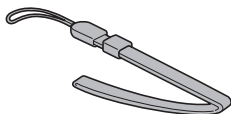
パソコンにコピーしたファイルをDVDに書き込む
►記録したファイルをDVDに書き込む[v]

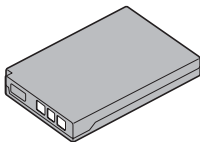
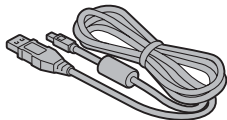
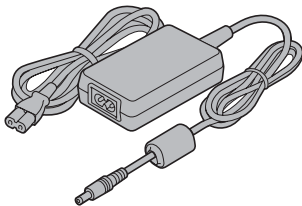
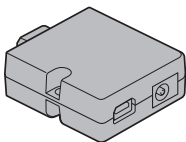
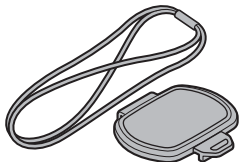
再生する
►カメラで撮影した動画クリップファイルについて[P170]

Webカメラとして使う
►PCカメラとして使うには[P171]

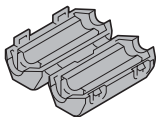
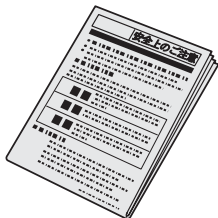
パソコンの画面表示を記録する
►スクリーンキャプチャー[P192]

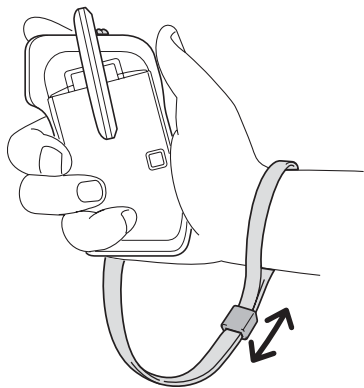
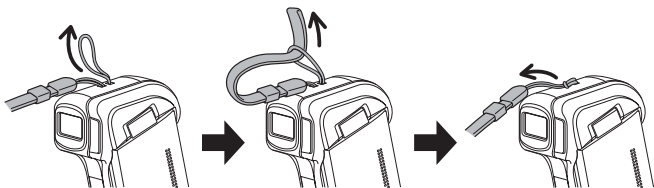
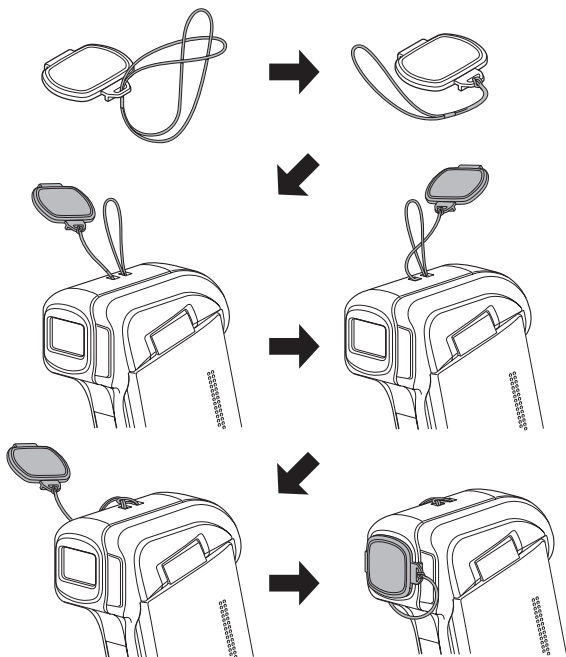
付属品を確認する

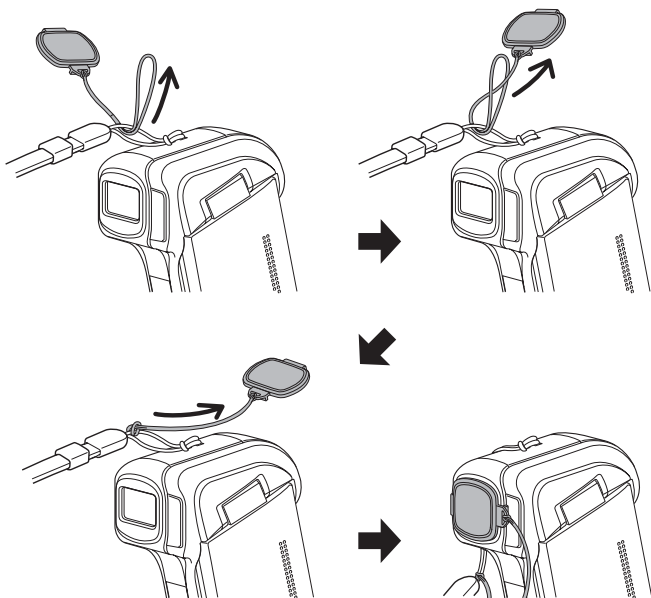
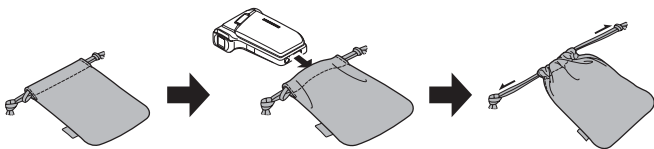
●ソフトケース：1個[P17]

●ハンドストラップ：1本[P15]

●DVD-ROM(Xacti Software DVD [P181])：1枚

●リチウムイオン電池：1個[P28]

●専用USB接続ケーブル：1本[P164]

●ACアダプターと電源コード：1式[P29・32]

●接続アダプター
[vi·P164·172]

●ヘッドホンケーブル用コア：
(1 個)[P180]

●かんたん操作ガイド

●レンズキャップ：1個[P16]

●安全上のご注意(安全注意説明書)
※必ずお読みください。

付属品の使いかた

■ハンドストラップ

■レンズキャップ
＜ハンドストラップを使わない場合＞

付属品を確認する（つづき）

＜ハンドストラップと併用する場合＞

■ソフトケース

別売品

● **HDMIケーブル(品番：VCP-HDMI01)**
AV接続キット(VCP-HD700KIT)に付属のドッキングステーションの[HDMI]端子に接続するケーブルです。

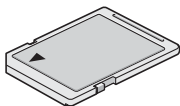
● **リチウムイオン電池充電器(品番：VAR-L40)**
付属または別売のリチウムイオン電池(品番:DB-L40)の充電器です。

● **リチウムイオン電池(品番：DB-L40)**
付属品と同じ、リチウムイオン電池です。

● **AV接続キット(品番：VCP-HD700KIT)**
テレビに接続したりXactiライブラリを使用するために必要なドッキングステーションや各種ケーブルのセットです。

このカメラで使えるカードについて

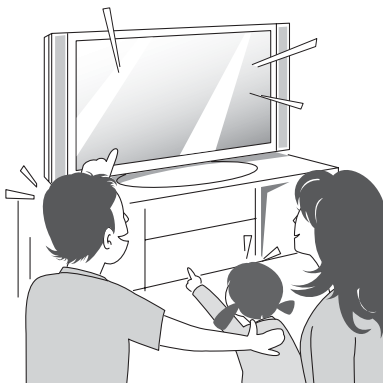
このカメラに装着し、使用できるカードは以下のとおりです。

● **SDメモリーカード**

このカメラの楽しみかた

このカメラはハイビジョンで動画クリップ撮影ができる、デジタルムービーカメラです。ビギナーでも戸惑うことなく撮影や再生ができる操作モードや、簡単にオリジナルの DVD を作成することができるソフトを付属しています。さらに、撮影したファイルをパソコンを介さずハードディスクに保存し管理する「Xactiライブラリ(ザクティー・ライブラリ)機能」も搭載しています。

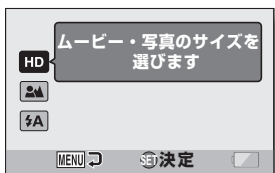
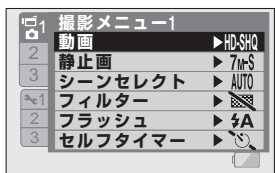
※テレビでの再生や、Xacti ライブラリ機能をお楽しみいただくには、別売の「AV 接続キット(品番:VCP-HD700KIT)が必要です。

ハイビジョンで高画質撮影[P65・85]

1,280×720ピクセルのハイビジョン動画クリップ撮影が可能です。また、動画ファイルのフォーマットに、MPEG-4 AVC/H.264を採用。コンパクトなファイルサイズと高画質を兼ね備えた高性能カメラです(別売のAV接続キット(品番:VCP-HD700KIT)が必要です)。

かんたん操作のSIMPLEモード搭載[P41]

初めてこのカメラをお使いになられる方のための「SIMPLE(シンプル)モード」と、このカメラの機能をフルに使いこなすための「NORMAL(ノーマル)モード」という、2つの撮影/再生モードを搭載しております。

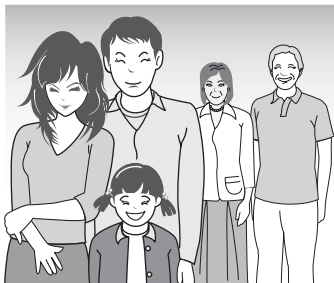
<SIMPLEモード撮影メニュー>

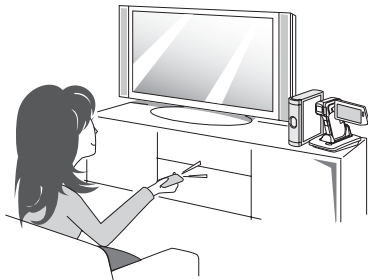
<NORMALモード撮影メニュー>

動画手ぶれ補正でしっかり撮影[P97]

動きの速い被写体の撮影やズームアップして撮影する場合に発生しやすい手ぶれを補正することができます。

このカメラの楽しみかた（つづき）

顔をはっきり撮影する[P109]

逆光気味だったり撮影場所が暗い場合でも、被写体の顔の部分を自動で検出し、フォーカスと明るさを顔に合わせて撮影する顔検出機能を搭載しております。せっかく撮影したのに、顔の部分が暗く写ってしまうような撮影ミスを減らすことができます。

Xactiライブラリ機能搭載[P18]

Xactiライブラリ（ザクティー・ライブラリー）は、カメラで記録したファイルをパソコンを介することなく大容量ハードディスクに保存し、テレビで再生することができる機能です。このため、パソコンの操作は不要です。ハイビジョンの画質をそのままテレビでご覧になることができます（別売のAV接続キット（品番：VCP-HD700KIT）が必要です）。

豊富な付属品で、撮った画像を有効利用[P23・181]

付属のケーブル類を使うと、撮った画像をパソコンで見ることができます。また、直接プリンタに接続して静止画を印刷することもできます。さらに、付属のDVD-ROM(Xacti Software DVD)に格納しているソフトを使うと、オリジナルのDVDやCDを作成することができます。Xactiライブラリ機能を利用したり、テレビでの再生を希望される方には、別売としてAV接続キット(品番：VCP-HD700KIT)を用意しております。

システムマップ

このカメラは、さまざまな機器に接続することで、さらに楽しくお使いいただくことができます。

各部の名前

前面

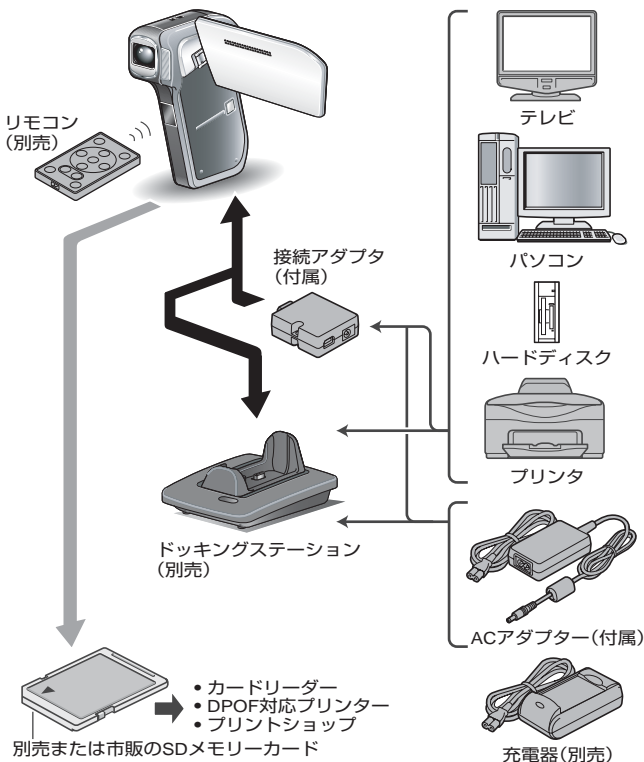
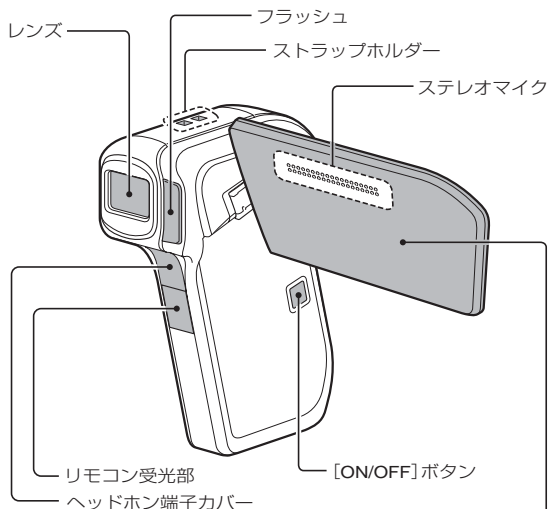
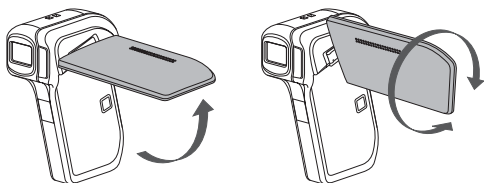
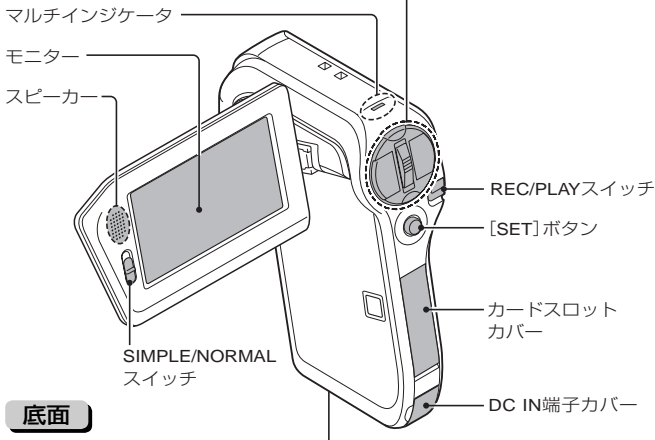
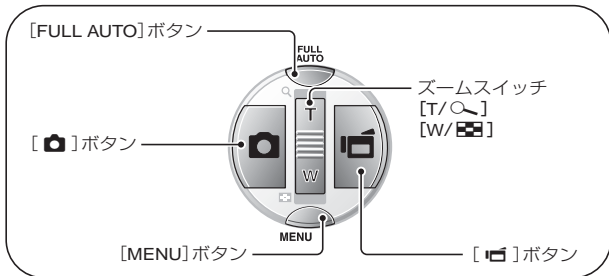
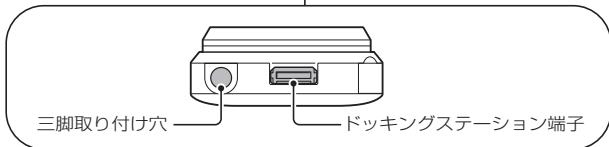
レンズ
フラッシュ
ストラップホルダー
ステレオマイク
リモコン受光部
ヘッドホン端子カバー
[ON/OFF]ボタン
モニターユニット
開けかた

各部の名前（つづき）

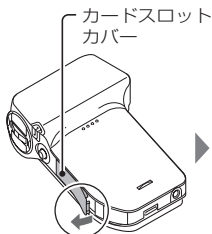
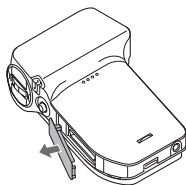
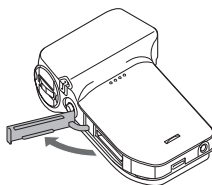
後面

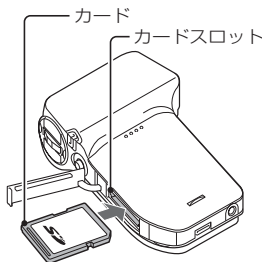
マルチインジケータ
モニター
スピーカー
REC/PLAYスイッチ
[SET]ボタン
カードスロットカバー
SIMPLE/NORMALスイッチ
DC IN端子カバー

底面

三脚取り付け穴
ドッキングステーション端子

カードを装着する

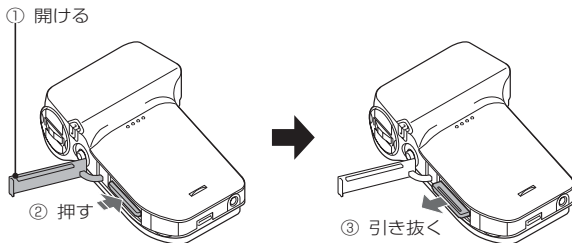
カードは、このカメラで初期化(フォーマット)[P157] してから使用してください。

1 スロットカバーを開ける

① 下部から浮かせる　② ゆっくりと引っ張る　③ 開ける

2 カードを入れる

- カチッと音がするまで、しっかりと入れてください。

カードを装着する(つづき)

3 スロットカバーを閉じる

<カードを取りはずす時は…>

- カードを取りはずす時は、カードを押してください。カードを押すと、カードが少し出ますので、そのまま引き抜いてください。

注意!

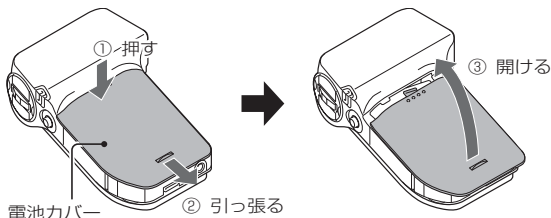
カードは無理に抜かないでください。

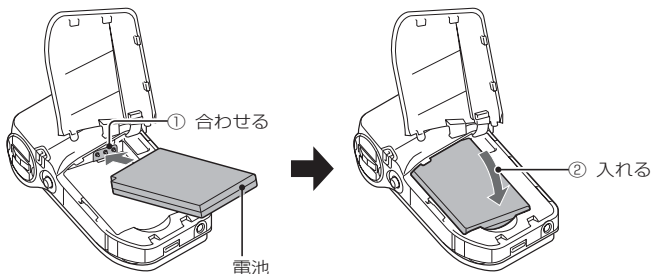
- マルチインジケータが赤色で点滅している時は、絶対にカードを取りはずさないでください。カード内のデータを破損するおそれがあります。

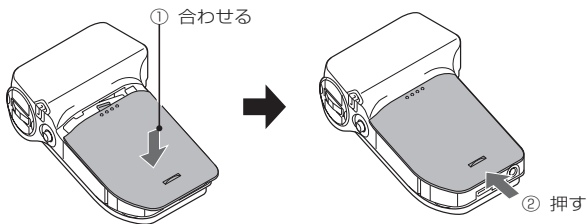
電源を準備する

付属の電池は、充電してから使ってください。AC アダプターを使うと、電源コンセントから電源を取ることができます。

電池を使う

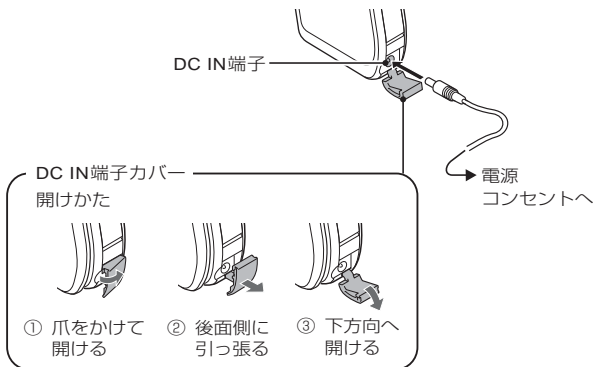
1 電池カバーを開ける

2 電池を装着する

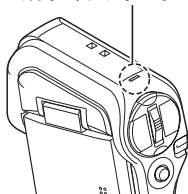
●向きに注意して装着してください。

電源を準備する（つづき）

3 電池カバーを閉じる

<取り出す時は・・・>

● 電池を起こして取り出してください。

4 AC アダプターと電源コンセントを電源コードで接続する

● 充電を開始します。

＜充電中は・・・＞

- 充電中はマルチインジケータが赤色で点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 電池の異常や装着が不完全な場合は、マルチインジケータが赤色点滅します。電池を装着し直してください。
- 充電時間は約120分です。

長時間使用した直後に充電しない

- カメラを長時間使用した直後は電池が熱くなっています。この状態で充電しようとすると、マルチインジケータが赤色で点滅して充電できない場合があります。長時間使用した後は、電池の温度が下がってから充電してください。

電池が膨らんだ？

- 本製品に使われているリチウムイオン電池は、高温環境での保存や繰り返しの使用によって電池が少し膨らむことがありますが、安全上の問題はありません。

内蔵バックアップ用電池について

- このカメラは日付・時刻や撮影の設定など、カメラの設定を保持しておくための電池を内蔵しています。この電池を充電するため、約2日間ほど電池は装着した状態にしてください。内蔵バックアップ用電池は、満充電状態で約7日間、カメラの設定を保持します。

長期間使用しない時は電池を取りはずす

- 電池は、電源が切れている状態でもわずかずつ消耗しますので、カメラを長期間使用しない時は電池を取りはずしておくことをおすすめします。ただし電池をはずすと、日付・時刻や他の設定をしている場合は設定をクリアする場合がありますので、ご使用の前にカメラの設定を確認してください。

電源を準備する（つづき）

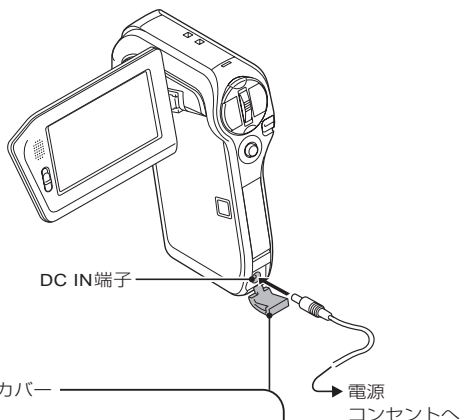
電池を長く快適にお使いいただくために

●電池は消耗品ですが、以下のような事がらに配慮して使うことで、より長い期間ご使用いただくことができます。

・夏場の炎天下など高温環境下に放置しない。
・満充電の状態で繰り返して充電をしない。満充電した後は、ある程度使ってから充電する。
・長期間使用しない場合、できるだけ満充電状態は避け、冷暗所に保管する。

電源コンセントを使う

AC アダプターを使うと、電源コンセントから電源を取ることができます。

1 DC IN 端子に AC アダプタを取り付ける

2 AC アダプターと電源コンセントを電源コードで接続する

電源を準備する（つづき）

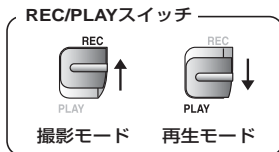
充電動作について

充電は、カメラの電源が切れているかパワーセーブ状態、または スリープ状態の時に行ないます。撮影や再生状態時は充電を行な いません。

電源を入れる／切る

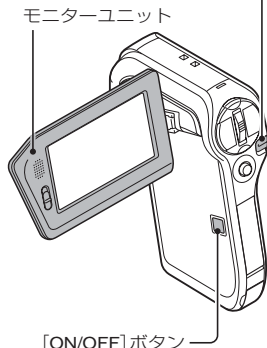
電源の入れかた

1 REC/PLAYスイッチを合わせる

撮影する時：
[REC]に合わせる

再生する時：
[PLAY]に合わせる

2 モニターユニットを開ける

3 [ON/OFF]ボタンを約1秒以上押す

- 電源が入ります。
- 日付・時刻を設定していない場合は、日付時刻を設定する画面が出ます。

電源を入れる／切る(つづき)

パワーセーブ(スリープ)状態から電源を入れる

電源の切り忘れなどによる電池の消耗を防ぐため、電源が入った状態で操作を行わないまま放置(撮影時:約1分間、再生時:約5分間(工場出荷時の設定))すると、自動的に電源が切れる「パワーセーブ(スリープ)機能」が備わっています。

- パワーセーブ状態になった場合は、以下のいずれかの操作をすると電源が入ります。
  - **REC/PLAYスイッチを切り替える**
  - **[ON/OFF]ボタンを押す**
  - **ズームスイッチを押す**
  - **[📷]/[🎥]ボタンを押す**
  - **[SET]/[MENU]ボタンを押す**
  - **[SIMPLE/NORMAL]スイッチを切り替える**
  - **[FULL AUTO]ボタンを押す**

  ※[MENU]ボタンを押して電源を入れた場合は、操作音を設定する画面[P139]が出ます。
- パワーセーブ状態になって約1時間以上経過すると、スタンバイモードになります。スタンバイモードになった場合は、[ON/OFF]ボタンを押して電源を入れるか、モニターユニットを一度閉じて開けてください。
- ACアダプターを接続している場合、電源を入れてから約5分後にパワーセーブ機能が働きます(工場出荷時の設定)。
- パワーセーブ状態になるまでの時間は、変更することができます[P152]。
- カメラにパソコンまたはプリンタを接続している場合は、約12時間後にパワーセーブ状態になります。

電源の切りかた

1 [ON/OFF] ボタンを約 1 秒以上押す

- 電源が切れます。

すぐにパワーセーブ状態にするには

● [ON/OFF]ボタンを短く押すと、パワーセーブ状態になります。

スタンバイモードについて

● モニターユニットを閉じると、電源をほとんど消費しないスタンバイモードになります。スタンバイモードでは、モニターユニットを開けるとすぐに電源が入って、撮影や再生操作が可能になります。カメラの使用を一時的に中止し、またすぐに使用するような場合は、スタンバイモードをご利用ください。

日付･時刻を設定している場合[P37]

● REC/PLAYスイッチを[REC]に合わせてカメラの電源を入れると、現在の時刻をモニターに表示します。

注意!

⊙?アイコンが出る？

● このカメラは、撮影時に撮影年月日を撮影画像に記録する機能を持っています。日付･時刻の設定[P37]を行っていないと、撮影画像に撮影年月日を記録できないため電源を入れた直後に「日付時刻を設定してください」というメッセージが、撮影画面には⊙?アイコンが出ます。撮影画像に撮影年月日を記録する場合は、撮影の前に日付時刻の設定を行ってください。

日付・時刻を設定する

このカメラは撮影/録音時の日付・時刻を記録し、再生時に表示する時計機能を内蔵しています。撮影前には、日付・時刻が正しく設定できているか、確認してください。

[例]：2007年12月24日午後7時30分に合わせる場合

1 電源を入れ [P34]、[SET] ボタンを押す

- 日付時刻設定画面が出ます。
- この状態で、現在の設定内容が確認できます。
- 再生時の撮影日表示、日付表示順序・日付・時刻合わせなどを設定するときは、以降の操作をしてください。
- 撮影または再生画面にするには、[MENU]ボタンを2回押してください。

2 日付を設定する

❶[日付]を選ぶ

❷[SET]ボタンを押す
・日付設定画面が出ます。

❸日付を「2007年12月24日」に合わせる
・「年」設定→「月」設定→「日」設定の順に合わせます。

[SET]ボタンを左右に押す：「年」、「月」、「日」が選べます。
[SET]ボタンを上下に押す：数値が増減します。

❹[SET]ボタンを押す

3 時計を設定する

❶[時刻]を選ぶ

❷[SET]ボタンを押す
・時刻設定画面が出ます。

❸時計を「19時30分」に合わせる
・「時」設定→「分」設定の順に合わせます。
・「時」は24時間表示です。

❹[SET]ボタンを押す

4 再生時の日付表示順序を設定する

❶[表示]を選ぶ

❷[SET]ボタンを押す
・日付表示順序を設定する画面が出ます。

❸[SET]ボタンを上または下側に押す

- 上側に押すと、日付表示順序が以下のように変わります。

→年/月/日→月/日/年→日/月/年

下側に押すと、逆に切り替わります。

❹[SET]ボタンを押す

日付・時刻を設定する（つづき）

5 [MENU] ボタンを押す

- 日付・時刻の設定が終わりました。
- 撮影または再生画面にするには、[MENU]ボタンを押してください。

- このカメラは電池を交換するときに内部時計をバックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付・時刻の設定をクリアする場合があります（バックアップ時間は最長で約7日間）。電池交換後や撮影前は念のため、時計表示を確認されることをおすすめします（操作1）。

日付・時刻を修正するには

- 操作1の後、修正したい行を選びます。修正したい表示を選び、表示を修正してください。

撮影／再生モードを切り替える

撮影をする撮影モードと、撮影した画像を再生する再生モードを切り替えます。

1 電源を入れる [P34]

2 REC/PLAY スイッチを目的のモードに合わせる

撮影モードにする：[REC]に合わせる

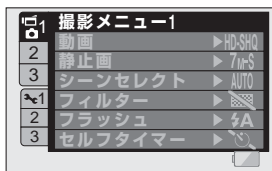
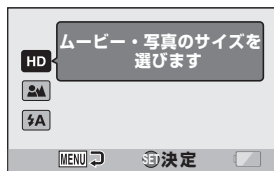
再生モードにする：[PLAY]に合わせる

<撮影モード例>

<再生モード例>

SIMPLE/NORMALモードを選択する

SIMPLEモード/NORMALモードについて

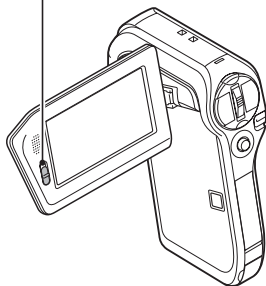
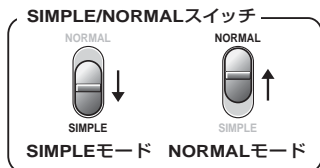
「SIMPLE(シンプル)モード」は、このカメラの機能の中でも使用頻度が高く、必要な機能だけで構成した操作モードです。一方「NORMAL(ノーマル)モード」は、このカメラの機能をフルに使用する場合の操作モードです。それぞれ、目的に応じたモードを選んで、ご使用ください。

＜NORMALモード設定画面＞

＜SIMPLEモード設定画面＞

SIMPLE/NORMALモードの切り替えかた

SIMPLE モードや NORMAL モードの選択は、モニターの横にある SIMPLE/NORMAL スイッチで行ないます。

1 SIMPLE/NORMAL スイッチを目的のモードに合わせる

SIMPLEモードにする ：[SIMPLE]に合わせる
NORMALモードにする：[NORMAL]に合わせる

SIMPLE/NORMALモードを選択する(つづき)

SIMPLE/NORMALモードメニュー画面の出しかた/消しかた

1 撮影または再生モードに設定する

- REC/PLAYスイッチで選んでください。

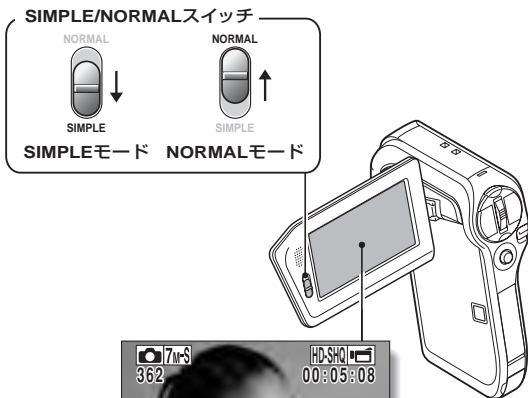
撮影メニューを出す：[REC]に合わせる
再生メニューを出す：[PLAY]に合わせる

＜撮影モード例＞

＜再生モード例＞

2 SIMPLE モードまたは NORMAL モードにする

● SIMPLE/NORMALスイッチで選んでください。

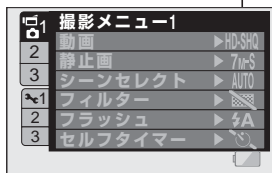
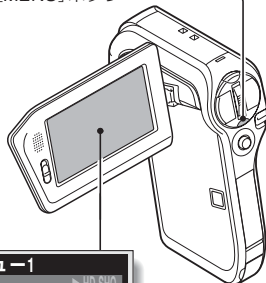
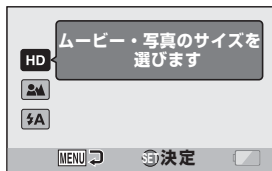
SIMPLEモードにする　：[SIMPLE]に合わせる
NORMALモードにする：[NORMAL]に合わせる

＜例：NORMALモード撮影画面＞

＜例：SIMPLEモード撮影画面＞

3 [MENU] ボタンを押す

- 操作 1・2 で設定したモードのメニュー画面が出ます。

SIMPLEモード設定メニューを出す →[P46]操作4へ
NORMALモード設定メニューを出す →[P47]操作4へ

- メニュー画面は、[MENU]ボタンを押すと消えます。

＜例：NORMALモード撮影メニュー＞

＜例：SIMPLEモード撮影メニュー＞

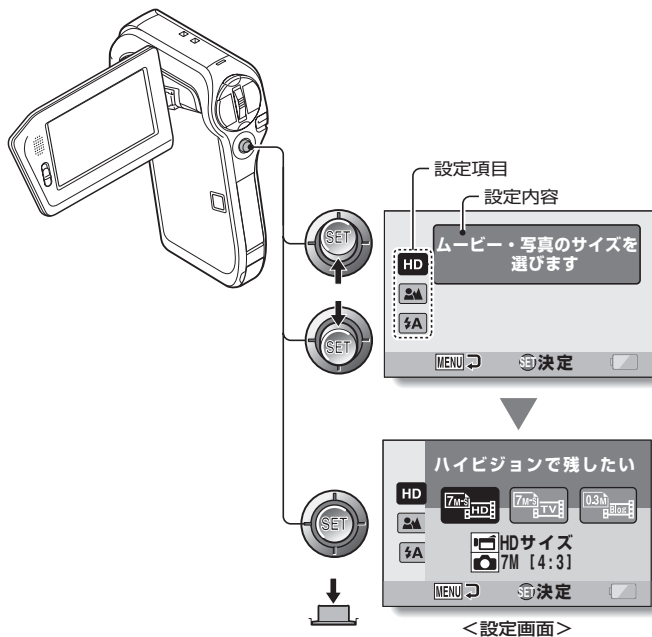
SIMPLE モード設定メニュー画面の出しかた

4 [SET] ボタンを上下に押して設定したい項目を選び、[SET] ボタンを押す

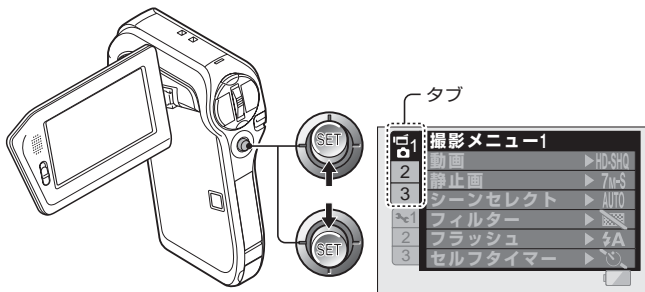
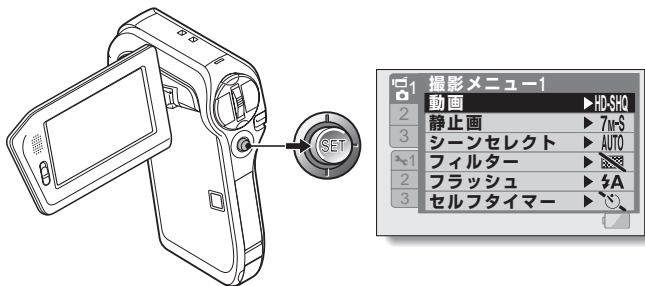
- 選んだ項目の設定画面が出ます。

<設定画面>

SIMPLE/NORMALモードを選択する(つづき)

シンプル / ノーマル

NORMAL モード設定メニューの出しかた

4 [SET] ボタンを上下に押してタブを選ぶ

● 選んだタブのメニュー画面が出ます。

5 [SET] ボタンを右に押す

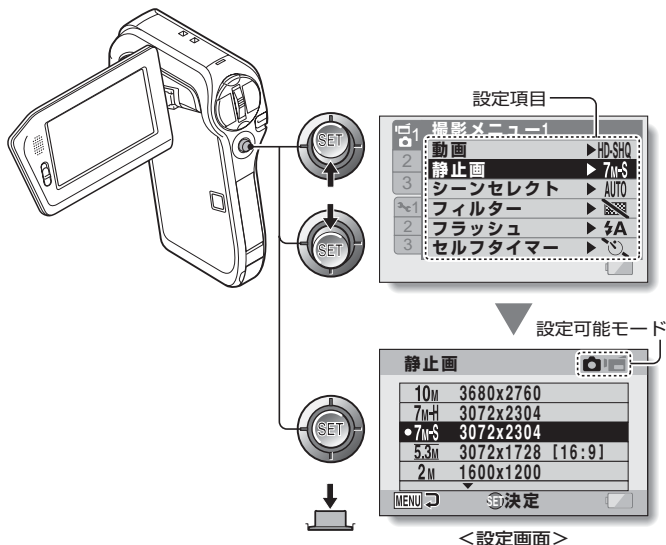
6 [SET] ボタンを上下に押して設定したい項目を選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだ項目の設定画面が出ます。
- [MENU]ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

設定項目

撮影メニュー1
動画 ▶HD-SHQ
静止画 ▶ 7M-S
シーンセレクト ▶ AUTO
フィルター ▶
フラッシュ ▶ ⚡A
セルフタイマー ▶

設定可能モード

静止画
10M 3680x2760
7M-H 3072x2304
●7M-S 3072x2304
5.3M 3072x1728 [16:9]
2M 1600x1200
MENU 決定

<設定画面>

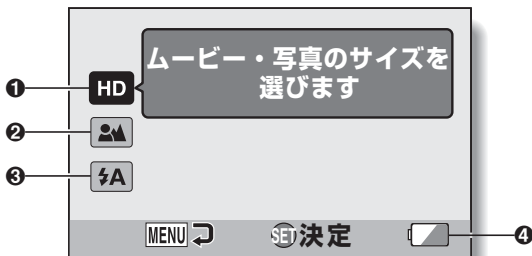
設定可能モード表示について

- 表示中の設定が反映される撮影モードを示します。
- 📷 ：静止画撮影時に反映されます。
- 🎥 ：動画クリップ撮影時に反映されます。
- 📷 🎥 ：静止画および動画クリップ撮影時に反映されます。

SIMPLE/NORMALモードを選択する(つづき)

シンプル　ノーマル

SIMPLEモード設定画面の紹介

SIMPLE モード撮影メニュー

❶ **撮影サイズ設定 [P65]**

● 動画クリップの撮影サイズを選びます。

：動画クリップは 1,280 × 720 ピクセル、静止画は 3,072 × 2,304 ピクセル [7M-S] で撮影します。

：動画クリップは 640 × 480 ピクセル、静止画は 3,072 × 2,304 ピクセル [7M-S] で撮影します。

：動画クリップは 320 × 240 ピクセル、静止画は 640 × 480 ピクセル [0.3M] で撮影します。

❷ **フォーカス設定 [P66]**

● 被写体までの距離に応じて、フォーカスレンジを選びます。

[ノーマル]：80cm 〜 ∞ の範囲で、自動的にピントを合わせます（ノーマル）。

[スーパーマクロ]：1cm 〜 80cm の範囲で、ピントを合わせます（スーパーマクロ）。

❸ **フラッシュ設定 [P71]**

● フラッシュの動作を設定します。

[⚡A]：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが発光します。

[⚡]：被写体の明るさに関わらずフラッシュが発光します。

[⚡OFF]：暗い場所でもフラッシュは発光しません。

❹ **電池残量表示 [P161]**

SIMPLE モード再生メニュー

❶ スライドショー設定 [P78]

- スライドショーの設定と再生を行います。

❷ 再生音量設定 [P79]

- 動画クリップや音声ファイルの再生音量を設定します。

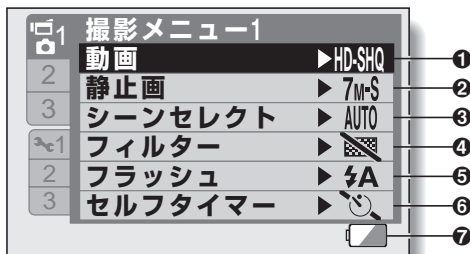
❸ 消去 [P80]

- ファイルを消去します。

❹ 電池残量表示 [P161]

NORMALモード設定画面の紹介

NORMAL モード撮影メニュー

<タブ1>

❶ **動画設定 [P85]**

< HD モード>

HD-SHQ：1,280 × 720 ピクセル、30 フレーム / 秒(高ビットレート)で撮影します。

HD-HQ：1,280 × 720 ピクセル、30 フレーム / 秒(標準ビットレート)で撮影します。

< SD モード>

TV-SHQ：640 × 480 ピクセル、30 フレーム / 秒(高ビットレート)で撮影します。

TV-HQ：640 × 480 ピクセル、30 フレーム / 秒、(標準ビットレート)で撮影します。

Web-SHQ：320 × 240 ピクセル、30 フレーム / 秒で撮影します。

🎤：音声を録音します。

❷ **静止画設定 [P86]**

10M：3,680×2,760 ピクセルで撮影します。

7M-H：3,072×2,304ピクセル(低圧縮)で撮影します。

7M-S：3,072×2,304ピクセル(標準圧縮)で撮影します。

5.3M：3,072 ×1,728 ピクセル(16：9)で撮影します。

2M：1,600×1,200 ピクセルで撮影します。

0.9M：1,280×720ピクセル(16:9)で撮影します。

0.3M：640×480 ピクセルで撮影します。

連写：3,072×2,304 ピクセルで連写します。

❸ **シーンセレクト設定 [P91]**

AUTO：フルオートで撮影します。

スポーツ：スポーツモードで撮影します。

ポートレート：ポートレートモードで撮影します。

風景：風景モードで撮影します。

夜景ポートレート：夜景ポートレートモードで撮影します。

スノー&ビーチ：スノー & ビーチモードで撮影します。

花火：花火モードで撮影します。

ランプ：ランプモードで撮影します。

❹ **フィルター設定 [P93]**

フィルターなし：フィルターを使わずに撮影します。

コスメ：コスメフィルターで撮影します。

モノクロ：モノクロフィルターで撮影します。

セピア：セピアフィルターで撮影します。

❺ **フラッシュ設定 [P94]**

⚡A：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが発光します。

⚡：被写体の明るさに関わらずフラッシュが発光します。

⚡オフ：暗い場所でもフラッシュは発光しません。

❻ **セルフタイマー設定 [P95]**

セルフタイマーオフ：セルフタイマーを使いません。

セルフタイマー2：[📷] または [🎥] ボタンを押した 2 秒後に撮影します。

セルフタイマー10：[📷] または [🎥] ボタンを押した10 秒後に撮影します。

❼ **電池残量表示 [P161]**

<タブ2>

撮影メニュー2
動画手ぶれ補正
フォーカス
フォーカス方式
9-AF
測光方式
ISO感度
AUTO
ホワイトバランス
AWB
1
2
3
1
2
3
❶
❷
❸
❹
❺
❻
❼

❶ **動画手ぶれ補正設定 [P97]**

- 動画クリップ撮影時の手ぶれ補正機能を設定します。

[手ぶれ補正オフ]：手ぶれを補正しないで撮影します。

[手ぶれ補正オン]：手ぶれを補正して撮影します。

❷ **フォーカスレンジ設定 [P99]**

- 被写体までの距離に応じて、フォーカスレンジを選びます。

[全域]：10cm ～∞の範囲で、自動的にピントを合わせます（全域）。

[ノーマル]：80cm ～∞の範囲で、自動的にピントを合わせます（ノーマル）。

MF：焦点距離を設定し、撮影します。

[スーパーマクロ]：1cm ～ 80cm の範囲で、ピントを合わせます(スーパーマクロ)。

❸ **フォーカス方式設定 [P101]**

9-AF：9点測距フォーカスに設定します。

S-AF：スポットフォーカスに設定します。

❹ **測光方式設定 [P102]**

[多分割]：多分割測光になります。

[中央重点]：中央重点測光になります。

[スポット]：スポット測光になります。

❺**ISO 感度設定 [P103]**

AUTO：自動的に感度を設定します。

50：感度をISO50に設定します。

100：感度をISO100に設定します。

200：感度をISO200に設定します。

400：感度をISO400に設定します。

800：感度をISO800に設定します。

1600：感度をISO1,600 に設定します。

3200：感度をISO3,200 に設定します。

※ ISO の表示値は標準出力感度です。

❻ **ホワイトバランス設定 [P105]**

AWB：撮影現場の天候や照明をカメラが判別し、自動的にホワイトバランスを調整します（オート）。

[晴れ]：晴天時の設定です（晴れ）。

[曇り]：曇天時の設定です（曇り）。

[蛍光灯]：蛍光灯による照明時の設定です（蛍光灯）。

[白熱灯]：白熱灯による照明時の設定です（白熱灯）。

[ワンプッシュ]：より正確にホワイトバランスを設定します（ワンプッシュ）。

❼ **電池残量表示 [P161]**

SIMPLE/NORMALモードを選択する(つづき)

<タブ3>

❶ **露出設定 [P106]**

P ：自動的に露出を設定します。

S ：シャッタースピードを設定します。

A ：絞りを設定します。

M ：絞りとシャッタースピードを設定します。

❷ **デジタルズーム設定 [P108]**

D ：デジタルズームを使います。

D ：デジタルズームを使いません。

❸ **顔検出設定 [P109]**

：顔を検出します。

：顔を検出しません。

❹ **高感度モード設定 [P110]**

HS ：感度を上げます。

HS ：標準感度に設定します。

❺ **電池残量表示 [P161]**

NORMAL モード再生メニュー

<タブ1>

❶ **スライドショー設定 [P112]**
- スライドショーの設定と再生を行います。

❷ **再生音量設定 [P79]**
- 動画クリップや音声ファイルの再生音量を設定します。

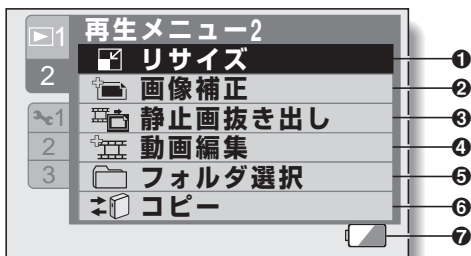
❸ **プロテクト設定 [P114]**
- ファイルにプロテクト(消去禁止)を設定します。

❹ **消去 [P80]**
- ファイルを消去します。

❺ **プリント予約 [P115]**
- プリント予約(DPOF 設定)を行います。

❻ **回転 [P121]**
- 静止画を回転表示します。

❼ **電池残量表示 [P161]**

<タブ2>

❶ **リサイズ [P122]**
- 静止画の解像度を下げます。

❷ **画像補正アイコン [P123]**
- 赤く写った目や、ぶれて写った画像を自然な状態に補正します。

❸ **静止画抜き出し [P125]**
- 動画クリップから 1 コマを抜き出します。

❹ **動画編集 [P126]**
- 動画クリップを編集します。

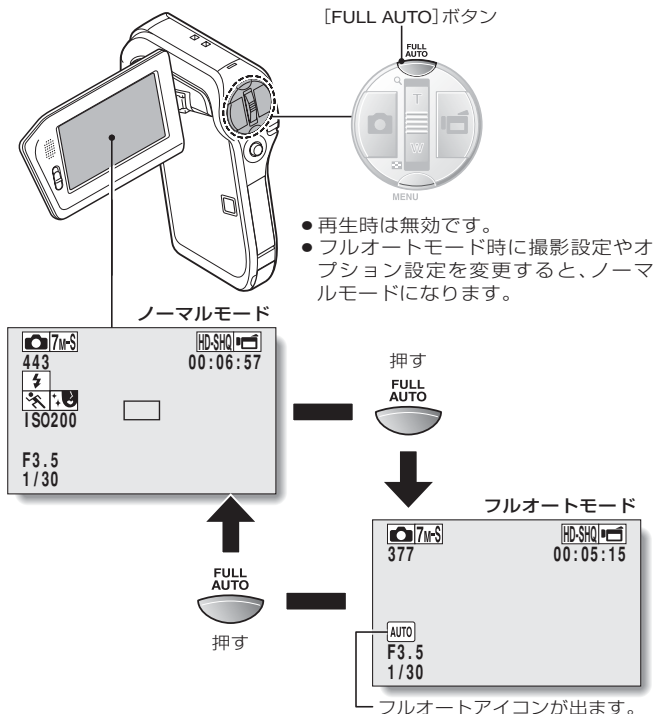
❺ **フォルダ選択 [P83]**
- 再生するフォルダを選びます。

❻ **コピー**
- Xacti ライブラリ機能で使用します。

❼ **電池残量表示 [P161]**

フルオートモードに設定する

フルオートモードでは、工場出荷時の設定で撮影をすることができます。フルオートモードにしても、SIMPLE モードや NORMAL モードで変更した設定は記憶していますので、フルオートモードを解除すると、変更した設定に戻ります。

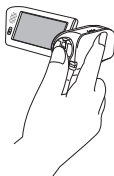
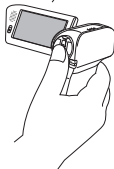
- 再生時は無効です。
- フルオートモード時に撮影設定やオプション設定を変更すると、ノーマルモードになります。

撮影の前に

上手に撮影するために

カメラをしっかり持って、脇をしめ、カメラがぐらぐらしないように構えてください。

良い例

悪い例

<カメラの持ちかた>

例1:
右手の人差し指をカメラの上にかけ、小指から中指でカメラを包むように握ってください。

例2:
右手の小指から人差し指でカメラを包むように握ってください。

指がレンズまたはフラッシュ発光部にかかっている

レンズやフラッシュ発光部に、指やハンドストラップがかからないように注意してください。

撮影の前に（つづき）

オートフォーカス（自動ピント合わせ）について

このカメラのオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体に対して正常に動作しますが、苦手な被写体もあります。ここでは、オートフォーカス機能でのピント合わせがしにくい被写体を、うまく撮影する方法を紹介します。オートフォーカス機能でピントが合わない場合は、フォーカスレンジを設定して撮影してください[P66]。

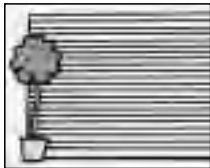
■オートフォーカスの苦手な被写体

次のような条件では、オートフォーカス機能でのピント合わせが正常に動作しないことがあります。

- **コントラストのない被写体や画面中央に極端に明るいものがある被写体、または、被写体や撮影場所が暗い**

撮影のしかた：被写体と同じ距離にある、コントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

- **縦線のない被写体**

撮影のしかた：カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、構図を横位置に戻して撮影してください。

次のような被写体では、オートフォーカス機能が動作してもピントが合わないときがあります。

- **遠いものと近いものが共存する被写体**

撮影のしかた：ピントを合わせたい被写体と同じ距離にあるものにフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。（モニターでピントを確認してください。）

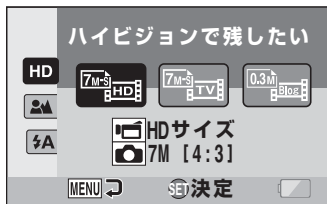
- **動きの速い被写体**

撮影のしかた：撮影したい被写体と同じ距離の被写体であらかじめフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

- 静止画は、再生時に回転することができます[P121]。
- [📷]ボタンを半分押したときに、モニターの画像が上下に動くことがあります。これは画像処理の関係によるもので、故障ではありません。なお、この時の画像の揺れは記録しませんので、再生時には現れません。
- 光学ズーム使用時やオートフォーカス動作中に、画面が揺れる場合がありますが、故障ではありません。

撮影サイズを選ぶ

撮影サイズ(ピクセル数)は、数値が大きいほどきめ細かな撮影が可能ですが、ファイルサイズが大きくなります。画像の使用目的に応じた画質に設定してください。

1 SIMPLE モード撮影メニューを出し [P43]、撮影サイズ設定を選んで [SET] ボタンを押す

- 7M-S HD：動画クリップは1,280×720ピクセル、静止画は3,072×2,304ピクセル7M-Sで撮影します。
- 7M-S TV：動画クリップは640×480ピクセル、静止画は3,072×2,304ピクセル7M-Sで撮影します。
- 0.3M Blog：動画クリップは320×240ピクセル、静止画は640×480(4:3)ピクセル0.3Mで撮影します。

2 動画クリップの撮影画像サイズを選び、[SET] ボタンを押す

- 撮影サイズを設定しました。

フォーカス設定を選ぶ

被写体までの距離に応じて、フォーカスレンジを選びます。

1 SIMPLE モード撮影メニューを出し [P43]、フォーカス設定を選んで [SET] ボタンを押す

- ：80cm～∞の範囲で、自動的にピントを合わせます（ノーマル）。
- ：1cm～80cmの範囲で、ピントを合わせます(スーパーマクロ)。

2 フォーカスレンジを選び、[SET] ボタンを押す

- フォーカスレンジを設定しました。

撮影の前に（つづき）

撮影のヒント

操作音を消したい

- [📷]ボタンや[MENU]ボタン、[SET]ボタンなどを押した時に鳴る音や、モードを切り替えた時に出る音声ガイダンスを消すことができます[P138]。

撮影した画像や録音した音声の保存先は？

- すべて、カメラに装着したカードに保存します。

逆光で撮影すると…

- 逆光で撮影した時は、レンズの特性上、ゴースト模様（フレア現象）が現れることがあります。このような時は、逆光を避けて撮影してください。

撮影ファイルの記録中は…

- マルチインジケータが赤色で点滅している間は画像の記録中で、次の撮影はできません。赤色点滅が消えれば撮影できます。ただし、赤色で点滅している間でも、カメラ内部メモリーの空き容量の状態により、撮影後約2秒で次の撮影ができる場合があります。

直前に撮影した画像の確認（レックレビュー）ができます

- 撮影後、[SET]ボタンを押すと、撮影した画像を再生し確認することができます。
- 動画クリップのレックレビューでは、通常再生、逆方向再生、一時停止が行えます[P76]。
- 撮影に失敗した場合は、（動画クリップの場合は一時停止または停止中に）[SET]ボタンを上側に押すと、画像を消去することができます。
- レックレビュー画面を表示しているときに[SET]ボタンを左または右側に押すと、他の画像を再生することができます。
- レックレビュー画面は、[SET]ボタンを下側に押すと消えます。

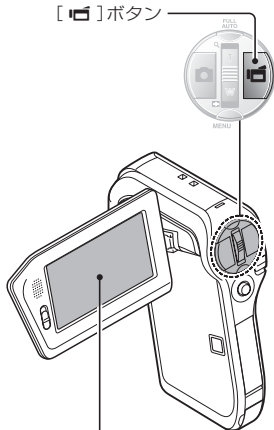
動画クリップ撮影をする

1 電源を入れ [P34]、撮影モードにする [P40]

2 [🎥] ボタンを押す

- 録画が始まります。
- [🎥]ボタンを押し続ける必要はありません。
- 撮影可能時間が少なくなると、残りの撮影可能時間が出ます。

3 撮影を終了する

- もう一度[🎥]ボタンを押すと、録画を終了します。

1 枚撮影をする

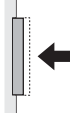
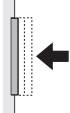
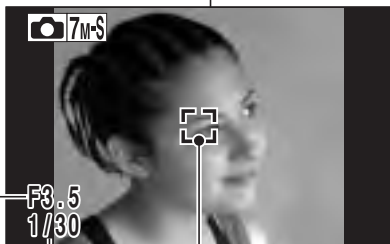
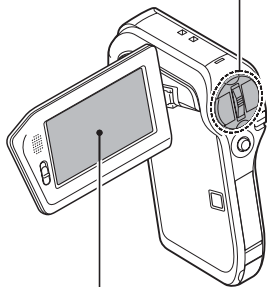
1 枚の静止画を撮影します(1 枚撮影)。

1 電源を入れ [P34]、撮影モードにする [P40]

2 [ ] ボタンを押す

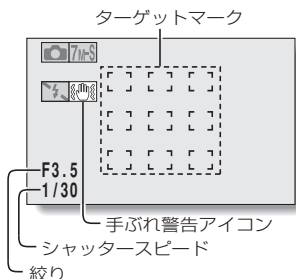
❶[ ]ボタンを半分押す
- オートフォーカスが働き、ピントが合います(フォーカスロック)。

❷さらに[ ]ボタンを押す
- シャッターが切れます。
- このまま、[ ]ボタンを押したままにしていると、撮影した画像をモニターで確認することができます(ポストビュー[P140])。

❶
❷

モニターの明るさを変えることができます

- 撮影画面が出ている時に[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、モニターの明るさを設定する画面[P147]が出ます。

どこにピントが合ってるの？

- ピントが合った位置には、ターゲットマーク⁝⁝が出ます。
- ピントを合わせる位置は、撮影範囲の9箇所のフォーカスポイントからカメラが自動的に判断します。ターゲットマークが、目的でない位置に出た場合は、カメラアングルを変更するなどして、ピントを合わせ直してください。
- 画面中央の広い範囲にピントが合った場合は､大きなターゲットマークが出ます。

フォーカスロックできます

- [SET]ボタンにショートカット機能[P142]を割り当てると、オートフォーカスを固定することができます。オートフォーカスを固定すると、モニターにAFアイコンが出ます。
- フォーカスレンジの設定[P66]を変更すると、フォーカスロックを解除します。

シャッタースピードと絞り値が出ます

- NORMALモードでは、撮影画面にシャッタースピードと絞り値が出ます。撮影の参考にしてください。

手ぶれ警告アイコンが出たら？

- 静止画撮影時、シャッタースピードが遅くなり手ぶれの可能性が高くなると、モニターに手ぶれ警告アイコンが出ます。このような時は、三脚でカメラを固定して撮影時にカメラがぶれないようにするか、フラッシュ動作モードを自動発光[P71]に設定してください。
- シーンセレクト機能の花火モード撮影時、常に手ぶれアイコンが出ますが、異常ではありません。

1枚撮影をする（つづき）

フラッシュを使って撮影する

フラッシュは暗い場所での撮影だけでなく、被写体が影になっている時や逆光の場合などでも役に立ちます。フラッシュを使って撮影できるのは 1 枚撮影のみです。

1 SIMPLE モード撮影メニューを出し [P43]、フラッシュ設定を選んで [SET] ボタンを押す

- フラッシュ動作を設定する画面が出ます。

[⚡A]：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが発光します。
[⚡]：被写体の明るさに関わらずフラッシュが発光します。
[⚡禁止]：暗い場所でもフラッシュは発光しません。

2 フラッシュ動作を選び、[SET] ボタンを押す

- フラッシュ動作を設定しました。

3 [📷] ボタンを押して撮影する

注意！

フラッシュ発光部に触れたままフラッシュ撮影をしない

- フラッシュ発光部が高温になり、触れるとやけどをする場合があります。フラッシュ発光部には、触れないようにしてください。

ヒント

- フラッシュを使って撮影できるのは1枚撮影のみです。

動画クリップ撮影中に静止画撮影をする

動画クリップ撮影中に、静止画撮影(1枚撮影)ができます。

1 電源を入れ [P34]、撮影モードにする [P40]

2 [🎥] ボタンを押す

3 静止画の撮影チャンスになったら、[📷] ボタンを押す

4 [🎥] ボタンを押して、撮影を終了する

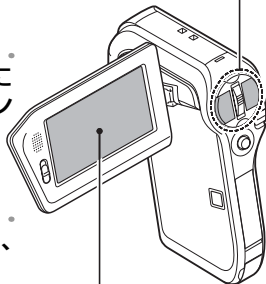
[🎥]ボタン

[📷]
ボタン

FULL AUTO

MENU

撮影

動画クリップ撮影中に静止画撮影をする

動画クリップ撮影中に静止画撮影をする(つづき)

ヒント

- 動画クリップ撮影中の静止画撮影の場合、フラッシュは発光しません。
- 顔検出機能[P109]は動作しません。

録画が止まる？

- 動画クリップ録画中に静止画撮影をすると、静止画を保存している間、動画クリップの録画は一時停止します。静止画の保存が終わったら動画クリップ録画を再開します。
- 撮影可能時間が約50秒以下になると、動画クリップ撮影中の静止画撮影ができなくなります。静止画撮影ができなくなる撮影可能時間は、被写体や動画モードの設定[P85]によって異なります。動画クリップ撮影中に静止画撮影をする場合は、撮影可能時間にご注意ください。

静止画の撮影サイズについて

- 静止画の撮影サイズ[P86]を10Mに設定している場合は、自動的に7M-Sに変更して撮影します。

拡大(ズーム)撮影をする

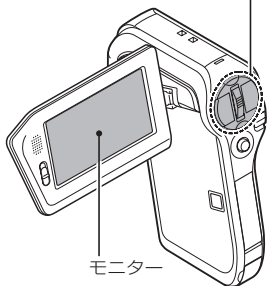
ズーム機能には光学ズームとデジタルズームがあります。

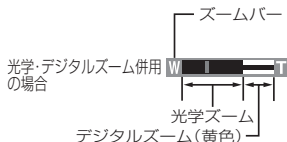
1 被写体にレンズを向ける

2 ズームスイッチを[T/]または[W/]側に押して、構図を決める

[T/]：望遠画面になります。

[W/]：広角画面になります。

- ズーム動作に入ると、モニターにズームバーが出ます。
- 光学ズームが最大倍率になると、ズーム動作がいったん止まります。再度ズームスイッチを[T/]側に押すと、デジタルズームに切り替わり、ズーム動作が再開します。

3 撮影する

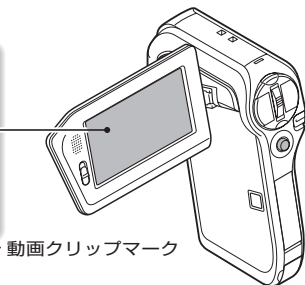
動画クリップ撮影→[P68]
1枚撮影→[P69]
連写撮影→[P87]

動画／静止画を再生する

1 再生モードにする [P40]

2 [SET] ボタンを右または左に押して、目的の画像を出す

● 動画クリップには、画面の左右に動画クリップマークが出ます。

動画クリップマーク

＜例：動画クリップ撮影後＞

＜例：静止画撮影後＞

3 動画クリップの場合は [SET] ボタンを押す

● 再生を開始します。

こうするには		こうします
順方向再生		[SET]ボタンを押す
再生中止		再生中に[SET]ボタンを下に押す
一時停止		再生中に[SET]ボタンを押す、または[SET]ボタンを上に押す 倍速再生中は[SET]ボタンを上に押す
コマ送り再生	順方向	一時停止中に、[SET]ボタンを右に押す
	逆方向	一時停止中に、[SET]ボタンを左に押す
スロー再生	順方向	一時停止中に、[SET]ボタンを右に押し続ける
	逆方向	一時停止中に、[SET]ボタンを左に押し続ける
倍速再生	順方向	順方向再生中に[SET]ボタンを右に押す ※[SET]ボタンを右に押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 通常速度→2倍速→5倍速→10倍速→15倍速 [SET]ボタンを左に押すと、再生速度が元に戻ります。
	逆方向	順方向再生中に[SET]ボタンを左に押す ※[SET]ボタンを左に押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 15倍速←10倍速←5倍速 [SET]ボタンを右に押すと、再生速度が元に戻ります。
通常再生に戻す		[SET]ボタンを押す
音量調整		**大きくする**:再生中にズームスイッチを[T]側に押す **小さくする**:再生中にズームスイッチを[W]側に押す

操作が終わったら

- [ON/OFF]ボタンを押して電源を切ってください。

動画／静止画を再生する(つづき)

動画クリップは、ファイル量が多くなります

- 撮影したファイルをパソコンにダウンロードして再生した時、ご使用になるパソコンによっては、画像処理能力が追いつかない場合があります。このため、再生画像がスムーズに動かないなどの現象になります(カメラのモニターやテレビでは、正常に再生できます)。
- 撮影可能時間以内でも、お使いのカードによっては、撮影を終了する場合があります。

動画クリップの再生位置を表示できます

- 動画クリップ再生中に[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、現在の再生位置を示すバーが出ます。
- 再生位置を示すバーは、再度[MENU]ボタンを約1秒以上押すと消えます。

注意!

動画クリップ再生時に動作音がする？

- 撮影時に光学ズームの動作音やオートフォーカスの動作音を録音したもので、故障ではありません。

音声が出ない？

- コマ送り、倍速再生および逆方向再生時、音声は再生しません。

スライドショー再生する

ファイルを連続して再生する「スライドショー再生」ができます。

1 SIMPLE モード再生メニューを出し [P43]、スライドショー設定を選んで[SET]ボタンを押す

- ：すべてのファイルを再生します。
- ：動画クリップと音声ファイルを再生します。
- ：静止画ファイルを再生します。

2 再生するファイルの種類を選び、[SET]ボタンを押す

- スライドショー再生を開始します。
- 再生中に[SET]ボタンまたは[MENU]ボタンを押すと、スライドショーを中止します。

ヒント

スライドショーの設定について

- スライドショー再生中は、NORMAL再生メニューの[スライドショー]で設定したBGMを再生します。BGMを変更する場合は、NORMAL再生メニューの[スライドショー]でBGMの設定を変更してください[P112]。
- SIMPLEモードのスライドショーでは、切り替え効果は「フェード」、切り替え時間は「2秒」に固定です。

再生音量を設定する

動画クリップや音声ファイルの再生音量を設定します。

1 SIMPLE モード再生メニューを出し [P43]、再生音量設定を選んで[SET] ボタンを押す

- 音量バーが出ます。

2 [SET] ボタンを左右に押して音量を設定し、[SET] ボタンを押す

- 再生音量を設定し、SIMPLEモード再生メニューに戻ります。

再生中に音量を設定することができます

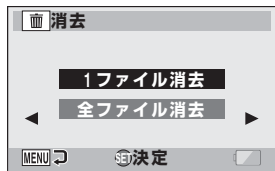
- 動画クリップまたは音声再生中にズームスイッチを上または下側に押すと音量バーが出て、音量を設定することができます。

NORMALモードでは

- NORMALモード再生メニューの[再生音量]を選んで[SET]ボタンを押すと、音量バーが出ます。

ファイルを消去する

ファイルの消去方法には、選んだファイルを 1 つずつ消去する方法と、すべてのファイルを一括して消去する方法があります。

1 SIMPLE モード再生メニューを出し[P43]、消去 [🗑] を選んで [SET] ボタンを押す

[1ファイル消去]：表示しているファイルを消去します。

[全ファイル消去]：すべてのファイルを消去します。

2 消去方法を選び、[SET] ボタンを押す

- ファイル消去を確認するメッセージが出ます。

<[1ファイル消去]を選んだ場合>

- [SET]ボタンを左右に押して、消去するファイルを選んでください。
- 1ファイルずつ消去する場合、消去確認画面が出ません。よくファイルを確認してください。

<[全ファイル消去]を選んだ場合>

- [SET]ボタンを左右に押して、すべてのファイルを消去しても良いか確認してください。

ファイルを消去する(つづき)

3 [消去] を選び、[SET] ボタンを押す

<[1ファイル消去]を選んだ場合>

- 表示中の画像を消去します。
- 続けてファイルを消去する場合は、ファイルを選んで[消去]を選び、[SET]ボタンを押してください。

<[全ファイル消去]を選んだ場合>

- 再度、消去を確認する画面が出ます。消去しても良ければ[はい]を選んで[SET]ボタンを押してください。消去が終わると、[画像がありません]表示が出ます。

NORMALモードでは

- NORMALモード再生メニューの[消去]を選んで[SET]ボタンを押すと、消去画面が出ます。

注意!

- プロテクトがかかっているファイルは、消去できません。消去する場合は、プロテクトを解除してから消去してください[P114]。

さまざまな再生方法

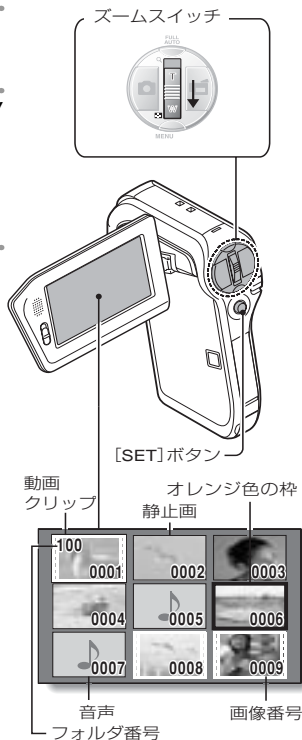
9画面マルチ再生

1 再生画面を出す

2 ズームスイッチを [W/] 側に押す

- 9画面マルチ再生表示になります。

3 再生する

- [SET]ボタンを上下左右に押し、再生する画像にオレンジ色の枠を合わせ、[SET]ボタンを押してください。
  [SET]ボタンの代わりに、ズームスイッチを[T/]側に押しても、再生できます。
- 9画面マルチ再生表示の状態でズームスイッチを[W/]側に押すと、再生するフォルダを選択する画面[P83]になります。

さまざまな再生方法（つづき）

再生するフォルダを選択する

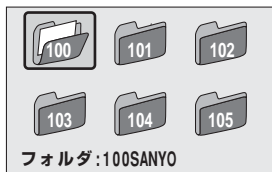
カードに複数のフォルダがある場合、再生するフォルダを選択することができます。

1 再生画面を出す

2 ズームスイッチを [W/] 側に 2 回押す

- 再生するフォルダを選択する画面が出ます。
- ズームスイッチを[T/]側に押すと、9画面マルチ再生[P82]になります。

3 [SET] ボタンを右または左に押し、再生するフォルダにオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

- 選択したフォルダ内のファイルが再生画面に出ます。

ヒント

NORMALモードでは

- NORMALモード再生メニューの[フォルダ選択]を選んで[SET]ボタンを押すと、再生するフォルダを選択する画面が出ます。

拡大(ズーム)表示をする

1 画像を表示する

- 動画クリップの場合は、拡大表示する位置で、一時停止してください。

2 ズームスイッチを[T/ 🔍]側に押す

- 拡大表示画面になります。
- 画像の中央部分を中心に、拡大表示します。
- [SET]ボタンを上下左右に押すと、表示部分が移動できます。

拡大する：ズームスイッチを[T/ 🔍]側に押すごとに倍率が上がります。

元に戻す：ズームスイッチを[W/ ▦]側に押すごとに倍率が下がります。

- [SET]ボタンを押すと、通常表示(100%)の画面に戻ります。

ヒント

拡大した画像が保存できます

- 拡大表示している時に[📷]ボタンを押すと、拡大表示状態の画像を静止画として保存できます。

撮影サイズを選ぶ

動画クリップや静止画の美しさは、撮影サイズ(ピクセル数)で設定します。撮影サイズは大きいほど美しく再生できるのですが、ファイルサイズも大きくなります。使用目的に応じた撮影サイズに設定してください。

動画

動画クリップ撮影には、縦横比が 16：9 の HD モードと 4：3 の SD モードがあります。また、フレームレートは、数値が大きくなるほど滑らかな再生が可能です。ただし、撮影サイズ同様、数値が大きくなるほどファイルサイズが大きくなります。また、音声のみを記録する場合も、このメニューで設定します。

1 NORMAL モード撮影メニューを出し[P43]、[動画] を選んで [SET] ボタンを押す

<HDモード>

HD-SHQ：1,280×720ピクセル、30フレーム/秒(高ビットレート)で撮影します。

HD-HQ：1,280×720ピクセル、30フレーム/秒(標準ビットレート)で撮影します。

<SDモード>

TV-SHQ：640×480ピクセル、30フレーム/秒(高ビットレート)で撮影します。

TV-HQ：640×480ピクセル、30フレーム/秒、(標準ビットレート)で撮影します。

WebSHQ：320×240ピクセル、30フレーム/秒で撮影します。

<音声モード>

🎤：音声を録音します(音声メモ)。

2 撮影サイズを選び、[SET] ボタンを押す

- 撮影サイズを設定しました。

注意!

動画クリップを編集する場合

- 動画クリップをつなぎ合わせる場合は、同じ動画モードで撮影してください。
- 異なる動画モードで撮影した動画クリップは、つなぎ合わせることができません。

静止画

静止画の縦横比には 4：3 と 16：9 があります。また、連写をする場合も、このメニューで設定します。

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[静止画] を選んで [SET] ボタンを押す

10M ：3,680×2,760ピクセルで撮影します。

7M-H ：3,072×2,304ピクセル（低圧縮）で撮影します。

7M-S ：3,072×2,304ピクセル（標準圧縮）で撮影します。

5.3M ：3,072×1,728ピクセル（16：9）で撮影します。

2M ：1,600×1,200ピクセルで撮影します。

0.9M ：1,280×720ピクセル（16：9）で撮影します。

0.3M ：640×480ピクセルで撮影します。

連写 ：3,072×2,304ピクセルで、連写します。

2 撮影サイズを選び、[SET] ボタンを押す

- 撮影サイズを設定しました。

撮影サイズを選ぶ(つづき)

連写撮影をするには

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[静止画] を選んで [SET] ボタンを押す

2 を選び、[SET] ボタンを押す

- 連写撮影モードになります。

3 [ ] ボタンを押す

- 撮影を開始します。[ ]ボタンを押している間、撮影をします。

最大連写可能枚数は?

- 5枚です。

連写撮影時のピント合わせについて

- 連写撮影では、オートフォーカス機能は[ ]ボタンを半分押した時に働き、ピントを固定します。

フラッシュ撮影はできる?

- 連写撮影時にフラッシュは使えません。

録音するには

音声のみを録音・再生することができます。

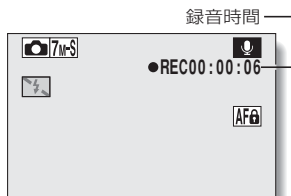
録音する

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[動画] を選んで [SET] ボタンを押す

2 [マイク] を選び、[SET] ボタンを押す

- 録音可能状態になります。

3 [ ] ボタンを押す

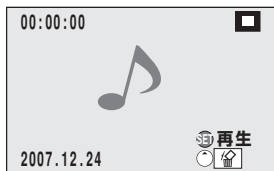
● 録音を開始します。録音中は、モニターに表示が出ます。[ ]ボタンを押し続ける必要はありません。

4 録音を終了する

● もう一度[ ]ボタンを押すと、録音が終了します。

録音中に静止画撮影ができます

● 録音中に[ ]ボタンを押すと、静止画を撮影することができます。ただし、静止画モードを10Mに設定している場合は、自動的に7M-Sに変更して撮影します。

音声を再生する

1 音声ファイルを表示する

2 再生する

こうするには		こうします
通常再生	再生開始	[SET]ボタンを押す
	一時停止	[SET]ボタンを押す [SET]ボタンを上に押す
	再生中止	[SET]ボタンを下に押す
早送り/ 早戻し	早送り	再生中に[SET]ボタンを右に押す [SET]ボタンを右に押すたびに、送る速度が速くなります。また、早送り中に[SET]ボタンを左に押すと、送る速度が遅くなります。
	早戻し	再生中に[SET]ボタンを左に押す [SET]ボタンを左に押すたびに、送る速度が速くなります。また、早戻し中に[SET]ボタンを右に押すと、送る速度が遅くなります。
	一時停止	[SET]ボタンを上に押す
	通常再生に戻す	[SET]ボタンを押す
音量調整	大きくする	再生中にズームスイッチを[T/]側に押す
	小さくする	再生中にズームスイッチを[W/]側に押す

注意!

音声が出ない?
- 早送りおよび早戻し時、音声は再生しません。

シーンセレクト機能を使う

撮影条件に応じたさまざまな設定(絞りやシャッタースピードなど)を登録済みの設定から選んで撮影することができます。

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[シーンセレクト] を選んで [SET] ボタンを押す

シーン設定	特　徴	撮影モード設定		
		1枚撮影	連写	動画クリップ
AUTO オート	カメラが最適な状態に設定します。	○	○	○
スポーツ	動きの速い被写体の一瞬を捉えることができます。	○	○	○
ポートレート	背景をぼかして、人物を引き立てた雰囲気のある撮影ができます。	○	○	○
風景	遠くの風景がきれいに撮影できます。	○	○	○
夜景ポートレート	バックの夜景を活かしながら、人物の撮影ができます。	○	×	○
スノー&ビーチ	スキー場などの雪景色や砂浜など、明るい風景を撮影します。	○	○	○
花火	打ち上げ花火を撮影します。	○	×	○
ランプ	小さな光だけで撮影します。	○	×	○

○：設定できます。　×：設定できません。

2 目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- シーンセレクトを設定しました。
- 通常の撮影に戻す場合は、シーンセレクトメニューのAUTOを選び、[SET]ボタンを押してください。

ヒント

- ランプモード、花火モードや夜景ポートレートモードで撮影する場合は、手ぶれを防ぐために三脚などでカメラを固定してください。
- AUTO以外のシーンセレクト機能を設定した場合の制限事項については、206ページを参照してください。

フィルター機能を使う

フィルターは、色調などを変えて、撮影画像に特殊な効果を与える機能です。

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[フィルター] を選んで [SET] ボタンを押す

：フィルターを使わずに撮影します。

：人物を撮影する時に、お肌をきれいに撮影できます(コスメフィルター)。

：モノクロ撮影ができます(モノクロフィルター)。

：色調をセピアカラーにした撮影ができます(セピアフィルター)。

2 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- フィルターを設定しました。
- 通常の撮影に戻す場合は、フィルターメニューの を選び、[SET]ボタンを押してください。

- 以外のフィルターを設定した場合の制限事項については、207ページを参照してください。

フラッシュ動作を設定する

フラッシュは暗い場所での撮影だけでなく、被写体が影になっている時や逆光の場合などでも役に立ちます。
フラッシュを使って撮影できるのは 1 枚撮影のみです。

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[フラッシュ] を選んで [SET] ボタンを押す

ϟA：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが発光します。

ϟ：被写体の明るさに関わらずフラッシュが発光します。

ϟ(禁止)：暗い場所でもフラッシュは発光しません。

2 フラッシュ動作を選び、[SET] ボタンを押す

- フラッシュ動作を設定しました。

3 [📷] ボタンを押して撮影する

注意!

フラッシュ発光部に触れたままフラッシュ撮影をしない

- フラッシュ発光部が高温になり、触れるとやけどをする場合があります。フラッシュ発光部には、触れないようにしてください。

ヒント

- フラッシュを使って撮影できるのは1枚撮影のみです。
- [SET]ボタンにショートカット機能[P142]を割り当てると、撮影画面からフラッシュの設定を変えることができます。

セルフタイマーを使う

[ ] または [ ] ボタンを押してから 、撮影を開始するまでの時間を設定します。

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[セルフタイマー] を選んで [SET] ボタンを押す

：セルフタイマーを使いません。

：[ ]または[ ]ボタンを押した後、2秒後に撮影します。

：[ ]または[ ]ボタンを押した後、10秒後に撮影します。

2 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- セルフタイマーの設定ができました。

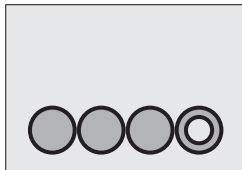
3 撮影をする

- [SET]ボタンにショートカット機能[P142]を割り当てると、撮影画面からセルフタイマーを設定することができます。

セルフタイマー撮影を中断/中止するには

- セルフタイマー撮影を中断する時は、シャッターが切れる前に、もう一度[ ]または[ ]ボタンを押します。再度セルフタイマー撮影をする時は、[ ]/[ ]ボタンを押します。
- セルフタイマー撮影を中止する時は、セルフタイマーメニューのアイコンを選び、[SET]ボタンを押してください。
- パワーセーブ状態になったり電源が切れると、セルフタイマーの設定を自動的にに変更します。

アイコンを選んだ場合は

- [ ]または[ ]ボタンを押すとマルチインジケータが約10秒間点滅した後、撮影を開始します。また撮影を開始する4秒前になるとモニターに右の表示が出て、撮影のタイミングをお知らせします。

モニターユニットを最後まで回すと、モニターの画像が反転します。

動画手ぶれを補正する

動画クリップ撮影時の手ぶれを補正し、手ぶれの少ない撮影を可能にします。

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[動画手ぶれ補正] を選んで [SET] ボタンを押す

：手ぶれを補正します。

：手ぶれを補正しません。

2 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- 動画手ぶれ補正を設定しました。

<手ぶれ補正設定時の画角変化について>

- 手ぶれ補正をONに設定すると、静止画撮影時に画角が変わります。
- 手ぶれ補正をOFFに設定していても、HDモードでは画角が変わります。
- 静止画設定[P86]を 0.9M 0.3M に設定し、シーンセレクト機能[P91]を AUTO に設定している場合、動画クリップ撮影中に撮影した静止画は、撮影中の動画クリップと同じ画角になります。

手ぶれ補正が効かない？

- 機構上の特性により、激しい手ぶれは補正できない場合があります。
- デジタルズーム[P74]使用時は、倍率が大きいため被写体によっては手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
- カメラを三脚などで固定して撮影する場合は、手ぶれ補正をしない設定にしてください。手ぶれ補正を設定して撮影すると、不自然な画像になる場合があります。

手ぶれ補正を設定していると

- モニターに以下のアイコンが出ます。

フォーカスレンジを設定する

1 NORMALモード撮影メニューを出し [P43]、[フォーカス] を選んで [SET] ボタンを押す

- 中・遠景を撮影する場合、に設定するとフォーカスが合いやすくなり、フォーカスが合うまでの時間も短くなります。

：Wide端：10cm～∞
Tele端：80cm～∞（全域モード）

：80cm～∞（ノーマルモード）

MF：焦点距離を1cmから8mの間で設定でき、∞に設定することもできます（マニュアルフォーカス）。

：1cm～80cm（スーパーマクロモード：Wide端のみ）

- 、またはMFに設定すると、モニターに、またはMFアイコンが出ます。

2 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- フォーカスレンジを設定しました。

- スーパーマクロに設定すると、いったんズームをWide端にします。
- [SET]ボタンにショートカット機能[P142]を割り当てると、撮影画面からフォーカスレンジの設定を変えることができます。

マニュアルフォーカスの使いかた

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[フォーカス] を選んで [SET] ボタンを押す

2 [マニュアル] を選び、[SET] ボタンを押す

- 焦点距離を設定するバーが出ます。

3 [SET] ボタンを右または左側に押して焦点距離を設定し、[SET] ボタンを押す

- 焦点距離を設定し、撮影画面に戻ります。

焦点距離について

- 焦点距離の表示は、レンズの中心からの距離です。
- マニュアルフォーカスで設定する焦点距離の数値と実際の被写体までの距離に、多少の相違が出る場合があります。

マニュアルフォーカス使用時のズーム動作について

- 焦点距離を70cm以下に設定すると、ズーム位置は焦点距離に適合した最大の位置になります。
- 焦点距離を70cm以下に設定している場合、ズームはピントが合う範囲でのみ動作します。

フォーカス方式を設定する

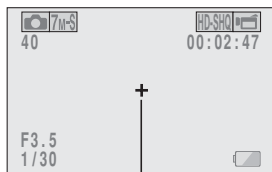
静止画撮影時のオートフォーカス(ピント合わせ)の方式は、以下の 2 種類から選べます。
9 点測距フォーカス：モニターから見える撮影範囲の 9 箇所のフォーカスポイントでピントを合わせます。ピントが合ったところには、ターゲットマーク ⌜⌟ が出ます。
スポットフォーカス：モニターの中央部分の被写体にフォーカスを合わせます。

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[フォーカス方式] を選んで [SET] ボタンを押す

9-AF：9点測距フォーカスになります。

S-AF：スポットフォーカスになります。

2 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- フォーカス方式を設定しました。
- スポットフォーカスに設定した場合は、モニター中央にフォーカスマーク+が出ます。

フォーカスマーク

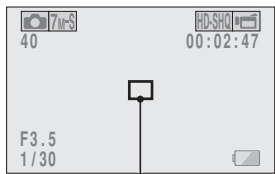
測光方式を設定する

カメラの測光方式は、以下の 3 種類から選べます。
多分割測光　：撮影画面全体の光量を分割して調光します。
中央重点測光：撮影画面の中央付近の光量に重点をおいて、撮影画像全体を調光します。
スポット測光：モニターの中央部分の光量だけを重点的に調光してから構図を決め、撮影することができます。

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[測光方式] を選んで [SET] ボタンを押す

[▦]：多分割測光になります。
[◎]：中央重点測光になります。
[▣]：スポット測光になります。

2 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- 測光方式を設定しました。
- スポット測光に設定した場合は、モニター中央に測光スポットマーク[　]が出ます。

測光スポットマーク

ＩＳＯ感度を設定する

初期設定では、自動的に被写体の明るさに応じてISO感度を設定するようになっていますが、ISO感度を固定することができます。

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[ISO 感度] を選んで [SET] ボタンを押す

AUTO：自動的に感度を設定します（動画クリップ撮影時：ISO200～1,600相当、静止画撮影時：ISO50～200）。

50：ISO50（動画クリップ撮影時：ISO200相当）に設定します。

100：ISO100（動画クリップ撮影時：ISO400相当）に設定します。

200：ISO200（動画クリップ撮影時：ISO800相当）に設定します。

400：ISO400（動画クリップ撮影時：ISO1,600相当）に設定します。

800：ISO800（動画クリップ撮影時：ISO3,200相当）に設定します。

1600：ISO1,600（動画クリップ撮影時：ISO3,200相当）に設定します。

3200：ISO3,200（動画クリップ撮影時：ISO3,200相当）に設定します。

※ISOの表示値は標準出力感度です。

2 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- ISO感度を設定しました。

ヒント

- ISO感度を高く設定するほど、速いシャッタースピードでの撮影や暗い場所での撮影が可能になりますが、撮影画像にノイズが増えたり、画像が乱れたりする場合があります。
- [SET]ボタンにショートカット機能[P142]を割り当てると、撮影画面からISO感度の設定を変えることができます。

注意!

動画クリップ撮影でフリッカー(画面のちらつき)が発生する?

- ISO感度を400以上に設定し、蛍光灯照明の下で動画クリップ撮影をすると、撮影画像に激しいフリッカーが発生する場合があります。

ホワイトバランスを設定する

このカメラは、光源の色が変化しても、撮影画像の色が変化しないように調整するホワイトバランス自動調整機能を搭載しています。特に光源を指定する場合は、ホワイトバランスの設定をしてください。

1 NORMAL モード撮影メニューを出し[P43]、[ホワイトバランス]を選んで[SET]ボタンを押す

AWB：撮影現場の天候や照明をカメラが判別し、自動的にホワイトバランスを調整します。

☼：晴天時の設定です。

☁：曇天時の設定です。

蛍光灯：蛍光灯による照明時の設定です。

白熱灯：白熱灯による照明時の設定です。

ワンプッシュ：現在の光源で、より正確にホワイトバランスをとる時の設定です(ワンプッシュ)。光源が特定できない場合などに使用してください。

[設定のしかた]

❶ワンプッシュアイコンを選ぶ

❷白色の紙を画面いっぱいに表示して、[SET]ボタンを押す

・ホワイトバランスが設定できました。

2 目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

● ホワイトバランスを設定しました。

ホワイトバランスの設定を解除するには

● 操作1を行い、AWBアイコンを選んで[SET]ボタンを押します。

露出を設定する

このカメラは、シャッタースピードや絞りをそれぞれ設定することができます。

1 NORMALモード撮影メニューを出し[P43]、[露出]を選んで[SET]ボタンを押す

P：被写体の明るさに応じて、最適なシャッタースピードと絞りで撮影できます(絞り・シャッター可変プログラムAE)。
　使用例：設定をカメラに任せて、手軽に撮影する。

S：シャッタースピードとNDフィルターを設定できます。シャッタースピードを設定すると、最適な絞りに自動調整して撮影できます(シャッタースピード優先AE)。
　使用例：速いシャッタースピードに設定し、速い動きの一瞬を撮影する。
　遅いシャッタースピードに設定し、流し撮りで背景が流れるようなシーンを撮影する。フラッシュと、遅いシャッタースピード(スローシャッター)を併用し、前景の人物も背景の夜景もきれいに撮影する(スローシンクロ撮影)。

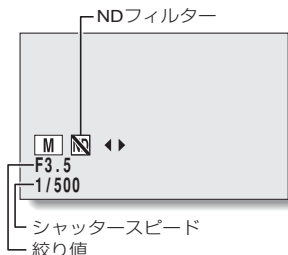
A：絞りとNDフィルターを設定することができます。絞りを設定すると、最適なシャッタースピードに自動調整して撮影できます(絞り優先AE)。
　使用例：絞りを開放に設定し、背景をぼかした立体感のあるポートレート撮影をする(被写界深度を浅くする)。
　絞り込んだ設定にし、人物もバックもくっきり写す(被写界深度を深くする)。

M：シャッタースピード、絞りとNDフィルターを任意に設定して、撮影できます(マニュアル露出制御)。
　使用例：フラッシュを使わず、暗い場所での撮影をするとき、長時間シャッターを開ける「スローシャッター」を設定する。
　夜景撮影で使用すると、光が流れるような写真にすることができる。

2 露出メニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

<S A または M を選んだ場合>

❶[SET]ボタンを上または下側に押して、NDフィルター、絞り値またはシャッタースピードを選んでください。

❷[SET]ボタンを左右に押すと設定を変更することができます。

3 [SET] ボタンを押す

- 露出を設定しました。

ヒント

- 遅いシャッタースピードで撮影する時は、手ぶれを防ぐため、三脚などでカメラを固定してください。
- 遅いシャッタースピードにすると、より暗い場所での撮影が可能になりますが、撮影画像にはノイズが増える場合があります。
- ノイズを軽減するには、ノイズ軽減の設定をしてください[P144]。
- シーンセレクト機能を設定すると、露出設定は自動的に P になります。
- 連写撮影モードでのシャッタースピードは、1/15より速くなります。
- シャッタースピードを1/59より遅く設定しても、動画クリップ撮影モードでのシャッタースピードは1/60になります。
- S A または M に設定した場合、[SET]ボタンにショートカット機能[P142]を割り当てると、撮影画面から S A または M の設定を選ぶことができます。

デジタルズームを設定する

撮影時にデジタルズームを使う / 使わないを設定することができます。

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[デジタルズーム] を選んで [SET] ボタンを押す

デジタルズーム
ON
OFF
MENU
SET 決定

：デジタルズームを使います。

：デジタルズームを使いません。

2 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- デジタルズームを設定しました。

- 以下の設定時、デジタルズームは使えません。
  静止画モードを 10M に設定している

顔検出を設定する

静止画撮影時、被写体の顔の部分を検出し、明るさとピントを顔の部分に合わせて、顔が明るくはっきりと写るように撮影することができます。

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[顔検出] を選んで [SET] ボタンを押す

：顔を検出します。

：顔を検出しません。

2 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- 顔検出を設定しました。

顔検出をONにすると･･･

- 撮影画面の顔の部分に緑色の枠が出ます。
- ピントが合っている顔には、緑色の二重枠が出ます。
- [ ]ボタンを半分押すと、ピントが合っている顔の枠がオレンジ色に変わります。
  顔検出で撮影した画像は、拡大再生すると、顔を中心にズームします。
- シーンセレクト機能の設定は、自動的にAUTOになります。

注意!

- デジタルズームは使用できません。
- ズーム動作中は、顔を検出することができません。
- モニターに映る顔が小さかったり暗かったりすると、顔を検出できない場合があります。

高感度撮影をする

高感度モードでは、ISO 感度や露出補正で設定した明るさをさらに明るくして撮影することができます。

1 NORMAL モード撮影メニューを出し [P43]、[高感度モード] を選んで [SET] ボタンを押す

HS：高感度モード撮影をします。

HS（斜線）：高感度モード撮影をしません。

2 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- 高感度モードを設定しました。

注意！

高感度モードでの制限

- 露出[P106]を S A または M に設定したり、フリッカー軽減機能[P146]を[ON]に設定すると、高感度撮影の設定は自動的に[OFF]になります。
- シャッタースピードを落として明るく撮影するため、再生すると動画クリップの動きが粗くなります。
- 暗い場所で撮影すると、オートフォーカスや自動露出が正しく動作しない場合があります。

露出を補正して撮影する

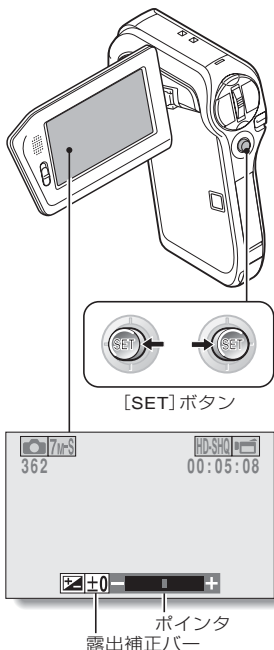
[SET] ボタンにショートカット機能 [P142] で露出補正を割り当てると、明るさを変えて撮影することができます。

1 ショートカット機能を設定する [P142]

2 ショートカット機能を設定した方向に[SET]ボタンを押す

- 露出補正バーが出ます。

3 [SET] ボタンを右または左に押し、露出を補正する

- 露出補正値は、露出補正バーの左側に出ます。
- 露出は－1.8EV～＋1.8EVの範囲で補正することができます。
- 露出補正バーは、[MENU]ボタンまたは[SET]ボタンを押すと消えます。

[SET]ボタン

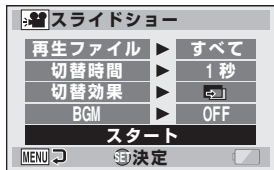
以下の操作をすると、露出補正の設定を解除します

- ポインタを中央にする
- スタンバイモードまたはスリープモードにする
- 再生モードにする
- 電源を切る

NORMAL 露出を補正して撮影する

スライドショー再生をする

ファイルを連続して再生する「スライドショー」の設定をします。静止画のスライドショーでは、切り替え時間や切り替え効果、BGM を設定することができます。

1 NORMAL モード再生メニューを出し [P43]、[スライドショー] を選んで [SET] ボタンを押す

[再生ファイル]：再生するファイルの種類を設定します。

[すべて]：すべてのファイルを再生します。
[動画]：動画クリップと音声ファイルを再生します。
[静止画]：静止画ファイルを再生します。

[切替時間]：静止画再生時、次の画像を再生するまでの時間を設定します。

[切替効果]：静止画再生時、画面が切り替わる時の画面効果を設定します。

[BGM]：スライドショー再生中に鳴らす音楽を設定します。

[スタート]：スライドショーを開始します。

<設定を変更する場合>
❶ 設定を変更する項目を選び、[SET] ボタンを押す
❷ [SET]ボタンを上下に押し、設定を選ぶ
❸ [SET]ボタンを押す

2 [スタート] を選び、[SET] ボタンを押す

- スライドショーを開始します。
- 再生中に[SET]ボタンまたは[MENU]ボタンを押すと、スライドショーを中止します。

動画クリップのBGMは？

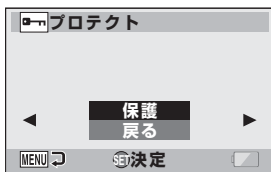
- 動画クリップをスライドショー再生している時は動画クリップの音声を再生し、BGMは鳴りません。

ファイルにプロテクトを設定する

画像や音声ファイルにプロテクト(消去禁止)を設定します。

1 プロテクトを設定するファイルを表示し、NORMAL モード再生メニューを出す [P43]

2 [プロテクト] を選び、[SET] ボタンを押す

- [保護]表示が出ます。
- プロテクトがかかっている画像の場合は、[解除]表示が出ます。

3 [SET] ボタンを上または下側に押して [保護] を選び、[SET] ボタンを押す

- ファイルにプロテクトを設定しました。
- プロテクトを設定したファイルには、プロテクトマーク が付きます。

注意!

- プロテクトをかけたファイルでも、カードをフォーマットすると消えます。

操作 2・3 の画面で、他の画像を選ぶには

- [SET]ボタンを右または左側に押します。

プロテクトを解除するには

- プロテクトを解除するファイルを表示し、操作 1〜3 を行ってください。プロテクトマーク が消え、プロテクトを解除します。

プリントを予約する

静止画は、プリンタで印刷することはもちろん、従来の写真のようにデジタルプリント取扱店でプリントができます。またこのカメラは DPOF 規格を採用しており、プリントする枚数や日付けプリントの有無、さらにインデックスプリントを予約することもできます。

プリント予約画面を出す

1 NORMAL モード再生メニューを出し [P43]、[プリント予約] を選んで [SET] ボタンを押す

[すべての画像]：
すべての画像にプリントの予約を行います。

[1枚ごと]：
画像1枚ごとにプリントの予約を行います。

[インデックス]：
すべての静止画を小さな画像で一覧表示用としてプリントします。

[全指定取消し]：
プリント指定の内容をすべて取り消します。プリントを予約していない場合は選べません。

動画クリップの1コマは

- 動画クリップの画像をプリンタで印刷したりプリントサービスに出す場合は、静止画として画像を抜き出してから[P125]プリントの予約をしてください。

DPOF規格について

- DPOFは、プリントオーダー規格の1つです。カメラでプリント内容を予約することで、効率よくプリントができます。DPOF規格に対応したプリンタにカメラを直接つないで印刷することもできます。またプリント予約をすると、予約画像印刷[P177]で一度に印刷することもできます。

プリントの仕上がりについて

- 回転表示[P121]した画像は、元の画像の状態でプリントします。
- プリントの仕上がりは、プリントサービスやプリンタの仕様によって異なります。

プリントを予約する(つづき)

日付・プリント枚数を予約する

1 画像ごとに個別に予約する方法(1 枚ごと)と、すべての画像に同じ予約をする方法(すべての画像)があります。

1 プリント予約画面を出す [P115]

2 [すべての画像]または[1枚ごと]を選ぶ

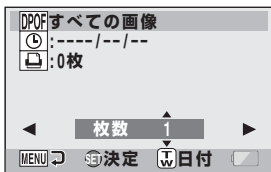
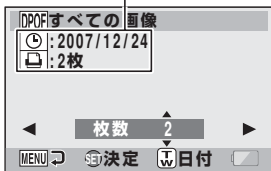
[すべての画像]：
すべての画像に、同じプリント予約をします。

[1枚ごと]：
表示している画像にプリント予約をします。

3 [SET] ボタンを押す

- 日付・プリント枚数予約画面が出ます。
- [1 枚ごと]を選んだ場合は[SET]ボタンを左右に押して、プリント予約をする画像を表示してください。
- 日付・プリント枚数予約画面には、表示中の画像のプリント予約が出ます。
  [SET]ボタンを左右に押すと、各画像のプリント予約が確認できます。

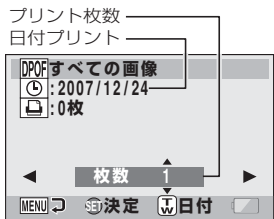
<予約済みの場合>

NORMAL　プリントを予約する

4 日付プリントまたはプリント枚数を予約する

<プリント枚数を予約する>

- [SET]ボタンを上下に押す
  - ・枚数表示が変わります。
  - ・希望の枚数を表示してください。
- [SET]ボタンを押す
  - ・印刷枚数を確定します。

<日付プリントを予約する>

- 印刷枚数を確定した画面で、ズームスイッチを押す
- SETボタンを押す

5 [MENU] ボタンを押す

- プリント枚数および日付プリントを予約しました。
- プリント予約画面に戻ります。

プリントを予約する(つづき)

インデックスプリントをする

一覧表示用として、小さな画像をたくさん印刷することを「インデックスプリント」といいます。撮影した画像の一覧を作成する場合に便利です。

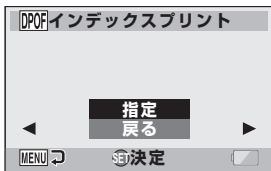
1 プリント予約画面を出す [P115]

2 [インデックス]を選ぶ

3 [SET] ボタンを押す

- インデックスプリント画面が出ます。

[指定]：インデックスプリント予約をします。

[戻る]：予約を中止して、プリント予約画面に戻ります。

4 [指 定] を 選 び、[SET] ボタンを押す

- インデックスプリントの予約をし、プリント予約画面に戻ります。

ヒント

インデックスプリントの予約を解除するには

- 操作 1 · 2 を行い、操作 3 で[解除]を選んで[SET]ボタンを押してください。

すべての画像のプリント予約を取り消す

画像のプリント予約をすべて取り消します。

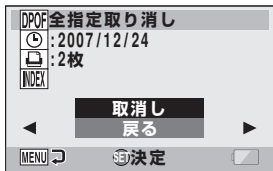
1 プリント予約画面を出す [P115]

2 [全指定取消し]を選ぶ

3 [SET] ボタンを押す

- 全指定取消し確認画面が出ます。

[取消し]：すべての画像のプリント予約を取り消します。

[戻る]：プリント予約の取り消しを中止して、プリント予約画面に戻ります。

4 [取消し]を選び、[SET] ボタンを押す

- すべての画像のプリント予約を取り消して、プリント予約画面に戻ります。

静止画を回転表示する

静止画を回転して見ることができます。

1 回転する静止画を表示し、NORMAL モード再生メニューを出す [P43]

2 [回転] を 選 び、[SET] ボタンを押す

[右回転]：右方向に90°回転します(時計回り)。

[左回転]：左方向に90°回転します(反時計回り)。

3 [右回転]または[左回転]を選び、[SET]ボタンを押す

- [SET]ボタンを押すごとに、画像が90°回転します。

- プロテクトをかけている場合は、画像を回転することはできません。回転表示にするときは、操作の前にプロテクトを解除してください[P114]。

静止画のサイズを小さくする

静止画のサイズを小さくして、新しく静止画を作ることができます。

1 サイズを変える静止画を表示し、NORMAL モード再生メニューを出す [P43]

2 [リサイズ] を選び、[SET] ボタンを押す

<縦横比4：3の静止画の場合>

[2M(4：3)]：1,600×1,200ピクセルにします。

[0.3M(4：3)]：640×480ピクセルにします。

<縦横比16：9の静止画の場合>

[2M(16：9)]：1,920×1,080ピクセルにします。

[0.9M(16：9)]：1,280×720ピクセルにします。

3 変更後のサイズを選び、[SET] ボタンを押す

4 [保存] を選び、[SET] ボタンを押す

- サイズ変更を開始します。

リサイズできない？

- 変更後の画像サイズより小さい画像は、リサイズできません。

手ぶれ／赤目現象を補正する

静止画撮影時に赤く写ってしまった目(赤目現象)やカメラが動いてぶれた(手ぶれ)画像を自然な状態に補正します。

1 補正する画像を表示し、NORMAL モード再生メニューを出す [P43]

2 [画像補正] を選び、[SET] ボタンを押す

- 画像補正画面が出ます。

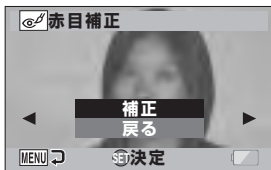
[手ぶれ補正]：手ぶれを補正します。

[赤目補正]：赤目現象を補正します。

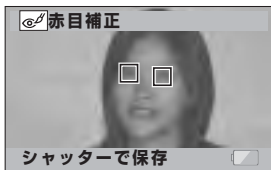
3 目的の補正機能を選び、[SET] ボタンを押す

- 操作 2 で選んだ補正画面が出ます。

[補正]：補正を実行します。

[戻る]：画像補正画面に戻ります。

<例：赤目補正の場合>

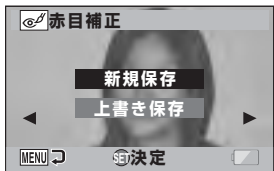
4 [補正] を選び、[SET] ボタンを押す

- 補正を開始します。補正処理中は、「処理中」表示が出ます。
- 補正が終わると、補正後の画像が出ます。補正の状態を確認してください。

<例：[赤目補正] を選んだ場合>

5 [◘] ボタンを押す

- 元の画像を保存するか、しないかを選ぶ画面が出ます。

[新規保存]：補正した画像を新たな画像として保存します。

[上書き保存]：元のファイルを削除して補正後の静止画だけを保存します。

6 保存方法を選び、[SET]ボタンを押す

- 補正をした画像を保存し、画像補正画面に戻ります。

ヒント

手ぶれアイコンについて

- 手ぶれの補正画面では、手ぶれの大きさを示すアイコンが出ます。
  - ：補正不要または補正済み
  - ：補正可能
  - ：補正不能
- 1/8秒より遅いシャッタースピードで撮影した画像や本機以外のデジタルカメラで撮影した画像は補正できません。また、手ぶれが大きい場合は補正できないことがあります。

「手ぶれ補正できません」または「赤目補正できません」表示が出る？

- 画像を補正することができませんでした。
- このカメラの補正機能は、カメラが補正すべき現象と認識した部分を自動補正します。このため、補正できなかったり、目的以外の部分を補正する場合があります。

保存した画像の撮影年月日と更新日時について

- 保存した画像の撮影年月日（Exif情報）は、元の画像のままです。ただし、パソコンで見た場合のファイルの更新日は保存した日付になります。

動画クリップから1コマを取り出す

動画クリップ撮影した画像の 1 コマを、1 枚の静止画として保存することができます(元の画像はそのまま残ります)。

1 動画クリップを再生し、静止画にする位置で、一時停止する

2 NORMAL モード再生メニューを出し [P43]、[静止画抜き出し] を選んで [SET] ボタンを押す

[16：9]：表示中の画像を縦横比16：9の静止画で保存します(HDモードで撮影した動画クリップの時のみ選択可能)。

[4：3]：表示中の画像を縦横比4：3の静止画で保存します。

静止画抜き出し
16:9
4:3
MENU SET決定

3 [16：9] または [4：3] を選び、[SET] ボタンを押す

- 保存を確認する画面が出ます。

[保存]：表示中の1コマを静止画として保存します。

[戻る]：静止画抜き出し画面に戻ります。

4 [保存] を選び、[SET] ボタンを押す

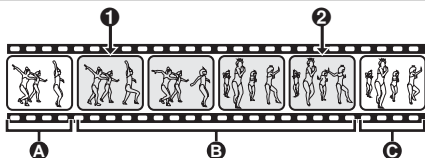
- 表示中の1コマを静止画として保存しました。

動画クリップを編集する

動画クリップから不要な部分を切り取ることができます(動画クリップのカット(抜き出し))。また、動画クリップをつなぎ合わせて、新しい動画クリップファイルとして保存することができます。(動画クリップのつなぎ合わせ)

動画クリップカット(抜き出し)の操作手順

● カットする位置(❶・❷)を指定する

▼

指定した部分を抜き出す

[2種類のカット方法]

● Ⓐ・Ⓒを削除、Ⓑ部分を保存する

● Ⓑを削除、Ⓐ・Ⓒをつないで保存する

● 元の動画クリップはそのまま残ります。
(保存時に消去することもできます。)

動画クリップを編集する(つづき)

動画クリップのつなぎ合わせの操作手順

前部分になる動画クリップを指定する

▼

後ろ部分になる(つなぎ合わせる)
動画クリップを指定する

▼

動画クリップをつなぎ合わせる

●動画クリップのつなぎ合わせができました。••

●元の動画クリップはそのまま残ります。
(保存時に消去することもできます。)

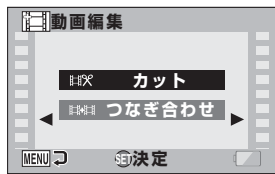
注意!

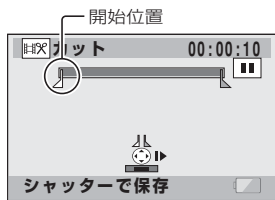
動画クリップ編集時のご注意

- 動画クリップ編集処理中は、REC/PLAYスイッチを動かさないでください。REC/PLAYスイッチを動かすと、編集処理が正常に終了しないばかりではなく、編集元の画像まで消えてしまうことがあります。
- 動画クリップが増えて、カードの空き容量がなくなると、編集はできなくなります。このような時は、不要なファイルを消去[P80]するか、編集時に上書き保存[P130·132]を行ってください。

動画クリップカット(抜き出し)

1 抜き出しをする動画クリップを表示する

2 NORMAL モード再生メニューを出し [P43]、[動画編集] を選んで [SET] ボタンを押す

3 [カット] を選び、[SET] ボタンを押す

- カット画面が出ます。

4 動画クリップの開始位置を指定する

- 以下の操作で動画クリップが始まるコマを表示してください。
- 再生しておおよその位置を表示し、一時停止をしてからコマ送りで開始位置を指定してください。一時停止した位置が、動画クリップの開始位置になります。
- 動画クリップの先頭から始まるように抜き出す場合は、操作6に進んでください。

<操作方法>

再生する：一時停止中に[SET]ボタンを約2秒間右側へ押すと順方向、左側に押すと逆方向に再生します。

一時停止する：再生中に[SET]ボタンを押してください。

倍速再生する：再生中に[SET]ボタンを右または左に押すと、再生速度を変えることができます。

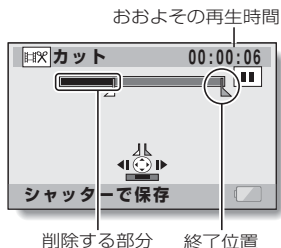
コマ送りする：一時停止中に[SET]ボタンを右側へ押すと順方向、左側に押すと逆方向にコマ送りします。

5 [SET] ボタンを上側に押す

- 動画クリップの終了位置を指定する画面が出ます。
- 開始位置を指定した操作と同じ操作をして、終了位置を指定してください。

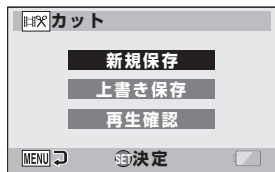
<前部分と後部分をつなぐ場合は>

❶[SET]ボタンを下側に押す
- [SET]ボタンを下側に押すたびに、削除する部分が変わります。

❷後部分の開始位置を指定する

6 [📷] ボタンを押す

- 抜き出し後の動画クリップを新しいファイルとして保存するか、元のファイルを削除して抜き出し後の動画クリップだけを保存するかを選ぶ画面が出ます。

[新規保存]：抜き出し後の動画クリップを新しいファイルとして保存します。

[上書き保存]：元のファイルを削除して抜き出し後の動画クリップだけを保存します。

[再生確認]：動画ファイルを抜き出した後の状態で再生します。

7 保存方法を選び、[SET] ボタンを押す

- 編集を開始します。
- 編集が終わると、NORMALモード再生メニューに戻ります。

ヒント

- 元の動画クリップにプロテクトをかけている場合は、操作 7 で[上書き保存]を選んで[SET]ボタンを押しても、元の動画クリップを消去しません。消去するときは、操作の前にプロテクトを解除してください[P114]。
- 「カード残量がありません」というメッセージが出た場合は、不要なファイルを削除してください。

注意!

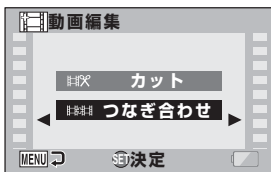
電池残量に注意してください

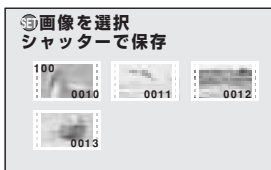
- 長時間撮影した動画クリップ編集では、大きなサイズのファイルを処理するため、処理時間が長くなります。カメラで動画クリップを編集する時は、処理中に電池がなくならないよう、十分に充電した電池を装着するか、ACアダプターを接続してください。
- 長時間撮影した動画クリップの編集は、パソコンで行うことをおすすめします。

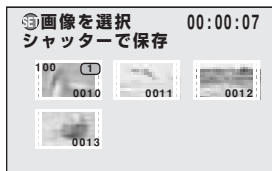
動画クリップのつなぎ合わせ

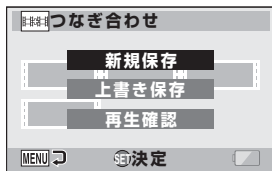
注意!

- 異なる動画モードで撮影した動画クリップは、つなぎ合せることができません。

1 NORMALモード再生メニューを出し [P43]、[動画編集] を選んで [SET] ボタンを押す

2 [つなぎ合わせ] を選び、[SET]ボタンを押す

- 動画クリップの6画面マルチ再生画面になります。

3 つなぎ合わせる動画クリップにオレンジの枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

- つなぎ合せを指定した動画クリップには、番号が付きます。
- 最大9個の動画クリップを選択することができます。
- 指定を解除する場合は、指定済みの動画クリップを選んで[SET]ボタンを押してください。

4 [ ] ボタンを押す

- つなぎ合わせ後の動画クリップを新しいファイルとして保存するか、元のファイルを削除してつなぎ合わせ後の動画クリップだけを保存するかを選ぶ画面が出ます。

[新規保存]：つなぎ合わせ後の動画クリップを新しいファイルとして保存します。

[上書き保存]：元のファイルを削除してつなぎ合わせ後の動画クリップだけを保存します。

[再生確認]：動画ファイルをつなぎ合わせた後の状態で再生します。

再生

動画クリップを編集する

5 保存方法を選び、[SET] ボタンを押す

- 編集を開始します。
- 編集が終わると、再生設定画面に戻ります。

ヒント

- 元の動画クリップにプロテクトをかけている場合は、操作 5 で[上書き保存]を選んで[SET]ボタンを押しても、元の動画クリップを消去しません。消去するときは、操作の前にプロテクトを解除してください[P114]。
- 「カード残量がありません」というメッセージが出た場合は、不要なファイルを削除してください。

注意!

電池残量に注意してください

- 長時間撮影した動画クリップ編集では、大きなサイズのファイルを処理するため、処理時間が長くなります。カメラで動画クリップを編集する時は、処理中に電池がなくならないよう、十分に充電した電池を装着するか、ACアダプターを接続してください。
- 長時間撮影した動画クリップの編集は、パソコンで行うことをおすすめします。

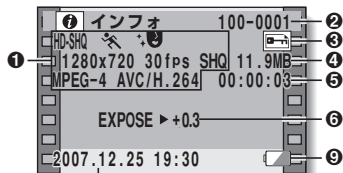
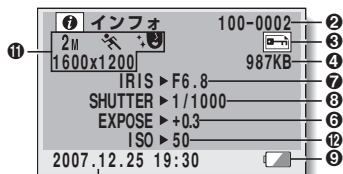
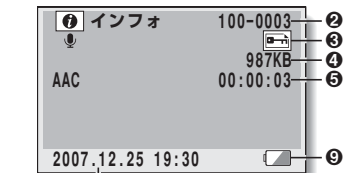
ファイル情報を表示する

カメラで記録したファイルの情報を表示(インフォ画面)することができます。

1 情報を表示するファイルをモニターに出す

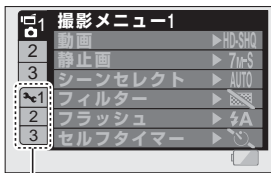
2 [MENU]ボタンを約 1 秒以上押す

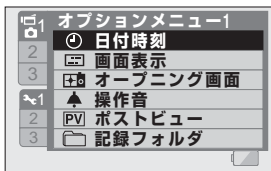
- インフォ画面が出ます。
- インフォ画面は、再度[MENU]ボタンを押すと消えます。

❶動画モードの設定
❷画像または音声番号
❸プロテクトの設定
❹ファイルサイズ
❺撮影または録音時間
❻露出補正の設定
❼絞り値
❽シャッタースピード
❾電池残量表示
❿撮影年月日、時刻
⓫静止画モードの設定
⓬ISO感度の設定

<動画クリップの場合>

<静止画の場合>

<音声の場合>

オプション設定メニューを表示する

カメラの設定は、オプション設定メニューで行ないます。

1 カメラの電源を入れ、[MENU] ボタンを押す

2 オプションタブ(1 ～ 3)を選び、[SET] ボタンを押す

- オプション設定メニューが出ます

設定画面の出しかた

3 [SET] ボタンを上下に押して設定したい項目を選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだ項目の設定画面が出ます。
- [MENU]ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

画面表示を設定する

再生画面に表示する情報を設定します。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

2 [画面表示] を選び、[SET] ボタンを押す

[すべて表示]：撮影年月日および再生時間（動画クリップ時）を表示します。

[日付・時刻]：撮影年月日を表示します。

[カウンター]：動画クリップ再生時の再生時間を表示します。

[OFF]：撮影年月日および再生時間を表示しません。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- 画面表示を設定しました。

オープニング画面を設定する

撮影モードでカメラの電源を入れた直後に液晶モニターに出る画面をオープニング画面といい、この画面を設定します。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

2 [オープニング画面] を選び、[SET] ボタンを押す

[日付・時刻]：カメラで設定している日付時刻を出します。

[Xacti]：Xactiロゴを表示します。

[OFF]：オープニング画面を出しません。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- オープニング画面を設定しました。

操作音を設定する

カメラの起動 / 終了時に鳴る音や音声ガイド、カメラの [📷] ボタン、[SET] ボタンや [MENU] ボタンなど）を押した時に出る操作音（確認音）や音量が設定できます。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

2 [操作音] を選び、[SET] ボタンを押す

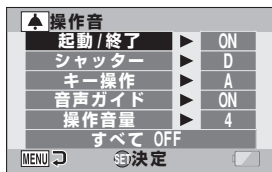
- [すべてOFF]を選んで[SET]ボタンを押すと、すべての音を出しません。
- [MENU]ボタンを押すと、オプション画面に戻ります。

[起動/終了]：
カメラの電源をON/OFFした時に出る音です。

[シャッター]：
[📷]ボタンを押した時に出る音です。

[キー操作]：
カメラのボタン（[SET]ボタン、[MENU]ボタンなど）を押した時に出る音です。

[音声ガイド]：
カメラの操作を音声でお知らせする機能です。

[操作音量]：
操作音の音量を設定します。

3 [SET]ボタンを上または下側に押して、設定する項目を選び、[SET]ボタンを押す

● 操作音選択画面が出ます。

<[起動/終了][音声ガイド]を選んだ場合>

・起動/終了音または音声ガイドを鳴らすか鳴らさないかを選ぶ画面が出ます。
・上側または下側に押してどちらかを選び、[SET]ボタンを押してください。
[ON]：音が鳴ります。　**[OFF]**：音が鳴りません。

<[シャッター][キー操作]を選んだ場合>

・操作音を選ぶ画面が出ます。
・AからHの8種類の音があります。
・[SET]ボタンを右側に押すと、選んでいる操作音を聞くことができます。
・[OFF]を選ぶと、操作音は鳴りません。
・上側または下側に押して操作音を選び、[SET]ボタンを押してください。

<[操作音量]を選んだ場合>

・操作音量を選ぶ画面が出ます。
・操作音量は、1(最小)から7(最大)までの範囲で選べます。
・[SET]ボタンを上または下側に押して音量を選び、[SET]ボタンを押してください。

4 [MENU] ボタンを押す

● 操作音を設定しました。

● [MENU]ボタンを押した状態で電源を入れると、操作音のON/OFF画面が出ます。操作音を出したくない場所で操作音を消す場合に便利です。

ポストビュー表示を設定する

[📷] ボタンを押した後、撮影した画像がモニターに出る(ポストビュー)時間を設定します。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

2 [ポストビュー] を選び、[SET] ボタンを押す

[1秒]：ポストビューを1秒間出します。

[2秒]：ポストビューを2秒間出します。

[OFF]：ポストビューを出しません。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- ポストビューを設定しました。

ファイルを保存するフォルダを設定する

記録フォルダ(記録したファイルを格納するフォルダ)を作成/選択します。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

2 [記録フォルダ] を選び、[SET] ボタンを押す

<フォルダを作成する場合>
- [NEW]フォルダを選ぶ

<フォルダを選択する場合>
- 目的のフォルダ番号のフォルダを選ぶ

3 [SET] ボタンを押す

- 記録フォルダを作成/選択しました。
- フォルダを作成した場合、作成したフォルダが記録フォルダになります。

注意!

フォルダを選べない?/作成できない?
- 他の機器で作成したフォルダや、フォルダ内のファイル数がいっぱいになったフォルダは、選ぶことができません。

[SET]ボタンに機能を割り当てる

撮影画面表示状態で、[SET] ボタンを上下左右に押した時の機能(ショートカット機能)を割り当てます。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

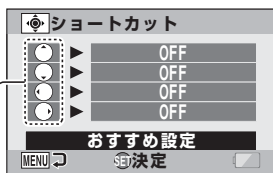
2 [ショートカット] を選び、[SET] ボタンを押す

[◌̂]：[SET]ボタンを上に押した時の機能を割り当てます。

[◌̬]：[SET]ボタンを下に押した時の機能を割り当てます。

[◌]：[SET]ボタンを左に押した時の機能を割り当てます。

[◌]：[SET]ボタンを右に押した時の機能を割り当てます。

[おすすめ設定]：一般的な機能を自動的に割り当てます。

[SET]ボタン操作

3 機能を割り当てる [SET] ボタン操作を選び、[SET] ボタンを押す

- キーに割り当てる機能を選ぶ画面が出ます。

[OFF]：ショートカット機能を割り当てません。

[AF🔒 AFロック]：フォーカスをロック[P70]します。

[フォーカス]：フォーカスレンジを設定します[P66・99]（上、下 にのみ割り当て可能)。

[フラッシュ]：フラッシュ動作を設定します[P71・94]。

[露出補正]：露出を補正します[P111]。

[ISO ISO感度]：ISO感度を設定します[P103]。

[セルフタイマー]：セルフタイマーを設定します[P95]。

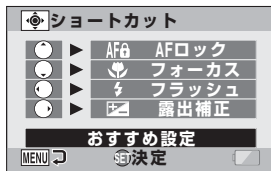
[M 露出]：露出設定[P106]での露出値を設定します。

[SET] ボタンに機能を割り当てる(つづき)

4 [SET] ボタンを上または下側に押す

● キーに割り当てる機能を表示してください。

5 [SET] ボタンを押す

● キーに機能を割り当て、割り当て、ショートカット画面に戻ります。
● 他のキーに機能を割り当てる場合は、操作 3 〜 5 を繰り返してください。

<[おすすめ設定]の場合>

6 [MENU] ボタンを押す

● ショートカット設定の確認画面が出た後、オプション設定メニューに戻ります。
● ショートカットを設定しました。

<ショートカットの設定を確認するには>

● 操作 2 の画面で[MENU]ボタンを押すと、ショートカット設定の確認画面が出ます。

ノイズリダクション機能を設定する

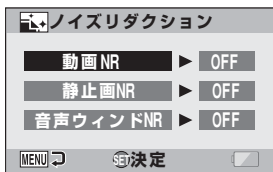
動画クリップや静止画撮影時の画像ノイズ、録音時の風などによる音声ノイズを軽減する機能を設定します。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

2 [ノイズリダクション]を選び、[SET] ボタンを押す

[動画NR]：動画クリップ撮影時の画像ノイズを軽減する機能をON/OFFします。

[静止画NR]：静止画撮影時の画像ノイズを軽減する機能をON/OFFします。

[音声ウィンドNR]：動画クリップ撮影/録音時の風による音声ノイズを軽減する機能をON/OFFします。

3 設定する機能を選び、[SET] ボタンを押す

- ON/OFFを設定する画面が出ます。

[ON]：ノイズを軽減します。
[OFF]：ノイズを軽減しません。

4 [SET] ボタンを上下に押し、設定を選んで [SET] ボタンを押す

- ノイズリダクションの設定ができました。

ヒント

- 通常は、音声ウィンドNRの設定を[OFF]にして使用してください。ノイズがない場所で撮影や録音したとき、不自然な音声になります。
- 静止画NR機能は、シャッタースピードが1/4より遅い時に動作します。
- 静止画NRをONに設定すると、通常の静止画撮影に比べ、撮影後の画像処理に若干の時間がかかります。

画質を調整する

カメラが撮影する時の画質を調整します。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

2 [画質調整] を選び、[SET] ボタンを押す

[ノーマル]：
通常の画質で撮影します。

[ビビッド]：
彩度を上げて撮影します。

[ソフト]：
シャープネスを弱くしてソフトに撮影します。

[ソフトビビッド]：
シャープネスを弱くしてソフトにし、彩度を上げて撮影します。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- 画質の調整を設定しました。

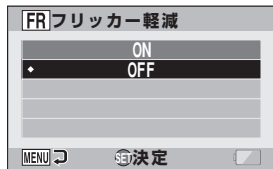
フリッカー軽減機能を設定する

フリッカーとは、蛍光灯の下で動画クリップ撮影をしたときに発生する画面のちらつきのことで、このカメラはこのちらつきを抑えるフリッカー軽減機能を搭載しています。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

2 [フリッカー軽減]を選び、[SET] ボタンを押す

[ON]：フリッカー軽減機能をONにします。

[OFF]：フリッカー軽減機能をOFFにします。

3 目的の設定を選び、[SET]ボタンを押す

- フリッカー軽減機能の設定ができました。

ヒント

- よく晴れた屋外でフリッカー軽減機能を使うと、ハレーション(強い光が当った部分の周囲が白くぼやけて写る現象)を起こす場合があります。
- 露出設定とフリッカー軽減機能を同時に設定することはできません。
- フリッカー軽減機能[ON]設定時、動画クリップ撮影でのシャッタースピードは1/100秒になります。

モニターの明るさを設定する

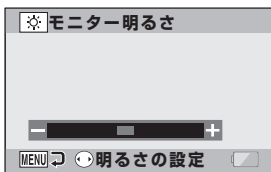
カメラのモニターの明るさを設定します。周囲の明るさによって、モニターの表示が見づらい場合は、モニターの明るさを設定してください。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

2 [モニター明るさ]を選び、[SET]ボタンを押す

モニター明るさ
明るさの設定

3 [SET]ボタンを右または左側に押して、明るさを設定し、[SET]ボタンを押す

- モニターの明るさを設定しました。

- 撮影画面で[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、操作 2 の画面が出てモニターの明るさを設定することができます。

TV出力を設定する

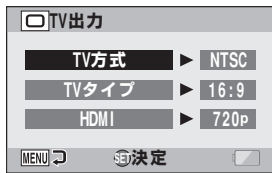
テレビに出力する映像信号の方式を設定します。
※テレビの接続方法については、別売の「AV 接続キット(品番：VCP-HD700KIT)」の取扱説明書をご参照ください。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

2 [TV 出力] を選び、[SET] ボタンを押す

[TV方式]：
[COMPONENT/AV]端子から出力するテレビ信号の方式を設定します。

[TVタイプ]：
テレビの縦横比を設定します。

[HDMI]：
[HDMI]端子から出力する信号を設定します。

TV出力を設定する(つづき)

3 設定する項目を選び、[SET] ボタンを押す

● 設定をする画面が出ます。

<[TV方式]を選んだ場合>
[NTSC]：NTSC方式の映像信号を出力します(日本･北米など)。
[PAL]：PAL方式の映像信号を出力します(ヨーロッパなど)。

<[TVタイプ]を選んだ場合>
[4：3]：テレビの画面の縦横比が4：3の場合に設定してください。
[16：9]：テレビの画面の縦横比が16：9の場合に設定してください。

<[HDMI]を選んだ場合>
[720p]：テレビがD4対応の場合に設定してください。
[480p]：テレビがD2対応の場合に設定してください。
※D1には対応していません。

4 [SET] ボタンを上または下側に押し、設定を選ぶ

5 [SET] ボタンを押す

6 [MENU] ボタンを押す

● TV出力を設定しました。

[TVタイプ]の設定とテレビ表示の関係

[TVタイプ] の設定を変更した時、カメラが出力する映像信号は、以下のようになります。ただし、ご使用のテレビによってはテレビ独自の自動判別機能により下表のような表示にならなかったり、テレビの表示が変わらない場合があります。

[TVタイプ] の設定	接続する テレビの種類	表示する 画像ファイル	テレビの表示
[4：3]	4：3	静止画 （4:3）	
		SD モード 動画クリップ	
		HD モード 動画クリップ	

ＴＶ出力を設定する(つづき)

[TVタイプ]の設定	接続するテレビの種類	表示する画像ファイル	テレビの表示
[16：9]	16：9	静止画(4:3)	
		SD モード動画クリップ	
		HD モード動画クリップ	

※静止画は、静止画モードを16：9に設定し、撮影した例です。

注意!

テレビの表示が正しくない？

- テレビの映像が正しくない場合は、[TVタイプ]の設定を変更するか、テレビの画面サイズ設定を変更してください。テレビの画面サイズ設定については、ご使用になる機器の取扱説明書を参照してください。

静止画の表示が16：9にならない？

- 16：9の静止画モードで撮影した静止画は、4：3で出力します。

パワーセーブ機能を設定する

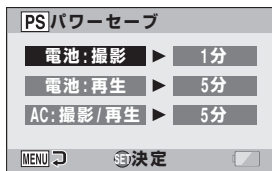
このカメラには、カメラを使用しない時に電池の消耗をおさえたり電源の切り忘れを防ぐため、操作しない状態が続くと自動的に省電力状態になるパワーセーブ機能があります。
パワーセーブ状態になるまでの時間（待機時間）を設定することができます。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

2 [パワーセーブ] を選び、[SET] ボタンを押す

[電池：撮影]：電池を使った撮影モードでの待機時間を設定します。

[電池：再生]：電池を使った再生モードでの待機時間を設定します。

[AC：撮影/再生]：AC電源使用時の撮影/再生モードでの待機時間を設定します。

パワーセーブ機能を設定する(つづき)

3 設定する項目を選び、[SET]ボタンを押す

- 待機時間の設定画面が出ます。

4 [SET]ボタンを上または下側に押し、待機時間を設定する

上側に押す：待機時間が長くなります。

下側に押す：待機時間が短くなります。

5 [SET]ボタンを押す

6 [MENU] ボタンを押す

- 待機時間を設定しました。

ファイルNo.メモリーを設定する

初期化したカードを使うと、撮影した画像のファイル名(画像番号)は自動的に 0001 から始まります。再度初期化したり、別の初期化したカードを使うと、ファイル名は再び 0001 から始まります。これはファイル No. メモリ機能が切 [OFF] になっているためですが、この場合複数のカードに同じファイル名が存在することになり、パソコンに保存する時など、誤って上書きしてしまう可能性があります。ファイル No. メモリ機能を入 [ON] にすると、カードを初期化したり交換しても、ファイル名の番号を継続して付けることができます。

〈ファイルNo.メモリ機能　切[OFF]〉

	ファイル名(画像番号)
カードA	0001、0002……0012、0013

カードB	0001、0002……0012、0013

〈ファイルNo.メモリ機能　入[ON]〉

	ファイル名(画像番号)
カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換

カードB	0014、0015……0025、0026

ファイルNo.メモリーを設定する(つづき)

- 交換したカードに画像が残っていた場合、撮影した画像のファイル名は次のようになります。

交換前に撮影した画像番号より小さいファイル名の画像が残っていた：撮影中のファイル名を継続した番号になります。

交換前に撮影した画像番号より大きいファイル名の画像が残っていた：最後のファイル名からの連番になります。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

2 [ファイル No. メモリ] を 選 び、[SET] ボタンを押す

[ON]：
ファイルNo.メモリ機能をONにします。

[OFF]：
ファイルNo.メモリ機能をOFFにします。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- ファイルNo.メモリ機能を設定しました。

- ファイルNo.メモリ機能は、切[OFF]にするまでファイル名が連番となります。撮影の区切りがついたら、切[OFF]に戻すことをおすすめします。

カードをフォーマット(初期化)する

・購入後、初めて使うカード
・パソコンや他のカメラで初期化したカードは、必ずこのカメラでフォーマット(初期化)してからご使用ください。
カードのロックスイッチを「LOCK」の位置にしている場合は、フォーマットできません。ロックスイッチをロック解除の位置にしてから、フォーマットをしてください。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

2 [フォーマット] を選び、[SET] ボタンを押す

- 普段の使用で、完全フォーマットをする必要はありません。しかし、通常のフォーマットをしてもカードに関するエラーが出る場合は、完全フォーマットを行ってください。

[フォーマット]：
通常のフォーマットを行います。

[完全フォーマット]：
物理フォーマットを行います（電池残量が少ない場合は、選択できません）。

3 フォーマットの方法を選び、[SET] ボタンを押す

- 確認画面が出ます。

[はい]を選び、[SET]ボタンを押す

- フォーマットが始まります。
- フォーマット中は、[フォーマット中　電源を切らないでください]表示が出ます。

フォーマット中のご注意

- フォーマット中は、カメラの電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。

初期化をすると、ファイルが消えます

- カードをフォーマットすると、カードに記録したファイルは、すべて消えます。プロテクト[P114]したファイルも消えますので、フォーマットをする前に大切なファイルはパソコンのハードディスクなどに保存してください。

カードを廃棄／譲渡するときのご注意(フォーマットをしてもファイルが復元できる?)

- カメラやパソコンの機能によるファイルの削除やフォーマットをしても、カードの管理情報を変更するだけで、ファイルはカードに残ったままで、完全には消去できません。
- フォーマットを行っても、ファイルを復元するソフトを使うと、カード内のファイルを復元できる場合があります。一方、本機で完全フォーマットを行うと、復元ソフトを使ってもファイルの復元ができなくなります。
- カードを廃棄または他人に譲渡する場合は、カード本体を物理的に破壊するか、本機で完全フォーマットを実行するか、市販のファイル消去専用ソフトなどを使ってカード内のファイルを完全に消去することことをおすすめします。カード内のファイルは、お客さまの責任において管理してください。

フォーマットを中止するには

- 操作 4 で[いいえ]を選び、[SET]ボタンを押してください。

カメラの設定をリセットする

各設定画面で変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

1 オプション設定メニューを出す [P135]

2 [設定リセット] を選び、[SET] ボタンを押す

[リセット]：カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。

[戻る]：カメラの設定を変えず、オプション設定メニューに戻ります。

3 [リセット] を選び、[SET] ボタンを押す

● カメラの設定を工場出荷時の設定にします。

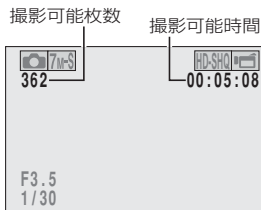
● 設定をリセットしても、以下の設定は保持します。
日付時刻の設定
TV方式の設定

カードの空き容量をチェックする

カードの空き容量は、撮影可能枚数や撮影可能時間、録音可能時間で確認することができます。1 枚のカードに記録できる枚数や時間は、「撮影可能枚数 / 撮影可能時間 / 録音可能時間 [P213]」を参照してください。

撮影可能枚数/時間のチェック

1 REC/PLAY スイッチを [REC] に合わせ、電源を入れる

- モニターの左上に、撮影可能枚数を表示します。
- モニターの右上に、撮影可能時間を表示します。
- 撮影可能枚数や時間表示は、撮影画質の設定に応じて変わります。

録音可能時間のチェック

1 録音可能状態にする [P88]

- 録音可能時間が出ます。

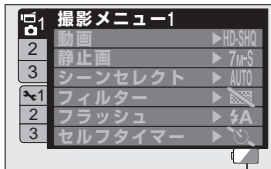
ヒント

- 撮影可能枚数または、撮影可能時間表示が[0]になると、撮影ができなくなります。新たに撮影する場合は、別のカードに取り替えるか、パソコンに画像を保存した後、画像を消去[P80]してください。
- 撮影可能枚数または撮影可能時間表示が[0]になっても、画質を変えると[P65･85･86]撮影が可能になる場合があります。

電池残量をチェックする

電池を使用している場合は、モニターで電池残量が確認できます。撮影の前には必ずチェックしてください。電池の使用可能時間は 212 ページを参照してください。

1 撮影メニューまたは再生メニューを出す [P43]

- モニターの右下に、電池残量を示すアイコンが出ます。
- 電池の特性により、低温時には ◩ 表示が早い時点で点灯するなど、電池残量を正しく表示することができません。また、周囲の温度や使用状態などにより表示状態が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。

電池残量表示

電池残量表示	電池の残量
表示なし または ▮	ほぼいっぱいの容量があります。
◩	容量が少なくなりました。
◺	もうすぐ撮影や再生ができなくなります。
（点滅）	撮影時、[📷]または[🎥]ボタンを押している間点滅すると、撮影はできません。電池を充電してください。

- 撮影画像がある場合は、インフォ画面でも電池残量が確認できます[P134]。
- 同じ種類の電池でも、電池の使用可能時間が異なることがあります。
- 電池の消耗は、撮影条件（フラッシュの発光回数、モニターの入/切）や周囲の温度（10℃以下の低温）によっても変わるため、撮影できる枚数は大きく異なります。
- 旅行や結婚式などの大切な撮影や、寒冷地など電池の消耗が速くなる環境で撮影する場合は、予備の電池を用意されることをおすすめします（スキー場など寒い屋外で使用する場合は、電池をポケットに入れるなどして保温したものをご使用ください）。

動作環境

カードリーダーとして使う場合

OS はプリインストールしたモデルに限ります。

Windows

Windows 2000、XP、Vista

Mac OS

Mac OS X 10.3.6 以降

接続モードを設定する

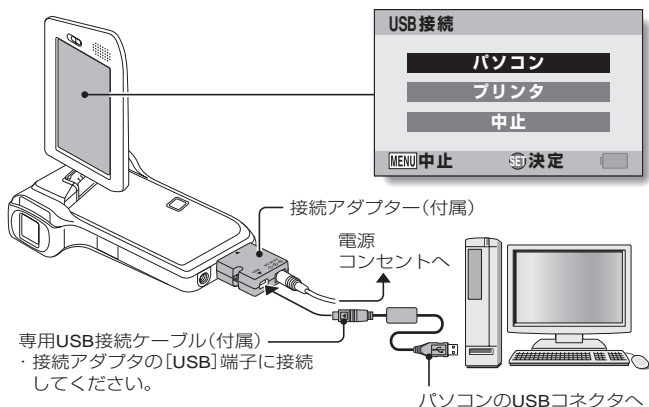
付属の接続アダプターと専用 USB 接続ケーブルを使って、カメラをパソコンに接続します。

1 カメラのドッキングステーション端子に接続アダプターを取り付ける

2 パソコンを起動する

3 専用 USB 接続ケーブルで接続アダプターとパソコンを接続する

- 接続アダプターの[USB]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。
- 接続すると、カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

パソコンに接続する

接続モードを設定する

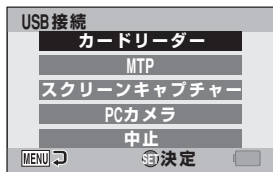
4 [パソコン] を選び、[SET] ボタンを押す

- パソコンの接続モードを選ぶ画面が出ます。

[カードリーダー]：カメラをパソコンの外部ドライブとして使います。

[MTP]：Windows Vistaを搭載したパソコンにMTP接続をします。

[スクリーンキャプチャー]：パソコンのスクリーンショットをカメラに装着したカードに保存します。

[PCカメラ]：カメラをPCカメラとして使います。

5 目的の接続モードを選び、[SET] ボタンを押す

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに
- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。
- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールする時は、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

双方向のファイルのやり取りはしないでください
- カードリーダーモードでカメラからパソコンにファイルをコピーしている最中に、パソコンのファイルをカメラへコピーするような操作は行わないでください。

カードリーダーとして使う

Windows Vista/XP

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P164]

- タスクトレイに[新しいハードウェアが見つかりました]というメッセージが出て、カメラをドライブとして認識します。
- カードをディスクとして認識（マウント）し、[マイコンピュータ]に[XACTI(E:)]アイコンが出ます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

2 Windowsが実行する動作を選ぶ

- 自動的に[XACTI(E:)]ウィンドウが出た場合は、ウィンドウから目的の操作を選んでください。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのファイルが破損する場合があります。

1 タスクトレイの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

<Windows Vistaの場合>
- ウィンドウを閉じてください。

2 カメラのドライブ(E:)を右クリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

カードリーダーとして使う(つづき)

Windows 2000

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P164]

- パソコンのモニターにWindowsのCD-ROMの装着を促すメッセージが出た場合は、メッセージに従ってドライバをインストールしてください。
- カメラをドライブとして認識し、[マイコンピュータ]に[リムーバブルディスク(E:)]アイコンが出ます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- カメラに装着したカードをドライブとして認識(マウント)します。
- [マイコンピュータ]の[リムーバブルディスク(E:)]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのファイルが破損する場合があります。

1 タスクトレイの[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- [ハードウェアの取り外し]ダイアログボックスが出ます。

3 [OK]ボタンをクリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。

Mac OS X

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P164]

- カメラをドライブとして認識し、デスクトップに[XACTI]アイコンが出ます。
- [XACTI]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラ内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カメラ内のファイルが破損する場合があります。

1 デスクトップのカメラを示す[XACTI]アイコンを[ごみ箱]にドラッグアンドドロップする

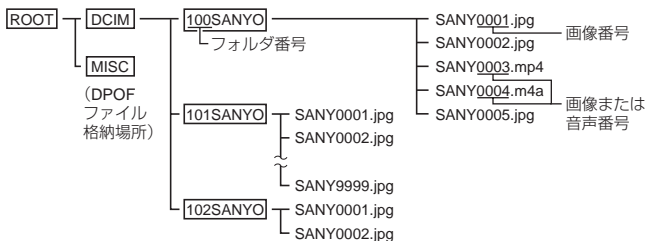
- デスクトップから[XACTI]アイコンが消えます。
- カメラを取りはずすことができる状態になります。

注意!

Mac OS XのClassic環境でお使いの場合

- カメラ内のファイルを直接読み書きすることはできません。ファイルはいったんハードディスクに保存してください。

カードの内容について

カードのディレクトリ構造

※100SANYOフォルダ内には、9999枚までのファイルを保存し、さらに撮影/録音すると、
新たに101SANYOフォルダを作り、この中に保存します。
フォルダ番号は順次102SANYO、103SANYO･･･となります。

記録ファイルの形式

記録するファイルの形式および、ファイル名を付ける規則は以下のようになります。

ファイルの種類	ファイル形式	ファイル名命名規則
静止画ファイル	JPEG	SANYで始まる。拡張子は「.jpg」。 SANY****.jpg
動画クリップファイル	MPEG-4	SANYで始まる。拡張子は「.mp4」 SANY****.mp4
音声ファイル	MPEG-4 Audio（AAC圧縮）	SANYで始まる。拡張子は「.m4a」。 SANY****.m4a*

*記録した順に続き番号が入る

カードリーダーとして使う場合の注意

- カメラ内のファイルおよびフォルダに変更を加える操作は、行わないでください。カメラがファイルを認識できなくなる場合があります。変更を加える場合は、パソコンのハードディスクにコピーしたものを使用してください。
- パソコン上でフォーマットしたカードは、カメラでは使用できません。カメラで使用するカードは、カメラ本体でフォーマットを行ってください。

ボリューム名について

- このカメラでフォーマットしたカードの場合は[XACTI]になります。パソコンなどでフォーマットしたカードの場合は[リムーバブルディスク]になります。

カメラで撮影した動画クリップファイルについて

- Apple社のQuickTimeを使用して、パソコンで再生することができます。その他のISO標準MPEG-4 AVC/H.264(AACオーディオ)対応ソフトウェアで再生できる場合があります。
  付属のDVD-ROM(Xacti Software DVD)にはQuickTime 7.2を添付しています。

カメラで録音した音声ファイルについて

- 音声ファイルの拡張子(.m4a)を「.mp4」に変えると、ISO標準MPEG-4(AACオーディオ)対応ソフトウェアで再生できる場合があります。

カード入れ替え時のファイル名について

- ファイルNo.メモリ機能を入[ON]に設定すると、カードを入れ替えてもフォルダ番号とファイル名は、前に装着していたカードの続きを付与します[P154]。

PCカメラとして使う

Windows XP または Windows Vista を搭載したパソコンでは、このカメラを PC カメラとして使うことができます。

Windows XPの場合

以下のアップデートを実行してください。

- WindowsXP を SP2 にする
  WindowsXP SP2 をインストールしてください。
- Windows messenger 5.0 以降をインストールする
  Windows messenger 5.0 以降をダウンロードし、インストールしてください。
  ※アップデートについての詳細は、下記のホームページで紹介しています。
  http://www.sanyo-dsc.com/dsc/support.html
- MSN messenger を使う場合は、MSN messenger 7.0 以降をインストールしてください。

注意!

- PCカメラ機能が使えるのは、Windows XPまたはWindows Vistaをプリインストールしたパソコンのみです。
- PCカメラでは、ズームはできません。また、撮影・配信できるのは画像のみです。音声を記録・配信することはできません。
- PCカメラ時、カメラは1秒間に最大15フレームの撮影ができますが、通信回線の状態やパソコンの処理速度によってはこれを下回る場合があります。

PCカメラとして使うには

1 PC カメラモードにする [P164]

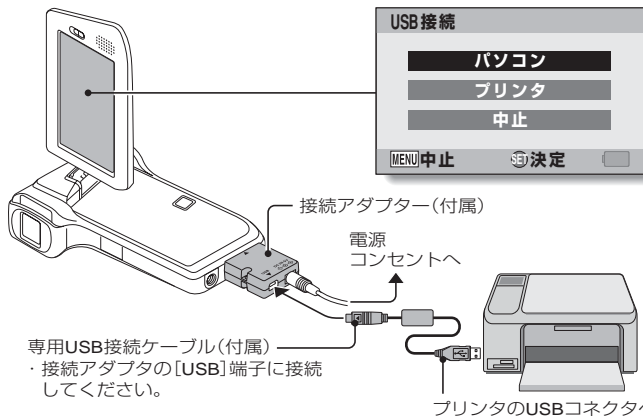
PictBridge モードにする

このカメラはPictBridgeに対応しています。このカメラはPictBridge対応プリンタに直接接続し、カメラのモニターで写真選択や印刷開始を指定することができます(PictBridge印刷)。
付属の接続アダプターと専用 USB 接続ケーブルを使って、カメラをプリンタに接続します。

1 カメラのドッキングステーション端子に接続アダプターを取り付ける

2 プリンタの電源を入れる

3 専用 USB 接続ケーブルで接続アダプターとプリンタを接続する

- 接続アダプターの[USB]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。
- 接続すると、カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

PictBridge モードにする(つづき)

4 [プリンタ] を選び、[SET] ボタンを押す

5 PictBridge印刷モードになる

- PictBridge印刷モードになり、PictBridgeメニューが出ます。

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

プリンタ接続時の注意

- 接続している状態でプリンタの電源を切ると、カメラが正常に動作しなくなる場合があります。カメラが正常に動作しなくなった場合は専用USB接続ケーブルを抜き、カメラの電源を切って、再度接続を行ってください。
- PictBridge印刷中での操作は、ボタン操作に対する反応が遅くなります。
- 電池を使って印刷をする場合は、電池残量が十分あることを確認してください。

印刷する

選択画像印刷

静止画を選んで印刷します。

1 印刷の準備をする[P172]

2 選択画像印刷アイコン [] を選び、[SET] ボタンを押す

- 印刷画像の選択画面が出ます。

3 [SET] ボタンを右または左に押す

- 印刷する画像を表示してください。

4 印刷枚数を設定する

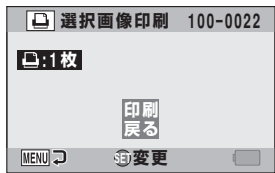
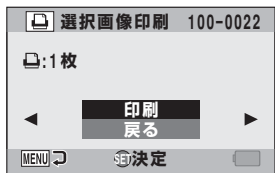
❶[SET]ボタンを上側に押して[枚数]を選び、[SET]ボタンを押す
❷[SET]ボタンを上または下側に押して、印刷枚数を設定する
❸[SET]ボタンを押す

- [印刷]を選んだ状態になります。

5 [SET] ボタンを押す

- 印刷を開始します。

印刷を中止するには

❶印刷中に[SET]ボタンを下側に押す
・印刷中止の確認画面が出ます。
❷[はい]を選び、[SET]ボタンを押す
・[戻る]を選んで[SET]ボタンを押すと、印刷を続行します。

印刷する(つづき)

全画像印刷

カード内の画像をすべて印刷します。

1 印刷の準備をする[P172]

2 全画像印刷アイコン ALL を選び、[SET] ボタンを押す

- 全画像印刷画面が出ます。

3 [印刷]を選び、[SET] ボタンを押す

- 印刷を開始します。

注意!

静止画が1000枚以上ある場合は印刷できません

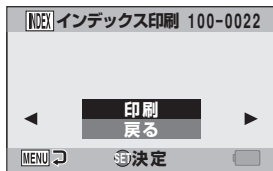
- 不要な画像を消去してから印刷してください。

インデックス印刷

カード内のすべての静止画を小さく一覧印刷します。

1 印刷の準備をする[P172]

2 インデックス印刷アイコン INDEX を選び、[SET] ボタンを押す

- インデックス印刷画面が出ます。

3 [印刷]を選び、[SET] ボタンを押す

- 印刷を開始します。

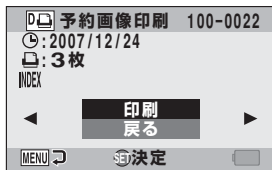
印刷する（つづき）

予約画像印刷

プリントの予約をした静止画を印刷します。

1 プリントの予約 [P115] をし、印刷の準備をする [P172]

2 予約画像印刷アイコン D🖨 を選び、[SET] ボタンを押す

- 予約画像印刷画面が出ます。

3 [印刷]を選び、[SET] ボタンを押す

- 印刷を開始します。
- [SET]ボタンを押してから印刷を開始するまで、約1分ほどかかります。

他の機器との接続

印刷する

ヒント

- 操作 2 で、[SET]ボタンを右または左側に押すと、印刷する画像とプリントの予約内容を確認することができます。

注意!

- DPOFにプリンタが対応していない場合は、予約画像印刷 D🖨 はできません。

プリンタの設定を変更する

用紙の種類やサイズ、レイアウトや印刷品質などをカメラ側で設定して印刷します。

1 印刷の準備をする [P172]

2 プリンタ設定変更アイコン [アイコン] を選び、[SET] ボタンを押す

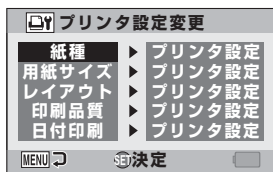
- プリンタ設定変更画面が出ます。

[紙種]：
印刷用紙の紙質を設定します。

[用紙サイズ]：
印刷用紙のサイズを設定します。

[レイアウト]：
印刷用紙への画像の配置を設定します。

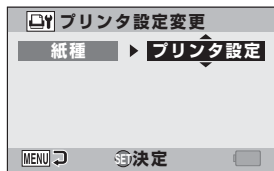
[印刷品質]：
印刷画像の美しさを設定します。

[日付印刷]：
撮影年月日を印刷します。

印刷する（つづき）

3 プリンタの設定をする

❶[SET]ボタンを上または下側に押して設定する項目を選び、[SET]ボタンを押す
・設定を選ぶ画面が出ます。

❷[SET]ボタンを上または下側に押して設定を選び、[SET]ボタンを押す
・選んだ項目を設定し、プリンタ設定変更画面に戻ります。
・同じ要領で、必要な項目を設定してください。
・各項目で設定できる内容は、プリンタによって異なります。

<[プリンタ設定]を選んだ場合>
・プリンタで設定している条件で印刷します。

<[紙種] を選んだ場合 >

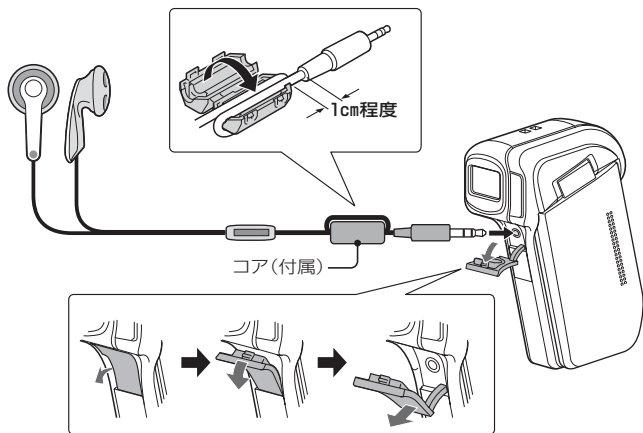
4 [MENU] ボタンを押す

● PictBridgeメニューに戻ります。

ヒント

● プリンタ設定変更画面の設定項目は、接続するプリンタによって異なります。
● プリンタ設定変更画面に出ないプリンタ機能を使う場合は、[プリンタ設定]に設定してください。
● プリンタにない機能をカメラで設定した場合、カメラの印刷設定は自動的に[プリンタ設定]になります。

ヘッドホンを接続する

カメラのヘッドホン端子に、市販のヘッドホンを接続することができます。

注意!

- 自動車やオートバイ、自転車などの運転中や歩行中にヘッドホンを使用しないでください。

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

- ヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーの出力はOFFになります。

Xacti Software DVD について

Xacti Software DVD には、以下のソフトウェアが入っています。
各ソフトウェアの概要は、183 ページをご覧ください。

- Quick Time 7.2：以降「QuickTime」と表記します。
- iTunes 7.3：以降「iTunes」と表記します。
- Adobe Premiere Elements 3.0(Windows)：以降「Premiere Elements」と表記します。
- Adobe Photoshop Album SE(Windows)：以降「Album SE」と表記します。
- Xacti Screen Capture 1.1(Windows)：以降「Screen Capture」と表記します。

※ Album SE と Premiere Elements は、MPEG-4に対応しています。これらのアプリケーションソフトウェアをインストールすると、MPEG-4ファイルを再生することができます。

動作環境

	Windows® 版		Mac OS 版
ソフトウェア	QuickTime 7.2 iTunes 7.3 Xacti Screen Capture 1.1*1	Adobe Premiere Elements3.0 Adobe Photoshop Album SE	QuickTime 7.2 iTunes 7.3
OS*2	Windows®XP Windows® Vista（USB 搭載機）		Mac OS X 10.3.9 Mac OS X 10.4.9 以降（USB 搭載機）
CPU	Pentium4 3.6GHz CoreDuo 1.66GHz 以上	Pentium4 3.2GHz 以上 CoreDuo 1.66GHz 以上 Athlon 64 SSE2	Power PC G5 dual 2.3GHz 以上
メモリ	1GB（推奨 2GB 以上）	1GB(Vistaの場合、2GB）（推奨 2GB 以上）	256MB 以上
HDD	4GB 以上の空き容量		ー
ドライブ	DVD-ROM		DVD-ROM
その他	Direct X9.0 以上		ー

*1：Windows 2000に対応しています。
*2：OSはプリインストールしたモデルに限ります。

アプリケーションソフトウェアのインストール

Xacti Software DVD には、以下のアプリケーションソフトウェアが入っています。
それぞれインストールし、お使いいただくことによって、カメラで記録したデータをより幅広く活用することができます。

●Album SE
カメラで記録したデータをグラフィカルな画面で、分かりやすく管理することができます。

●Premiere Elements
ビデオや音楽、写真、データなどパソコンで扱うさまざまなファイルを編集したりディスクに書き込んだりできる統合ツールです。

●iTunes
コンピュータですべての音楽やその他のオーディオファイルを整理したり聴いたりできる音楽ソフトウェアです。

●Screen Capture
パソコンの画像をカメラに保存します。

●QuickTime＊
動画クリップを再生します。音声も同時に再生できます。
このカメラで撮影した動画クリップを見る場合は、必ずインストールしてください(Windowsの場合)。iTunesをインストールすると、同時にインストールできます。

＊：QuickTimeは、QuickTime Proにアップグレードできます。QuickTime Proは、QuickTimeムービーの編集などが可能です。QuickTime Proへのアップグレードは、Apple Inc. のホームページ（http://www.apple.com/jp/quicktime/）で行えます。

Windows

1 DVD-ROM(Xacti Software DVD)をDVDドライブにセットする

- しばらくすると、インストール画面が出ます。
- インストール画面が出ない場合は、マイコンピュータにある[XACTI DISC(D:)]をダブルクリックし、[XACTI DISC(D:)]ウィンドウの[Autorun]または[Autorun.exe]をダブルクリックしてください。
  ※ドライブ名(D:)は、お使いのコンピュータによって異なります。

2 インストールするアプリケーションソフトウェアの名称をクリックする

- インストール画面に出たアプリケーションソフトウェアの名称をクリックすると、インストールを開始します。
- [もっとムービーを撮ろう]をクリックするとインターネットに接続し、このカメラを楽しんでいただくためのヒントを紹介しているホームページを表示します。
- [ムービーをWebで共有しよう]をクリックするとインターネットに接続し、Webで簡単にムービーを共有するための情報へアクセスします。
- [ユーザー登録やXactiの情報]をクリックするとインターネットに接続し、ユーザー登録やXactiの関連情報を掲載しているホームページを表示します。
- インストールプログラムは、各アプリケーションソフトウェアが正しくインストールできるよう、あらかじめ設定しています。パソコンに慣れていない方は、各ダイアロクボックスの[次へ]ボタンをクリックすることをお勧めします。
- アプリケーションソフトウェアのユーザー登録に関するダイアログボックスが出た場合は、何も入力せずに[次へ]ボタンをクリックしてください。
- パソコンの再起動を促すメッセージが出た場合は、パソコンを再起動してください。
- 各アプリケーションソフトウェアの詳細設定については、アプリケーションソフトウェアベンダーのホームページ、またはインストール後にオンラインヘルプを参照してください。

iTunesについて：http://www.apple.com/jp/iTunes/
Premiere Elements、Album SEについて：
http://www.adobe.com/jp/

3 [終了] をクリックする

Kodakオンラインサービスについて

- インストールが閉じると、Kodakオンラインサービスを紹介するホームページに接続するダイアログが出ます。このホームページを見る場合は[今すぐおすすめ情報を見る]、見ない場合は[あとでおすすめ情報を見る]オプションボタンをONにして、[OK]ボタンをクリックしてください。

Mac OS

1 DVD-ROM(Xacti Software DVD)をDVDドライブにセットする

- しばらくすると、DVD-ROMのウィンドウが開きます。
- DVD-ROMのウィンドウが開かない場合は、デスクトップのDVD-ROMアイコン[Xacti Disc]をダブルクリックしてください。

2 インストールする

①[iTunes]フォルダにある[iTunes.dmg]をダブルクリックする

・ウィンドウが開きます。

②[iTunes.mpkg]をダブルクリックする

・インストールを開始します。

・メッセージに従って、インストールしてください。

Album SE について

Album SE を使用すると、たくさんの写真をすばやく簡単に整理することができます。必要な写真を簡単に見つけて、さまざまな人とどこでも写真を楽しむことができます。

データの取り込み

カメラを専用 USB 接続ケーブルでパソコンに接続すると、すぐにシステムにより自動検出されてカメラ内のデータを Album SE に取り込み、同時にパソコンにコピーします。パソコンのハードディスクや DVD などに格納したデータも、Album SE に取り込めます。

パソコン上のファイルの検索

パソコンにコピーしたデータは、さまざまな場所に散らばって保存されていることがあります。Album SE は、パソコン上のすべてのデータを検索し、その中から必要なデータを選択して、簡単に取り込むことができます。ただし、リムーバブルメディア（DVD など）とネットワークドライブ（コンピュータがネットワークに接続されている場合）は検索されません。

サムネールエリアでのデータの表示

Album SE にデータを取り込むと、それらのデータはサムネール画像としてサムネールエリアに表示されます。サムネールの表示方法は、サムネールエリアの下にあるスライダをドラッグして調整できます。また、Album SE では、サムネールエリアのカタログをさまざまな方法で並べ替えることができます。

名札を使用した写真の整理

Album SE のサムネールエリアでは、データの記録日時に基づいてデータが自動的に整理されますが、「名札」を使用することによって、より高度なデータの整理、並べ替え、プレビューおよび検索を行うことができます。名札は、データに付けることができるキーワードのようなものです。名札を付けてもアイテム自体は何も変わりませんが、アイテムの検索や整理をより簡単かつ柔軟に行えるようになります。

コレクションを使用したデータの整理

コレクションは、データを入れておく入れ物です。サムネールエリアを使用して、独自の順序でデータをコレクションにドラッグ＆ドロップすることができます。各データには、順序を示す番号が表示されます。名札とは異なり、コレクション内の写真が表示される順序はカスタマイズできます。

画像の補正

Album SE に取り込んだ写真が、満足のできるものでない場合、回転、切り抜き、明るさ、シャープなどの補正ができます。

PDF スライドショーの作成

PDF スライドショーでは、指定した順番で自動的に写真が表示されます。スライドショーは、電子メールで写真を配信したり、パソコンの画面に表示する場合に最適です。

Premiere Elements について

（プレミア エレメンツ）

Premiere Elements は、ビデオや音楽、写真、データなどパソコンで扱うさまざまなファイルを編集したりディスクに書き込んだりできる統合ツールです。

ビデオ編集と DVD 作成がさらに簡単に

●あらゆる機器から素材を取り込み

本機やHDV/DVDカメラやWebカメラ(WDMアナログ)、デジタルカメラやMPEG-4ビデオレコーダ、さらに携帯電話など、あらゆる機器のビデオやオーディオ、写真を取り込むことができます。

●2ステップですばやくDVDを作成

ビデオカメラからDVDメディアへの書き込みがわずか2ステップ。メニューやチャプターを備えたDVD を簡単に作成できます。

●シーンラインでより直感的に編集

Premiere Elementsでは、タイムラインに加えて、新しいシーンラインを採用。フォトスライドショーの作成と変わらない手軽さでビデオを編集することができます。クリップの配置やサムネールの並び替え、トランジションやエフェクトの追加など、ドラッグ&ドロップですばやく行えます。

●あらゆる編集作業を1つのウィンドウで

ビデオの編集と表示を1箇所で行えるモニタウィンドウを利用すれば、クリップのトリミングや分割、フィルタやエフェクトの適用、PinP(ピクチャインピクチャ)の作成、フルスクリーンでのプレビューなどが効率よく行えます。

●画面でテキストを入力

モニタウインドウでは、画面上で直接テキストの入力ができます。

●ストップモーションムービーを作成

一定間隔でフレームを取り込めるストップモーションキャプチャ機能を利用すれば、コマ撮りムービーやクレイアニメのようなアニメーションを簡単に作成できます。

●編集結果をリアルタイムで確認

レンダリングを待つ必要はありません。結果をその場で確認しながら編集が行えます。

●何度でも試せる

プロジェクトの自動保存機能や複数回の取り消し、およびヒストリーパレットの使用により、任意の編集段階にいつでも戻ることが可能。失敗を気にせず、納得のいくまで試せます。

豊富な特殊効果

●ナレーションの録音

ビデオの編集中に、プレビューを見ながら自分の声でナレーションを追加する、いわゆるアフレコができます。

●タイトルで差をつける

高品位なアドビフォントを多数ご用意。 モニタウィンドウ上でタイトルを入力しながらシャドウやグローなどの効果を適用して、楽しいタイトルを作成できます。

●テレビ風のアレンジも簡単

動きのあるテキストやグラフィックも簡単に追加できます。プリセットとして用意されているテレビ風のエフェクトを使用したり、それらをカスタマイズして独自のエフェクトを作り出すことも可能です。

●プロのエフェクトを試そう

特殊効果を数百種類も用意。それぞれのエフェクトをモニタウィンドウ上に直接ドラッグ＆ドロップで適用したり、カスタマイズして、いつでもすぐに適用できます。

●効果的なトランジション

ドラッグ＆ドロップ操作で簡単に適用できるディゾルブ、フェード、ワイプなど何百種類ものトランジションを使用して、シーンからシーンへの切り替えを演出します。独自のトランジションを作成することも可能です。

Premiere Elements について(つづき)

●キャストとスタッフのクレジット表示

プロがデザインした約100種類のテンプレートを利用して、ローリングクレジットを簡単に作成できます。

●音楽で気分を盛り上げる

好きな音楽を追加し、より演出効果の高いビデオに仕上げることができます。

観る場所を選ばない

●プロクオリティのオリジナルDVDを制作

ビデオ、写真、オーディオ、テキストなどをつかって、素早くオリジナルDVDメニューを作成できます。また、チャプターを自動的に作成できるので、メニュー画面から見たいシーンにすばやくジャンプできます。

●携帯電話やモバイルデバイスに送る

ビデオをMPEG-4フォーマットで書き出せば、携帯電話やiPodなど、ポータブル機器を使用していつでもどこでも再生できます。

●多様なスクリーンに対応

従来のTV方式(4：3)に加えて、ワイドスクリーン(16：9)フォーマットでビデオを編集・表示できます。また、ワンクリックでNTSCやPALフォーマットに変換可能できるので、世界中のテレビで見ることができます。

スクリーンキャプチャー

パソコンのモニター表示をウィンドウ単位でカメラに保存することができます。

1 スクリーンキャプチャーモードにする [P164]

2 Screen Capture を起動する

- Screen Captureは、パソコンを起動すると自動的に起動します。

<Screen Capture を終了するには>

- タスクトレイの[Xacti Screen Capture 1.1]を右クリックし、[アプリケーションの終了]を左クリックしてください。終了を確認する画面が出ますので、[はい]を左クリックしてください。
- Screen Captureを再度起動する場合は、[スタート]→[プログラム]→[Xacti Screen Capture 1.1]をポイントしてください。

3 カメラに保存したいウィンドウをパソコンのモニターに表示する

- 保存するウィンドウをアクティブにしてください。

4 [ ] ボタンを押す

- 表示中のアクティブウィンドウをビットマップイメージでカメラに保存します。
- アクティブなウィンドウがない場合は、全画面を保存します。
- 保存ファイルは、カメラのドライブ:￥DCIM￥***SANYOフォルダに格納します。
- スクリーンキャプチャーを終了するには、Screen Captureを終了してください。

スクリーンキャプチャー(つづき)

ヒント

- スクリーンキャプチャーは、カメラを1台だけ接続して行ってください。
- 保存できる1 画面当たりの最大ファイルサイズは10MBです。
- スクリーンキャプチャーを行っている時に、カメラの電源を切ったりカードを抜いたりしないでください。ファイルが壊れる原因になります。また、カメラのカードのファイルをパソコンから操作しないでください。正常に動作しない場合があります。

よくある質問

よくあるお問い合わせをまとめました。操作に疑問を感じた時などに、ご覧ください。

	質　問	原　因	このようにしてください
電源	電源が入らない？	寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットなどで温めてから使用してください。
	充電しても、すぐに電池がなくなる？	周囲の温度が低すぎる	周囲の温度を10℃～40℃に保ってください。
	充電が終わらない？	電池の寿命が尽きた	新しい電池に交換する。それでも充電が終わらない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	表示が出る？	電池残量が少なくなった	付属のACアダプターを使用するか、充電済みの電池に交換してください。
撮影	マルチインジケータが赤色に点滅している？	記録ファイルをカードに書き込んでいる	故障ではありません。マルチインジケータが消灯するのを待ってください。
	フラッシュが光らない？	被写体が明るくて、カメラがフラッシュ発光の必要がないと判断した	故障ではありません。そのまま撮影してください。
	設定した内容は、電源を切っても記憶している？	—	セルフタイマーと露出補正の設定以外は、電源を切っても記憶しています。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
撮影	画像の使用目的に合った画質とは?	—	10M 7M-H 7M-S 5.3M：サイズがA4以上の印刷やトリミング(部分拡大)して印刷する場合に適しています。 2M ▬：通常の写真(サービス版)サイズで印刷する場合に適しています。 0.9M 0.3M：ホームページに掲載したり、メールに添付して送信する場合に適しています。
	デジタルズームと光学ズームの使い分けは?	—	光学ズームはレンズの光学特性を利用するため、精細感を損なわずに撮影することができます。一方デジタルズームはイメージセンサーに写った画像の一部を拡大するため、撮影画像が粗くなる場合があります。
	遠景撮影時のピント外れをなくすには?	—	シーンセレクト機能を風景モード▲に設定して撮影してください。 または、フォーカスレンジをマニュアルフォーカスMFにして、焦点距離を∞に設定してください。
	屋外で撮影した動画クリップが真っ白になっている?	—	フリッカー軽減の設定をOFFにしてください。

	質　問	原　因	このようにしてください
モニター	寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある？	モニターの性質による現象	故障ではありません。 輝点などはモニターにのみ現れるもので、記録することはありません。
	赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある？		
再生画像	画像が明るすぎる？	被写体が明るすぎた	撮影時に、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。
	ピントが合っていない？	フォーカスロックができていない	カメラを正しく構え、[ ]ボタンを半分押し、ピントを固定してから、さらに[ ]ボタンを静かに押してください。
	画像の一部が欠けている？	近くで撮影した	被写体が近い場合は、モニターで構図を確認して撮影してください。
	画像が出ない(?表示が出る)？	このカメラ以外のカメラで撮影したカードを使用すると、誤動作することがある	このカメラで撮影したカードを再生してください。
	縦の縞模様が出る？	明るい被写体を動画クリップ撮影した時は、液晶モニターや撮影画像に縦の縞模様(スミア)が発生することがある	故障ではありません。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
再生画像	拡大表示した画像が粗い?	機能上、画像が粗くなる	故障ではありません。
	再生画像が粗い?	デジタルズームを使って撮影した	故障ではありません。
	パソコンで加工した画像や音声をカメラで再生したい?	ー	パソコンで加工したファイルの再生は保証しかねますので、ご了承ください。
	動画再生でモーター音のような音がする	カメラの動作音を録音した	故障ではありません。
印刷	PictBridge印刷中にメッセージが出た?	プリンタの異常	プリンタの取扱説明書を参照してください。
その他	[動画編集できません]表示が出る	異なる動画モードで撮影した動画クリップをつなぎ合わせようとした	同じ動画モードで撮影した動画クリップを選択してください。
	充電中、テレビやラジオからノイズが出る?	AC アダプターからの電磁波が影響している	テレビやラジオから離れた場所で、充電してください。
	[カード残量がありません]表示が出る?	カードに空き容量がない	不要なファイルを消去するか空き容量のあるカードを使用してください。
	「カードロックされています」表示が出る?	カードのロックスイッチが「LOCK」(書き込み禁止)の位置になっている	ロックスイッチをロック解除の位置にしてください。

	質　問	原　因	このようにしてください
その他	カメラの操作ができない?	カメラの回路が一時的に異常になった	AC アダプターおよび電池を取りはずしてしばらく放置した後、電池を入れ直してください。
	記録や再生ができないなどの不調が発生する	カードの動作不良	推奨するカードを使ってください。推奨するカードは下記のホームページで確認してください。 http://www.sanyo-dsc.com/
		カードに、このカメラ以外の機器で記録したファイルを格納している	大切なファイルを保存した後、カードをフォーマットしてください。
	海外で使用できる?	—	このカメラは日本国内仕様であり、海外ではアフターサービスも受けられません。ただし、テレビの方式は「PAL」と「NTSC」が切り替え可能です。ACアダプターや電源コードについては、最寄のお客さまご相談窓口にご相談ください。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
その他	[システムエラー]表示が出る?	カメラ内部やカードなどに異常が発生した	下記の項目をそれぞれ確認してください ①カードをカメラから取り出し、再度カードを入れる ②電池を取り出し、再度電池を入れる ③他のカードと交換し、確認する 上記を確認いただいても[システムエラー]表示が出る場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

困った状態になった時

故障かな？と思った時は、以下の項目をご確認ください。

カメラ

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
電源	電源が入らない	電池が消耗している	電池を充電するか、充電済み電池と交換するまたは、AC アダプター（付属）を接続する	28・32
		電池が正しく入っていない	電池の向きに注意し、正しく入れる	
	なにもしていないのに電源が切れた	パワーセーブ機能が働いた	電源を入れる	35
撮影	[カメラ]または[ムービー]ボタンを押しても撮影ができない	電源が入っていない	パワーセーブ機能が働いている時は、電源を入れた後、撮影する 電源が切れている場合は、[ON/OFF] ボタンを押す	35
		撮影可能枚数/時間いっぱいに撮影している	カードを交換する	26
			不要な画像を消去してから撮影する	80
	フラッシュが光らない	フラッシュの設定が発光禁止になっている	強制発光または自動発光の設定にする	71・94
		電池が消耗している	電池を充電するか、充電済み電池と交換するまたは、AC アダプター（付属）を接続する	28・32

困った状態になった時(つづき)

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
撮影	デジタルズームが使えない	静止画を 10M に設定している デジタルズームの設定を [OFF] にしている	静止画の設定を 7M-H 以下にする デジタルズームの設定を [ON] にする	86・108
	操作音が短い周期でピピピと鳴り、セルフタイマー撮影ができない	電池が消耗している	十分に充電した電池を装着する または、AC アダプター(付属)を接続する	28・32
	ズームを操作した時、ズーム動作が一瞬止まることがある	光学ズームが最大倍率になった	故障ではありません ズームスイッチをはなし、再度押す	74
	撮影画像にノイズが出る	ISO感度が高すぎる	ISO感度を低く設定する	103
	蛍光灯照明の下での動画クリップ撮影時、撮影画像に激しいフリッカー(画面のちらつき)が発生する	シャッタースピードが速くなるための現象	ISO 感度の設定を 200 以下にする	103
	動画クリップ撮影中、一時録画が止まる	動画クリップ録画中に静止画を撮影した	故障ではありません。動画クリップ録画中に静止画撮影をすると、静止画を保存している間、動画クリップ録画を一時停止します。静止画の保存が終わったら動画クリップ録画を再開します。	72

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
撮影	アイコンが出て、撮影できなくなった	カメラ内部の温度が高温になった	撮影を中止し、温度が下がるのを待ってから使用を再開する	―
モニター	再生画像が出ない	REC/PLAYスイッチが[PLAY]に合っていない	REC/PLAYスイッチを[PLAY]に合わせる	40
再生画像	画像が暗い	フラッシュを指などで覆っていた	カメラを正しく構え、フラッシュに指などがかからないようにする	62
		被写体が遠くにあった	フラッシュ撮影可能範囲内で撮影する	210
		逆光で撮影した	強制発光モードで撮影する	71・94
			露出補正をする	111
			スポット測光をする	102
		光量が不足していた	ISO 感度を設定する	103
	動画クリップ画像がちらつく	蛍光灯の下で撮影した	フリッカー軽減の設定をする	146
	画像が明るすぎる	フラッシュを強制発光に設定していた	強制発光以外のフラッシュモードにする	71・94
		被写体が明るすぎた	露出補正をする	111
		ISO感度の設定が正しくない	ISO感度の設定を AUTO にする	103
	赤目補正ができない	赤目現象部分を認識できなかった	故障ではありません。	123

困った状態になった時(つづき)

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	動画クリップの動きが一時止まる	動画クリップ撮影中に静止画を撮影した	故障ではありません。動画クリップ録画中に静止画撮影をすると、静止画を保存している間、動画クリップ録画を一時停止します。静止画の保存が終わったら動画クリップ録画を再開します。	72
	ピントが合っていない	被写体との距離が近すぎる	撮影可能な範囲で撮影する フォーカスを正しく設定する	66・101
		フォーカスの設定が正しくない		
		[📷] ボタンを押す時にカメラが動いた（手ぶれ）	カメラを正しく構え、[📷] ボタンを半分押し、ピントを固定してから、さらに [📷] ボタンを静かに押す	62・69
		フォーカスロックができていない		
		レンズが汚れていた	レンズをきれいにする	―
	室内で撮影した画像の色がおかしい	照明の影響を受けている	フラッシュを強制発光に設定して撮影する	71・94
		ホワイトバランスの設定が正しくない	ホワイトバランスの設定を正しくする	105
	画像の一部が欠けている	レンズに指やストラップなどがかかっていた	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップなどがかからないようにする	62

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	[画像がありません]表示が出る	装着しているカードにファイルがない	撮影または録音してから再生する	ー
	音声が出ない	カメラの再生音量設定が小さくなっている	再生音量を調節する	79
画像編集	画像の加工や回転ができない	画像にプロテクトを設定している	プロテクトを解除してください。	114
充電	カメラの電池が充電できない	AC アダプターを接続していない	AC アダプターの電源コードを正しく接続する	29・32
		カメラの電源が入ってる	カメラの電源を切る	35
その他	[カードを入れてください]表示が出る	カードを装着していない	電源を切ってから、カードを装着する	26
	[プロテクトされています]表示が出て、ファイルを消去できない	消去しようとしているファイルにプロテクトを設定している	プロテクトを解除する	114
	音声ガイドが出ない	[音声ガイド]を[OFF]にしている	[ON]にする	138

困った状態になった時(つづき)

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
その他	「撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間[P213]」に記載の記録ができない	記録容量が、カードに表示している数値より少ない	カードの仕様によっては、カードに表示している記録容量を持たない場合があります。詳しくは、カードの説明書をご覧ください。	ー
	電池が膨らんでいる	電池使用に伴う変化 リチウムイオン電池は、通常の正しい使用であっても充放電回数が増えると徐々に寿命に近づき、それに伴って少し膨らむ傾向がある	安全上の問題はありません。電池の消耗が早いなどの場合は電池の寿命です。新しい電池に取り替えてください。	ー

シーンセレクト機能およびフィルター機能設定時の制限事項

シーンセレクト機能の制限事項

設定	注意点
スポーツ	フォーカスレンジ：[マクロ] は設定できません。
ポートレート	
風景	
夜景ポートレート	
スノー＆ビーチ	
花火	フォーカスレンジ：[無限遠] に固定です。 フラッシュ：[発光禁止] に固定です。
ランプ*	フォーカスレンジ：[マクロ] は設定できません。 フラッシュ：[発光禁止] に固定です。 静止画 NR：[OFF] に固定です。

＊暗い場所で動画クリップ撮影をした場合、明るく撮影するためにシャッタースピードが1/15秒まで遅くなります。ただし、フリッカー軽減機能[ON]設定時、動画クリップ撮影でのシャッタースピードは1/100秒または1/120秒になります。

困った状態になった時(つづき)

フィルター機能の制限事項

設定	注意点
コスメ	フォーカスレンジ：[マクロ] は設定できません 。
モノクロ	静止画モード：10M は設定できません 。 フォーカスレンジ：[マクロ] は設定できません 。
セピア	

シーンセレクト機能とフォーカスレンジ設定について

- フォーカスレンジを[マクロ]に設定すると、シーンセレクト機能はAUTOになります。
- フォーカスレンジを[標準][マクロ]またはMFに設定しても、シーンセレクト機能をAUTO以外に設定すると、フォーカスレンジの設定は[マクロ標準]になります。

仕　様

カメラの仕様

形式	デジタルムービーカメラ（記録・再生型）
記録画像ファイルフォーマット	**静止画：**JPEG形式 （DCF、DPOF、Exif Ver2.2準拠） （注）DCFは（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。 **動画クリップ：**ISO標準MPEG-4 AVC/H.264準拠* **音声：**MPEG-4オーディオ（AAC圧縮）48kHzサンプリング、16ビット、ステレオ
記録媒体	SDメモリーカード（最大8GB SDHCメモリーカードに対応）
カメラ部有効画素数	約 710 万画素
撮像素子	1/2.5 型 CCD、総画素数:約 738 万画素、インターレーススキャン、原色カラーフィルター
静止画撮影モード（記録画素数）	10M：3,680×2,760ピクセル 7M-H：3,072×2,304ピクセル（約710万画素：低圧縮） 7M-S：3,072×2,304ピクセル（約710万画素：標準圧縮） 5.3M：3,072×1,728ピクセル（約530万画素：16:9） 2M：1,600×1,200ピクセル（約200万画素） 0.9M：1,280×720ピクセル（約90万画素･16:9） 0.3M：640×480ピクセル（約30万画素） 連写：3,072×2,304ピクセル（約710万画素･連写）

動画クリップ撮影モード(記録画素数)	HDモード HD-SHQ：1,280×720ピクセル、30フレーム/秒(高ビットレート) HD-HQ：1,280×720ピクセル、30フレーム/秒(標準ビットレート) SDモード TV-SHQ：640×480ピクセル、30フレーム/秒(高ビットレート) TV-HQ：640×480ピクセル、30フレーム/秒、(標準ビットレート) Web-SHQ：320×240ピクセル、30フレーム/秒 ※このカメラの30fpsは29.97fpsです。

*DMX-CA65、DMX-CG65で撮影した動画クリップファイルは本機と同じH.264フォーマットですが、データ圧縮方法などの違いにより互換性がないため、再生しません。

ホワイトバランス	フルオートTTL、マニュアル設定可能	
レンズ	光学5.0倍ズームレンズ	f＝6.3～31.7mm(35mmフィルムカメラ換算　38mm～190mm) オートフォーカス、9群12枚(非球面3枚5面使用) ガルバノメータ方式絞り機構 NDフィルター搭載
絞り	開放F＝3.5(Wide)～4.7(Tele)	
露出制御方式	プログラムAE/シャッタースピード優先AE/絞り優先AE/マニュアル露出制御 撮影設定画面による露出補正機能あり(0±1.8EV 0.3EVステップ)	
測光方式	多分割測光、中央重点測光、スポット測光	
撮影範囲	全域モード：10cm～∞(Wide端) ：80cm～∞(Tele端) ノーマルモード：80cm～∞ スーパーマクロモード：1cm～80cm(Wide端のみ)	

デジタルズーム	撮影時：1～約12倍 再生時：1～58倍(解像度により異なる)
シャッタースピード	静止画撮影モード：1/2～1/2,000秒 （最長約4秒：シーンセレクト機能ランプ時） （フラッシュ発光時：1/30～1/2,000秒） 連写撮影モード：1/15～1/2,000秒（フラッシュ非発光） 動画クリップ撮影モード：1/30～1/10,000秒 （最長1/15秒：シーンセレクト機能ランプ時）
感度	動画クリップ撮影モード： オート(ISO200～1,600相当)/ISO200、400、800、1,600、3,200相当(撮影設定画面による切り替え） （最大ISO感度6,400相当まで増感：シーンセレクト機能ランプ時） 静止画撮影モード(標準出力感度*)： オート(ISO50～400)/ISO50、100、200、400、800、1,600、3,200(撮影設定画面による切り替え） *感度はISO(ISO12232：2006)準拠の測定方法による。
最低被写体照度	13ルクス(HDモード・ノーマルモード 30fps AUTO時、1/30秒） 5ルクス(HDモード・ノーマルモード 30fps HIGH SENSITIVITY(高感度)モードまたはランプモード時、1/15秒）
手ぶれ補正	電子式(動画クリップ撮影モードまたは静止画再生モード)
モニター	2.7型低温ポリシリコンTFTカラーワイド液晶(透過型)約23万画素
フラッシュ撮影範囲	GN=4.3 { 約20cm～2.5m(Wide) 約80cm～2.0m(Tele)
フラッシュモード	自動発光、強制発光、発光禁止
フォーカス	TTL方式AF(静止画撮影モード:9点測距/スポット、動画クリップ撮影モード:コンティニュアス）・マニュアルフォーカス

付録

仕様

仕　様（つづき）

セルフタイマー	作動時間：約2秒/10秒	
使用環境	温度	0～40℃（動作時） －20～60℃（保管時）
	湿度	30～90%（動作時、非結露） 10～90%（保管時、非結露）
電源	電池	リチウムイオン電池（DB-L40）×1個
	AC アダプター（付属）	VAR-G9
消費電力		4.0W（リチウムイオン電池使用・記録時）
大きさ（突起部含まず）		73.7（幅）×109.0（高さ）×35.0（奥行き）mm（最大寸法） 体積：約171cc
質量		約189g（本体のみ（電池・カード別））

カメラ各端子の仕様

[USB]端子*	USB2.0 High-Speed
ヘッドホン端子	Φ 3.5mm ミニジャック（ステレオヘッドホン端子・インピーダンス 16 Ω～ 32 Ω）
DC IN（外部電源入力）端子	DC5V（付属のACアダプターVAR-G9専用）

*：接続アダプター経由

電池寿命

撮影時	静止画撮影モード	約 180 枚：CIPA 規格によります（ハギワラシスコム製 512MB SD メモリーカード使用時）
	動画クリップ撮影モード	約 80 分：HD-SHQ で撮影した場合
再生時		約 190 分：モニターを点灯し、連続して再生した場合

- 十分に充電した付属の電池を使い、常温（25℃）で当社測定条件のもと、電池が切れるまでのおおよその値です。
- 電池の状態や測定条件により、使用可能時間が変わります。特に10℃以下の低温状態で使用した時は、電池の特性により使用可能時間が極端に短くなります。

仕　様(つづき)

撮影可能枚数/時間、録音可能時間

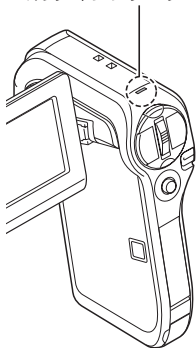
市販品のSDメモリーカード(2GB、4GB、8GB)を使用した場合の撮影可能枚数と撮影可能時間は以下のとおりです。

撮影/録音モード設定	画質設定	SDメモリーカードの種類		
		2GB使用時	4GB使用時	8GB使用時
静止画撮影モード	10M	596枚	1,190枚	2,390枚
	7M-H	568枚	1,130枚	2,280枚
	7M-S	849枚	1,700枚	3,410枚
	5.3M	1,120枚	2,250枚	4,520枚
	2M	2,950枚	5,900枚	11,800枚
	0.9M	6,200枚	12,400枚	24,900枚
	0.3M	15,500枚	31,000枚	62,200枚
	(連写)	849枚	1,700枚	3,410枚
動画クリップ撮影モード	HD-SHQ	28分11秒	56分25秒	1時間53分
	HD-HQ	41分26秒	1時間22分	2時間46分
	TV-SHQ	1時間18分	2時間36分	5時間14分
	TV-HQ	1時間51分	3時間42分	7時間26分
	WebSHQ	4時間19分	8時間38分	17時間21分
音声記録モード	ー	32時間25分	64時間53分	130時間12分

- 動画クリップの最大連続撮影時間は、WebSHQで約5時間30分です。
- 音声の連続記録時間は、最大13時間です。
- 8GBのカードを使用し、動画クリップ撮影をしている場合、記録中のファイルのサイズが約4GBになると、撮影を終了します。
- 上記はSandisk製SDメモリーカードを使用した値です。
- 同じ容量のカードでも、メーカーや種類、撮影条件が違うと撮影枚数など数値が異なることがあります。
- 連続撮影(録音)時間は、カードの種類・容量・性能などによって、異なります。

マルチインジケータについて

カメラのマルチインジケータは、さまざまな動作状態によって点灯、点滅します。

<table>
<tr><th>色</th><th colspan="2">点灯/点滅状態</th><th>状態</th></tr>
<tr><td rowspan="2">緑</td><td colspan="2">点灯</td><td>パソコン/プリンタ（USB）接続状態</td></tr>
<tr><td colspan="2">点滅</td><td>パワーセーブ中</td></tr>
<tr><td rowspan="2">赤</td><td rowspan="2">点滅</td><td>遅い</td><td>セルフタイマー動作中</td></tr>
<tr><td>速い</td><td>カードアクセス中</td></tr>
<tr><td>オレンジ</td><td colspan="2">点灯</td><td>テレビ/ビデオ（AV）接続状態</td></tr>
</table>

仕　様（つづき）

付属のACアダプターの仕様

品番		VAR-G9
電源		AC100V～240V, 50/60Hz
定格出力		DC5V 2.0A
使用環境	温度	0～40℃（動作時）、－20～60℃（保管時）
	湿度	20～80%（非結露）
大きさ		46.0（幅）×24.0（高さ）×77.8（奥行き）mm
質量		約140g（電源コードは含まず）
電源コードの定格		AC125V、5A

- 付属のACアダプターを海外でお使いになる場合は、電源コードをご使用になる地域や国にあったものに取り替える必要があります。詳しくは、お買い上げ販売店または、もよりの「お客さまご相談窓口[P225]」にお問い合わせください。

付属のリチウムイオン電池の仕様

品番		DB-L40
電圧		3.7V
容量		1,200mAh
使用環境	温度	0～40℃（機器使用時・充電時） －10～30℃（保管時）
	湿度	10～90%（非結露）
大きさ		53.4（幅）×6.0（高さ）×35.5（奥行き）mm
質量		約23g

その他

電波障害自主規制について

- この製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本機の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書に掲載している写真やイラストは、説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国外では販売せず、保証書は日本国内でのみ有効です。
- 付属品は、日本仕様です。

大切な撮影をする前には試し撮りをしてください

- 本製品がお客さまにより不適当に使用されたり、この説明書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定外の第三者により、修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社純正品および､当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には､責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、修理その他の理由により生じたファイルの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影した画像の質は、フィルム式カメラの写真の質とは異なります。

DVD-ROMの使用許諾について

- ・本DVD-ROMを無断で複製することはできません。
- ・本DVD-ROMに収納されているソフトウェアのインストールにあたっては、インストール時に表示されるソフトウェアの使用許諾契約内容を確認の上、同意された内容において使用することができます。
- ・本DVD-ROMで紹介する他社製品およびサービス内容につきましては、供給メーカーにお問い合わせください。

Mac OS、QuickTime、iPodとiTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
IntelおよびPentiumは、米国インテル社の登録商標です。
その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本文中では、Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版、 Microsoft® Windows® XP operating system日本語版、Microsoft® Windows® Vista operating system日本語版を単にWindowsと表記しています。

ソフトウェア Red Eye by FotoNation™ 2003-2005 は、FotoNation®社の商標です。

Adobe、Adobe Premiere ElementsおよびPhotoshopは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。

Red Eye software© 2003-2005 FotoNation In Camera Red Eyeは、米国特許（No. 6,407,777）および申請中特許を使用しています。

SDHCは商標です。

その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

索　引（50音順）

名称・用語

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

や行

ら行

操作

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

付録

索引

用語集

あ

赤目
目の血管にフラッシュの光が反射して、瞳孔部分が赤く写ってしまう現象。夜の屋外などの暗い場所で、目の瞳孔が開いているときに生じやすい。

か

解像度
ある一定の範囲内に点または線が何個あるかを示すことによって、その画像のキメの細かさを表す尺度。たとえば、dpi（ドット・パー・インチ）という場合は、1インチ内に含まれるドットの数を表す。

光学ズーム
従来は単に「ズーム」といっていたが、デジタルカメラの普及でデジタルズームと区別するために使う。実際にレンズを動かして焦点距離を変えることで、レンズに入った光がCCDに像を結ぶまでの距離が変わる。レンズの焦点距離を短くすると広い範囲が写り広角となり、焦点距離を長くすると写る範囲が狭くなるが遠くのものが大きく写り、望遠となる。
参照：焦点距離

さ

絞り
目の瞳のようにレンズの開口部を大小調節し、光の量を制限する機構。絞りによって調整される値を「絞り値」または「F値」といい、「F1、F1.4、F2、F2.8、F4……」と表記される。この数値を大きくすることを「絞る」、小さくすることを「開ける」という。絞りの数値が大きくなると、それだけCCDに当たる光の量が少なくなる。

シャッタースピード（シャッター速度）
時間によってCCDに当たる光の量を制限する機構。メカニカルシャッター搭載機の場合は、機械的な遮断幕を使い、電子シャッター搭載機の場合は、CCDのON/OFFによって時間を制御する。 シャッタースピードを速くすると、それだけCCDに光が当たる時間が短くなる。

焦点距離
レンズの中心点からレンズが像を結ぶ点（焦点）までの距離をmmで表したもの。同じ位置から撮影する場合、この数値が長いほど被写体は大きく写り（望遠）、短いほど小さく写る（広角）。なお、同一の焦点距離であっても、CCDのサイズが異なれば、画面に写る範囲は違ってくる。そのため、デジタルカメラの場合は35mmフィルムの焦点距離に換算して表記する。

シーンセレクトショット
スポーツモード、ポートレートモード、夜景ポートレートモードなど、撮りたいシーンに合わせてモードを選ぶだけで、絞りやシャッタースピードを自動で設定できる機能。カメラに詳しくなくとも、簡単に綺麗な写真が撮れる。例えば、スポーツモードは高速シャッターをきりたいとき、ポートレートモードは（ぼけを引き出すために）できるだけ開放F値に近い絞り値で撮影したいときに使う。

スポット測光
画面内の狭い一部分だけを測光する方式。画像の特定の部分に正確な露出が必要な場合に適している。舞台照明（スポットライトを浴びている人物の撮影）や逆光での撮影など、主要被写体と背景との間に大きな明るさの差がある場合に役立つ。

スミア
太陽などの強い光源を画面中に入れて撮影した場合に発生する光の筋で、

CCDを使用する機器で起こる現象(強い光源を撮影したときに、垂直転送路に電荷が流れ込んで発生する)。

スローシンクロ
低速シャッターを使いながら、同時にストロボを発光させること。通常のストロボ発光モードの場合は、手ブレの生じにくいシャッタースピードに自動設定される。ところが、スローシンクロモードの場合は、その自動設定が解除され、低速シャッターを使うことができるので、意図的にブレを表現したり、ストロボ光の届かない背景まで明るく写し出すことができる。

た

デジタルズーム
撮影時に画像の1部分を切り取って拡大し、望遠レンズを使ったようにみせる機能。この場合、焦点距離を変える通常の光学式ズームに比べて画質は劣る。デジタルズームが登場したため、レンズを動かして実際の焦点距離を変えるズームを「光学ズーム」と呼んで区別するようになった。

テレ
望遠のこと。ズームレンズの望遠側、つまり焦点距離の長い側を指す。

な

ノイズ
撮影時に入るゴミのようなドットのこと。画像を拡大すると分かるが、本来ないはずの色が、ドット単位で点在する。発生原因はいくつかあるが、CCDはシャッター速度が一定以上遅くなるとノイズが増加する傾向にある。

ノイズリダクション
撮影時に入るノイズを取り除くこと。パソコン上でソフトを使って行うことができる。撮影時(主にスローシャッター時)にノイズリダクションを行えるデジタルカメラもある。

は

被写界深度
ピントが合っているように見える範囲。レンズはCCD上に面として被写体を結像させるが、ピントを合わせた面の前後の範囲内もピントが合っているように見える。この範囲のことを指す。なお、被写界深度は、レンズの焦点距離が長いほど浅く(ピントのあう範囲が狭く)、短いほど深い(ピントのあう範囲が広い)。また、絞りを開けるほど浅くなり、絞るほど深くなる。

フラッシュ
シャッターと同時に瞬間的な光を発する照明装置。ストロボやスピードライトともいう。デジタルカメラに内蔵されたフラッシュは自動調光式なので、最適な露光値になるように瞬間的に発光量を制御するセンサーが搭載されている。

ホワイトバランス設定
様々な光源の下で白い色を決めること。また、さまざまな色温度を持った光源下で白い被写体を白く写すための機能。白はすべての色の基準となるので、白を決めれば自然な色合いで撮影することができる。人間の眼には高性能のホワイトバランス機能があるので普段意識することはないが、CCDやフィルムでは、電球下では赤く写ったり、蛍光灯下では緑色に写る(色の補正がされない)。機種によってオート・固定・マニュアルの違いはあるが、デジタルカメラやビデオカメラには必ず搭載されている。

ら

露出
CCDに光を当てること。もしくは、その量を示す。光を当てすぎると写真が白く(明るくなり過ぎに)なり、少ないと写真が黒く(暗くなり過ぎに)なる。白くなり過ぎる場合はオーバー(露出オーバー)と呼び、黒くなり過ぎる場合はアンダー(露出アンダー)と呼ぶ。

露出補正
カメラに内蔵された露出計は、その被写体状況を十分に判断できないことがままある。特に白い被写体や黒い被写体は、アンダーやオーバーになりやすい。そこで、カメラの判断した露出に対して、より明るく、または暗く写るように補正を加えること。また、意図的に明るく写したり、暗く写したりする場合にも使用する。

A

AE
「Auto Exposure(自動露出)」の略。被写体の明るさをカメラが判断して、自動的に露出を決めてくれる機能のこと。大別すると、プログラムAE、絞り優先AE、シャッタースピード優先AEの3タイプがある。 プログラムAEでは、状況に合わせて最適な絞りとシャッタースピードの組み合わせをカメラが自動的に判断してくれる。

C

CCD
「Charge Coupled Device」の略。レンズから入った光を感じて電気信号に変換するセンサーのこと。画像を取り込む、銀塩カメラでいうフィルムに相当する部分。トンボの複眼のように小さな目が並んでおり、その数が画素数(総画素数)となる。そこから出力される情報のうち、静止画データとして有効に反映される画素の数を「有効画素数」と呼ぶ。CCDを日本語で「電荷結合素子」ともいう。

E

EV
「Exposure Value」の略。露光量を表す単位で、絞り値F1.0でシャッタースピード1秒の露光量を「EV0」と定め、そこから絞り値またはシャッタースピードが1段上がるごとに「EV1、2、3･･･」と増えていく。

F

F値
絞りの数値。カタログのスペックを見る場合、大文字の「F」の場合はレンズの明るさ（開放絞り値）を表し、数値が小さいほど暗い場所でも比較的速いシャッタースピードを使うことができる。小文字の「f」の場合はレンズの焦点距離を表す。

fps
「Frame Per Second」の略。1秒間に何枚の画像を表示しているかを示しており、動画のなめらかさを表す。

I

ISO感度
フィルムの光に対する敏感さを数値化したもので、最適な再現をするために必要な露光量の目安数値にもなる。ISOとは国際標準化機構のこと。デジタルカメラの場合はこのような基準がないため

「ISO100相当」のように目安として数値が大きいほど、暗い場所での撮影に強いことを示す。

J

JPEG

画像を効率よく圧縮アルゴリズムを使った画像ファイル形式を指す。容量を小さくできるので多くのデジタルカメラに使われている。非可逆圧縮なので、圧縮率を高くすればするほど元画像クオリティは損なわれてノイズが生じる。

P

PictBridge（ピクトブリッジ）

デジタルカメラとプリンタを直接つないで印刷するための業界標準規格。CIPA（カメラ映像機器工業会）によって策定された。デジタルカメラと対応プリンターを付属のケーブルで接続するだけで、パソコンを介さず直接写真のプリント指示ができる。メーカーが違っても、双方がPictBridge対応ならばUSBケーブルで接続して印刷可能。カメラの液晶モニターでプリントしたい写真を選ぶことができ、プリントメニューも表示される。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談　三洋電機㈱ お客さまセンター

受付時間：(365日)9：00～18：30

総合相談窓口	☎ 050－3116－3434

※上記番号をご利用できない場合は ☎大阪(06)－6994－9570 におかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機（株）お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2ー5ー5

FAX：大阪(06)6994ー9510

家電商品の修理サービスについてのご相談　三洋電機サービス㈱

受付時間：月曜日～金曜日　9：00～18：30

土曜・日曜・祝日・当社休日　9：00～17：30

修理相談窓口

◆東コールセンター

地区	電話番号
関東・甲信越地区	☎ 050－3116－2222 ☎ 東京(03)5302－3401
北海道地区	☎ 050－3116－2333
東北地区	☎ 050－3116－2444

◆ 西コールセンター

近畿・北陸・四国地区	☎ 050−3116−2555 ☎ 大阪(06)4250−8400
中部地区	☎ 050−3116−2666
中国地区	☎ 050−3116−2777
九州地区	☎ 050−3116−2888

沖縄地区	☎ 098−944−5018

(※)沖縄地区の受付時間：月曜日～土曜日
9:00～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日を除く)

持込み修理および部品についてのご相談 三洋電機サービス㈱

受付時間：月曜日～土曜日　9:00～17:30(日曜、祝日を除く)

家電商品の持込み修理および部品のご相談については、各地区拠点(サービスセンター、サービスステーション)で承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくは弊社ホームページでご確認ください。

☆上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品･サービスに関わるご相談･お問い合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理･監督をいたします。

個人情報のお取扱いについての詳細は
ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

持込み修理および部品についてのご相談

三洋電機サービス㈱

北海道地区

北海道

札幌サービスセンター
☎(011)831－9201
〒003-0013 札幌市白石区中央三条4－1－36

旭川サービスステーション
☎(0166)22－2421
〒070-0073 旭川市曙北三条7－3－3

函館サービスステーション
☎(0138)48－8301
〒041-0824 函館市西桔梗町589－295

釧路サービスステーション
☎(0154)22－1576
〒085-0035 釧路市共栄大通3－1－6

北見サービスステーション
☎(0157)23－4871
〒090-0037 北見市山下町4－7－14

東北地区

青森県

青森サービスステーション
☎(017)729－3401
〒030-0141 青森市上野字山辺29－5

岩手県

盛岡サービスセンター
☎(019)623－1600
〒020-0824 盛岡市東安庭2－12－1

宮城県

仙台サービスセンター
☎(022)287－8351
〒984-0032 仙台市若林区荒井字丑ノ頭43－1

秋田県

秋田サービスステーション
☎(018)862－6551
〒011-0901 秋田市寺内イサノ93－1

東北地区

山形県

山形サービスステーション
☎(023)641－1769
〒990-2331 山形市飯田西4－5－35

福島県

郡山サービスステーション
☎(024)945－6793
〒963-0107 郡山市安積3－120

関東・甲信越地区

茨城県

水戸サービスステーション
☎(029)251－4125
〒311-4152 水戸市河和田3－2386－1

つくばサービスステーション
☎(0298)64－4751
〒300-3261 つくば市花畑2－15－3

栃木県

宇都宮サービスステーション
☎(028)614－3883
〒321-0111 宇都宮市川田町字免ノ内765－5

群馬県

伊勢崎サービスステーション
☎(0270)40－7611
〒372-0003 伊勢崎市華蔵寺町87－1

埼玉県

さいたまサービスセンター
☎(048)778-3095
〒362-0025 上尾市上尾下780－1

坂戸サービスステーション
☎(049)284－8900
〒350-0214 坂戸市千代田5－3－17

千葉県

千葉サービスセンター
☎(043)208－3800
〒260-0842 千葉市中央区南町3－7－15

鎌ケ谷サービスステーション
☎(047)441－0111
〒273-0105 鎌ケ谷市鎌ケ谷7－6－59

関東・甲信越地区

東京都

武蔵野サービスセンター
☎(042)364−7721
〒183-0033 府中市分梅町5−9−1

城東サービスステーション
☎(03)5697−8160
〒120-0005 足立区綾瀬7−22−15
綾瀬7丁目ビル

城北サービスステーション
☎(03)5914−3413
〒174-0051 板橋区小豆沢(アズサワ)
1−23−10

城西サービスステーション
☎(03)5347−0761
〒167-0032 杉並区天沼3−12−12
テック杉並

相模原サービスステーション
☎(042)788−2760
〒194-0012 町田市金森851−3

神奈川県

横浜サービスセンター
☎(045)827−2831
〒244-0806 横浜市戸塚区上品濃9−14

新潟県

新潟サービスセンター
☎(025)285−2431
〒950-0942 新潟市中央区小張木
2−16−43

山梨県

甲府サービスステーション
☎(055)226−2561
〒400-0035 甲府市飯田4−8−23

中部・北陸地区

富山県

富山サービスステーション
☎(076)422−7020
〒939-8211 富山市二口町1−13−8

中部・北陸地区

石川県

金沢サービスセンター
☎(076)292−2060
〒921-8005 金沢市間明町2−100

福井県

福井サービスステーション
☎(0776)53−7134
〒910-0834 福井市丸山1−1002

長野県

松本サービスステーション
☎(0263)40−3411
〒390-0852 松本市島立1064−1

岐阜県

岐阜サービスステーション
☎(058)246−3417
〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋
1−35

静岡県

静岡サービスセンター
☎(054)236-0691
〒422-8034 静岡市駿河区高松
2−26−10

沼津サービスステーション
☎(055)935−0501
〒410-0822 沼津市下香貫七面
1152−2

浜松サービスステーション
☎(053)461−8685
〒430-0812 浜松市南区本郷町123

愛知県

名古屋サービスセンター
☎(052)485−3620
〒453-0816 名古屋市中村区京田町
2−1

三重県

津サービスステーション
☎(059)236− 5195
〒514-0111 津市一身田平野285−2

お客さまご相談窓口（つづき）

近　畿　地　区	近　畿　地　区
滋賀県 **滋賀サービスステーション** **☎(077)514－2221** 〒524-0021 守山市吉身4－1－24 南井産業第3ビルB棟 **京都府** **京都サービスセンター** **☎(075)645－1434** 〒612-8427 京都市伏見区竹田真幡木町26－1 **大阪府** **大阪サービスセンター** **☎(06)6992－6235** 〒570-0086 守口市竹町4－13 **大阪南サービスステーション** **☎(06)6761－4600** 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5－1－14 三洋ビル2F **阪和サービスステーション** **☎(072)221－8571** 〒590-0026 堺市堺区向陵西町2－1－24 **兵庫県** **神戸サービスセンター** **☎(078)641－1251** 〒653-0038 神戸市長田区若松町2－1－9 ピアザビル3Ｆ **阪神サービスステーション** **☎(06)6432－3401** 〒661-0026 尼崎市水堂町4－17－6 **姫路サービスステーション** **☎(0792)82－7892** 〒670-0943 姫路市市之郷町1－9 **淡路サービスステーション** **☎(0799)42-6015** 〒656-0478 南あわじ市市福永536－1	**奈良県** **奈良サービスステーション** **☎(0744)22－7888** 〒634-0817 橿原市寺田町113－1 **和歌山県** **和歌山サービスステーション** **☎(073)473－7112** 〒640-8301 和歌山市岩橋1636－1

中　国　地　区
鳥取県 **鳥取サービスステーション** **☎(0857)24－2930** 〒680-0843 鳥取市南吉方3－107 **島根県** **松江サービスステーション** **☎(0852)23－1183** 〒690-0044 松江市浜乃木2－15－3 **岡山県** **岡山サービスセンター** **☎(086)245－1634** 〒700-0973 岡山市下中野703－101 **広島県** **広島サービスセンター** **☎(082)293－6511** 〒733-0012 広島市西区中広町2－1－2 **福山サービスステーション** **☎(084)954－4101** 〒721-0952 福山市曙町4－22－10 **山口県** **山口サービスステーション** **☎(083)973－3391** 〒754-0024 山口市小郡若草町2－6

四　国　地　区	九　州　地　区
徳島県 **徳島サービスステーション** **☎(088)699−4131** 〒771-0219　徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189−1 **香川県** **高松サービスセンター** **☎(087)843−1840** 〒761-0101　高松市春日町字片田1657−1 **愛媛県** **松山サービスステーション** **☎(089)979−3486** 〒799-2655　松山市馬木町274 **高知県** **高知サービスステーション** **☎(088)831−2570** 〒780-8007　高知市仲田町6−12	**長崎県** **長崎サービスステーション** **☎(095)813−3545** 〒851-0101　長崎市古賀町1006−5 **熊本県** **熊本サービスセンター** **☎(096)388−3434** 〒861-8045　熊本市小山3−2−11 熊本トラックターミナル内 **大分県** **大分サービスステーション** **☎(097)543−3454** 〒870-0829　大分市椎迫5−6組 **宮崎県** **宮崎サービスステーション** **☎(0985)29−3441** 〒880-0022　宮崎市大橋3−224 **鹿児島県** **鹿児島サービスステーション** **☎(099)251−4615** 〒890-0068　鹿児島市東郡元町11−10

九　州　地　区	沖　縄　地　区（※）
福岡県 **福岡サービスセンター** **☎(092)928−3414** 〒818-0061　筑紫野市紫6−1−1 **北九州サービスステーション** **☎(093)521−5286** 〒802-0004　北九州市小倉北区鍛冶町2−4−7	**沖縄県** **沖縄三洋販売(株) サービス部** **☎(098)944−5018** 〒903-0103　沖縄県中頭郡西原町小那覇1303

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

■この商品は保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから、所定事項の記入および記載内容を確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から１年間です

- 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、このカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口[P225]」にお問い合わせください。

修理を依頼される時は…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1. 故障の状況(できるだけくわしく)
2. 品番(DMX-HD700)
3. 製造番号(保証書に記入)
4. お買い上げ年月日(保証書に記入)
5. おなまえ、おところ、電話番号

総合相談窓口　受付時間：(365日)9：00〜18：30

修理のご依頼やご相談は、まずはお買い上げ販売店へお申し出ください。
家電商品についての全般的なご相談は下記にお問い合わせください。

☎ 050−3116−3434

※上記番号をご利用できない場合は **☎大阪(06)−6994−9570** におかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機(株) お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2ー5ー5
FAX：大阪(06)6994ー9510

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または三洋電機サービス(株)の「修理相談窓口 [P225]」にお問い合わせください。

この商品に関するご相談は下記にお問い合わせください。

受付時間：月曜日〜金曜日（祝日および当社の休日を除く）

9:00〜12:00、13:30〜17:00

DIカンパニー　**お客さま相談係**

電話　大東（072）870-4184**（直通）**

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。お問い合わせなどの時に便利です。

品　　番	DMX-HD700
お買い上げ年月日	年　　　月　　　日
お買い上げ販売店	電話(　　　)　　—
もよりのお客さまご相談窓口	電話(　　　)　　—

以下の項目をご確認のうえ、お問い合わせください。

お客さまチェックシート		
カードの種類	容量:	
	メーカー名:	
	お買い上げ年月日:　　年　　月　　日	
パソコンのOS	□Windows 2000 □Windows XP □Windows Vista	□Mac OS X バージョン:

撮影のヒント

難しく思える被写体でも、少し工夫をすると、より上手に撮影できます。

基本的な撮影

■オートフォーカスなのにピントが合わないのはなぜ？

このカメラはオートフォーカス機能を搭載しており、オートフォーカスを使った撮影では、カメラがピントを自動的に合わせます。しかし、それでもピントが合わないのはなぜでしょうか？

●オートフォーカスの動作

このカメラのオートフォーカスは、[ ]ボタンを半分押した時点で動作します。
オートフォーカスが働いてピントが合うと、モニターにターゲットマークが出ます。
そして、そのまま静かに[ ]ボタンを押し込むとシャッターが切れます。
このようにして撮影をすると、ピントが合います。

●ピントが合わない原因

1：[ ]ボタンを一気に押した

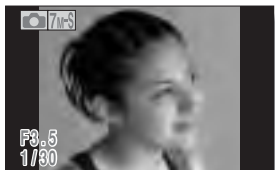
2：ピントを合わせた後に、被写体が動いた

- 一度オートフォーカスでピントを合わせても、被写体や撮影者が動いて撮影距離が変わると、ピントが合わない場合があります。

3：フォーカスの設定が、撮影距離に合っていない

- スーパーマクロモード[P66・99]で遠景を撮影したり、通常モードで至近距離の被写体を撮影するとオートフォーカスが働かないので、ピントが合いません。

●ピントをしっかり合わせるには
①フォーカスの設定が正しいことを確認してください。
②カメラを正しく構えて[📷]ボタンを半分押してください。
③モニターにターゲットマークが出るのを待ち、ひと呼吸おいて[📷]ボタンを静かに押し込んでください。

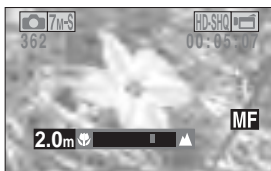
このように、落ち着いて[📷]ボタンを操作すると、ピントが合った美しい写真を撮影することができます。

■動きのある被写体の撮影は？

運動中のお子さまやペットなどの写真は、オートフォーカスでピントを合わせても被写体までの距離が刻々と変わるため、ピンボケになる可能性があります。特に、カメラに対して前後に動く被写体には、なかなかピントが合いません。動きのある被写体に、うまくピントを合わせる方法はないのでしょうか？

●ピンボケの原因

オートフォーカスは、[📷]ボタンを半分押した時点の距離にピントを合わせるため、被写体が動くとピントがはずれてしまいます。また、オートフォーカスが動作するのを待っていては、シャッターチャンスを逃してしまう場合もあります。逆に、シャッターチャンスに[📷]ボタンを一気に押すとピントが合わず、やはりピンボケの原因になります。

●ピンボケを防ぐには(マニュアルフォーカスモードを活用する[P100])

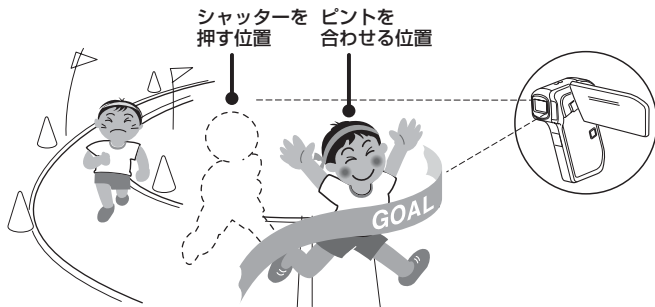
このカメラのフォーカス機能には、マニュアルフォーカスモードがあります。
[📷]ボタンを押した時に被写体までの距離を測ってピントを合わせるオートフォーカスに対し、マニュアルフォーカスモードでは、あらかじめピントを被写体までの距離に設定しておいて撮影します。

●撮影のしかた

①フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定し、焦点距離を被写体までの距離に設定します。
②被写体が設定した焦点距離にきたら、静かに[ ]ボタンを押し込みます。

＜マニュアルフォーカスの利点＞

- ピント合わせに要する時間を省くことで、素早く撮影ができます。
- あらかじめ焦点距離を設定しているので、ピントをより正確に合わせることができます。

＜マニュアルフォーカスの有効な使いかた＞

- 動きが速い被写体を撮影する場合は、被写体が撮影距離に達する少し前に[ ]ボタンを押すと、被写体が撮影距離に達した時にシャッターを切ることができます。
- 被写体の手前にある物にピントが合ってしまうようなトラブルを防ぐことができます。

撮影のヒント(つづき)

シーンセレクト機能を使った撮影

■人物を撮影しよう(ポートレートモード [ポートレートアイコン])

ポイント：

- 目立つものが背景にないように注意する
- なるべく被写体に近づく
- 人物に当たる照明に注意する

解説：

- 背景に目立つものがある場合は、人物が引き立ちません。そこで、被写体に近づいたりズームアップして、背景が目立たないように撮影すると良いでしょう。
- ポートレート撮影では人物が主役になるので、人物が引き立つように撮影します。
- 逆光では顔が暗く写るので、フラッシュを使ったり露出を補正して撮影しましょう。

■動きのあるものを撮影しよう(スポーツモード [スポーツアイコン])

ポイント：

- 被写体の動きにカメラを合わせる
- ズームはWide(広角)側に
- チャンスには、ためらわずに[📷]ボタンを押す

解説：

- シャッターチャンスを逃さないように、カメラを正しく構え、常に被写体をレンズに捉えておきましょう。カメラとともに自分の体を動かしながら撮影してみるのも良いでしょう。
- 手ぶれは、Wide側よりTele側の方が出やすいので、ズームはできるだけWide側にして撮影します。
- シャッターチャンスが来たら、すばやくスムーズに[📷]ボタンを押しましょう。

■夜景を撮影しよう（夜景ポートレートモード [icon]）

ポイント：

- 手ぶれに十分気を使う
- ISO感度を上げる

解説：

- 夜景撮影では、シャッタースピードが遅くなるため、手ぶれが起きる可能性が高くなります。カメラを固定して撮影してください。
- 夜景を背景にして人物を撮影する場合は、フラッシュで人物の顔が明るくなり過ぎないよう、人物に近づき過ぎない距離で撮影してください。
- フラッシュ発光後、約2秒間は、カメラを動かしたり被写体の人物が動かないようにしてください。

■風景を撮影しよう（風景モード [icon]）

ポイント：

- 高画質で撮影する
- ズーム撮影する場合は、光学ズームを使う
- 構図に配慮する

解説：

- 広角で撮影する場合や引き伸ばして写真にする場合は、なるべく高い解像度で撮影してください。
- 遠くの風景をアップで撮影する場合は、なるべく光学ズームで撮影してください。デジタルズームを使うと、画像が荒れます。また、わきを締めてしっかりとカメラを構え、手ぶれしないように気をつけてください。カメラを固定すると良いでしょう。
- 遠近感や風景の中のポイントととなる被写体の配置など、構図に注意しましょう。